Nikon Film Scanner

SUPER COOLSCAN 8000 ED

SUPER COOLSCAN 8000 ED（Jp）

使用説明書

スキャンの手順ガイド

スキャナドライバソフトウェア

Nikon Scan をインストールします

インストールの方法は Windows と Macintosh で異なります。

Windows の場合　参照ページ 16

Macintosh の場合　参照ページ 21

スキャナを設置して

スキャナをコンピュータに接続します

Windowsをご使用の場合は、スキャナを接続したらデバイスの登録が必要です。

スキャナをコンピュータに接続します。デバイスの登録はWindowsをご使用の場合のみ必要となります。

スキャナを接続する　参照ページ 25

デバイスの登録　参照ページ 27

スキャンするフィルムを

ホルダにセットします

フィルムの種類によって使用するホルダが異なります。

フィルム	ホルダ	参照ページ
35mm ストリップフィルム	FH-835S を使用する	56、81
マウントされた 35mm フィルム	FH-835M を使用する	87
120/220 ブローニストリップフィルム	FH-869S を使用する	90
	FH-869G（別売）を使用する	99
	FH-869GR（別売）を使用する	103
マウントされたブローニフィルム	FH-869M（別売）を使用する	96
パノラマフィルム、電子顕微鏡フィルム 120/220ブローニストリップフィルム	FH-869GR（別売）を使用する	103
16mm ストリップフィルム	FH-816（別売）を使用する	107
26 × 76mm の病理組織標本プレパラート	FH-8G1（別売）を使用する	112

ホルダをスキャナにセットして

Nikon Scan でスキャンします

すぐにスキャンを始める　参照ページ 61

スキャンウインドウの使い方を確認する　参照ページ 118

本製品のマニュアル構成

本製品には次の説明書が付属しています。製品をご使用の前によくお読みください。

使用説明書（この使用説明書）

この使用説明書の構成は、次の通りです。

- はじめに

  本製品のマニュアルの構成と、警告、注意事項などの重要な情報を記載しています。

- スキャン前の準備

  最初にスキャンするまでに必要な準備・Nikon Scanのインストール・スキャナの接続などを順に説明します。また、スキャナを使用しないときの注意事項や画像をきれいに再現するためのフィルムのお手入れについて説明します。

- デバイスの登録

  Windows でスキャナを使用する場合にはデバイスの登録を行う必要があります。ご使用になる Windows の種類に応じたデバイスの登録の方法について説明します。

- スキャンする

  最初にスキャンするために必要な手順などを順に説明します。

- Nikon Scan について

  スキャナを操作するためのスキャナドライバソフトウェアNikon Scanについて、簡単に説明します。詳しくは Nikon Scan ソフトウェアマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。

- 各種ホルダについて

  スキャンするフィルムをセットするための、本製品に付属の各種ホルダと、別売の各種ホルダについて説明します。

- 付録

  本製品のメンテナンスや、スキャナが正常に動作しない場合の回避（トラブルシューティング）や、本製品の仕様等を記載しています。

Nikon Scan ソフトウェアマニュアル（CD-ROM）

Nikon Scanソフトウェアマニュアルは、スキャナを操作するためのソフトウェアNikon Scan 3 の使用説明書です。本製品に付属の CD-ROM 内に収録されており、同じ CD-ROM に収録されている Adobe Acrobat Reader 4.0 を使用して開くことができます。

ソフトウェアマニュアルを読むために必要な Adobe Acrobat Reader 4.0 のインストール方法はこの使用説明書の「ソフトウェアマニュアルの準備」に記載しています。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次の通りです。

⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

・内部には高圧部分があり火災、感電、ケガの原因となります。

接触禁止

すぐに
修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

・感電したり、破損部でケガをする原因となります。
　販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電源プラグ
を抜く

すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は速やかに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜くこと

・そのまま使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
　販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

禁止

すぐに
修理依頼を

本機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないこと

・こぼれたり、中に入った場合、感電、火災、故障の原因となります。
　万一異物や水が本機器内部に入った場合はすぐに本機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

- プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

- 幼児の飲み込みの原因となります。
  万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

- 感電の原因となります。
  雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

交流 100 ボルト、50/60Hz 以外の電源では使用しないこと

- 火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと
また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと

- 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

- 感電の原因となります。

電源プラグの金属部や、その周辺にほこりが付着している場合は電源プラグを乾いた布で拭き取ること

- そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

ぬれた手でさわらないこと

- 感電の原因になることがあります。

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

- ケガの原因になることがあります。

使用説明書に従った正しい設置を行うこと

- 通気口をふさがれたりして電源部が高温になり発熱、火災の原因となることがあります。

本機器を不安定な場所に置かないこと

- 倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
  本機器は内部にガラス部品を使用していますので、万一落下などで破損した場合はガラス片でケガをしないようご注意ください。

本機器の上に重い物を置かないこと

- バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因になることがあります。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜くこと

・電源プラグをさし込んだままにすると感電の原因となることがあります。

禁止

本機器の指定以外の内部に手を入れないこと

・指がはさまれてケガの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは（電源スイッチを切り）電源プラグをコンセントから抜くこと

・電源プラグをさし込んだままにすると火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱機器に近づけないこと

・コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

注意

差し込みプラグを抜くときは電源コードを引っぱらないこと

・電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

注意

電源コードの延長、タコ足配線はしないこと

・火災の原因となることがあります。

アース接続

アースは必ず電源コンセントのアース端子に接続すること

・アースを接続しないと漏電した場合、感電の原因となることがあります。

禁止

ガス管、水道管、電話線用アースにはアースの接続を絶対にしないこと

・火災、感電の原因となることがあります。

禁止

同梱の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと

・機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

はじめに

このたびはニコンフィルムスキャナSUPER COOLSCAN 8000 EDを、お買い求めいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、本スキャナの使用上の注意事項、設置・接続方法、および取り扱い方法について説明しています。

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しく使用してください。お読みいただいた後は、ご使用になる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

あらかじめご承知いただきたいこと

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
- この使用説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本機のご使用により、フィルムに損傷を与えた場合の補償はご容赦ください。
- この使用説明書の内容につきましては、万全を期して制作いたしましたが、万一、お気付きの点がございましたら、当社ユーザーサポートまでご連絡ください。

使用説明書で使われている記号について

この使用説明書では、次の記号を使用しています。

	注意していただきたいこと、してはならないこと、これを守らなかった場合に予測される不具合を記述しています。
	製品をご使用になる上で重要な情報を記述しています。
	知っておくと役に立つ補足的な情報を記述しています。
	関連情報がこの使用説明書や他の使用説明書にあります。
	関連情報の参照先が印刷された使用説明書にあります。
	関連情報の参照先が CD-ROM 内の使用説明書（ソフトウェアマニュアル）にあります。

この使用説明書中の画面について

この使用説明書では、Windows XP　Home Edition/Professional（以下Windows XPと標記します）の画面を、主に使用しています。Windows と Macintosh で操作が異なるときは、画面を併記しています。

インターネットをご利用の方へ

下記アドレスのホームページ上で、最新のサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

> 電波障害について
> 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この使用説明書では、SUPER COOLSCAN 8000 ED (8000 ED)を本機（本機器）、本スキャナと表記することがあります。

目次

各種ホルダについて 79

Nikon Scan について 115

付録 127

スキャン前の準備

最初にスキャンするまでに必要な準備・Nikon Scanのインストール・スキャナの接続などを順に説明します。また、スキャナを使用しないときの注意事項や画像をきれいに再現するためのフィルムのお手入れについて説明します。

スキャナをご使用になる前に

スキャナの接続について

- スキャナの接続は、[スキャナを接続する]の項（ P.25）をご参照の上、スキャナとコンピュータ本体を直接接続してください。IEEE 1394ハブを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- スキャナと他のIEEE 1394機器を同時に動作させると、正しく動作しないことがあります。この場合、他の全ての機器をコンピュータから取り外し、スキャナのみをコンピュータ本体に接続してください。
- 1台のコンピュータにスキャナを2台以上接続しないでください。

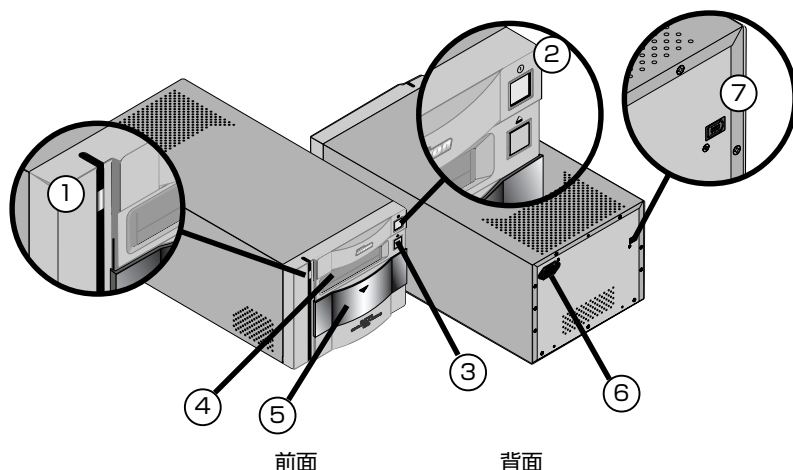
Windowsをご使用の方へ

Windowsでスキャナをご使用になる場合はデバイスの登録が必要です。

次の事項に注意してデバイス登録の準備をしてください。

- 他の全ての機器をコンピュータから取り外し、スキャナのみをコンピュータ本体に接続してください。

各部の名称と機能

前面　　　　　　　　　背面

① 表示LED

- 電源をオンにした場合やスキャナ本体の動作中は、表示LEDがゆっくり（約1.5秒毎）点滅します。点滅が終了し、点灯に変わるまでスキャナの電源をオフにしたり、各種ホルダの挿入・排出をしないでください。
- スキャナのエラーや通信エラー等の場合、表示LEDが速く（毎秒約5回）点滅します。この場合は、電源を一度オフにして、5秒以上経過してから再度電源をオンにしてください。

※ スキャナの電源を入れて、Nikon Scanを起動した状態で、最初のホルダ挿入時と、スキャナの電源を入れてホルダを挿入した状態で、最初のNikon Scanを起動したときのみ、速い点滅（約3秒間）を5回繰り返しますが、エラーや故障ではありません。このときにホルダをイジェクトしないでください。

② 電源スイッチ

スキャナ本体電源のオン・オフを操作するスイッチです。押すたびにオンとオフが切り替わります。

③ イジェクトボタン

各種ホルダをスキャナ本体から取り出すためのボタンです。

④ ホルダスロット

各種ホルダを挿入するためのスロットです。スキャナに対応したホルダ以外のものを挿入しないでください。

⑤ ホルダスロットカバー

各種ホルダを使用するときに、カバーをスライドしてホルダスロットを開きます。

スキャナを使用しないときは、ホルダを取り外し、必ずホルダスロットカバーを閉じてスキャナ内部を保護してください。

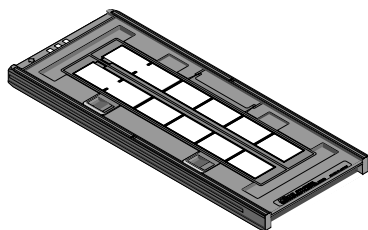
⑥ 電源コード差込み口

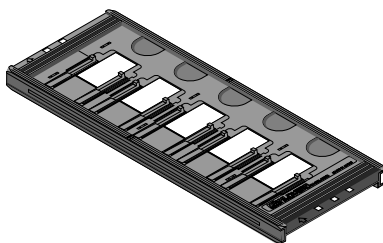
電源コードを接続します。

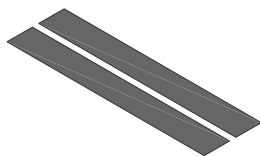
⑦ IEEE 1394 (Firewire) インターフェースコネクタ

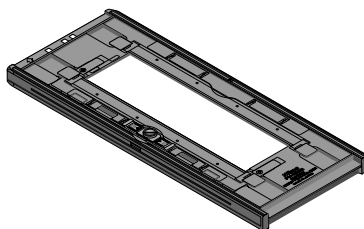
IEEE 1394（Firewire）インターフェースケーブルを接続します。

付属品について

お買い上げのスキャナには、次の付属品が同梱されています。同梱されていなかったり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S
（1 台）

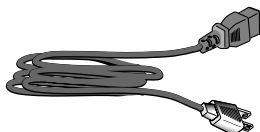
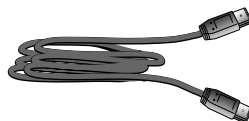
6コマまでの35mmストリップフィルムをスキャンするときに使用します。6コマまでのストリップフィルムを２枚までセットできます。

35mm スライドマウントホルダ FH-835M
（1 台）

マウントされた３５ｍｍ フィルムをスキャンするときに使用します。マウントは一度に5枚までセットできます。

マスクシート
（2 枚）

FH-835S を使用して６ コマまでのストリップフィルムを1セットのみセットした場合や長さの違うフィルムをセットした場合に使用します。

ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S
（1 台）

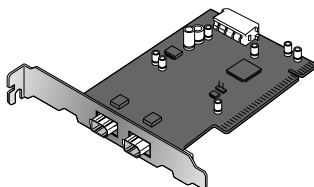
１２０/２２０ ストリップフィルムや５９ｍｍ × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをスキャンするときに使用します。

セットできるコマ数は次の通りです。

６× 4.5 サイズ：	４コマまで
６×６サイズ：	３コマまで
６×７～９サイズ：	２コマまで

電源コード
（1 本）

IEEE 1394（Firewire）ケーブル
（1 本）

スキャナとコンピュータの接続に使用します。

Nikon Scan 3 CD-ROM
（1 枚）

スキャナをコンピュータで使用するために必要なドライバソフトウェアのインストーラが収録されています。

IEEE 1394（Firewire）
インターフェースボード
（1 枚）
（Windows・Macintosh 共通、使用説明書付属）

IEEE 1394（Firewire）インターフェースを装備していないコンピュータにスキャナを接続する場合は、このボードをコンピュータの PCI スロットに装着します（ノート型コンピュータや小型 PCI スロットにはこのボードは装着できません）。

Nikon Scan 3
Software Manual CD-ROM
（ソフトウェアマニュアル CD-ROM）
（1 枚）

Nikon Scan のソフトウェアマニュアルと、マニュアルをコンピュータで開くためのアプリケーション Adobe Acrobat Reader のインストーラが収録されています。

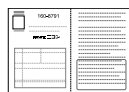
画像処理ソフトウェア CD-ROM
（1 枚）

画像処理ソフトウェアが収録されています。ユーザーズガイド（使用説明書）は電子ドキュメント（PDF）としてこの CD-ROM の中に入っています。

クイックスタートガイド
（1 部）

スキャナの早わかりガイドです。

使用説明書
（1 冊）

スキャナ本体の使用説明書（本書）です。

カスタマ登録カード
（1 枚）

ユーザー登録するためのハガキです。

スキャナの取り扱いについて

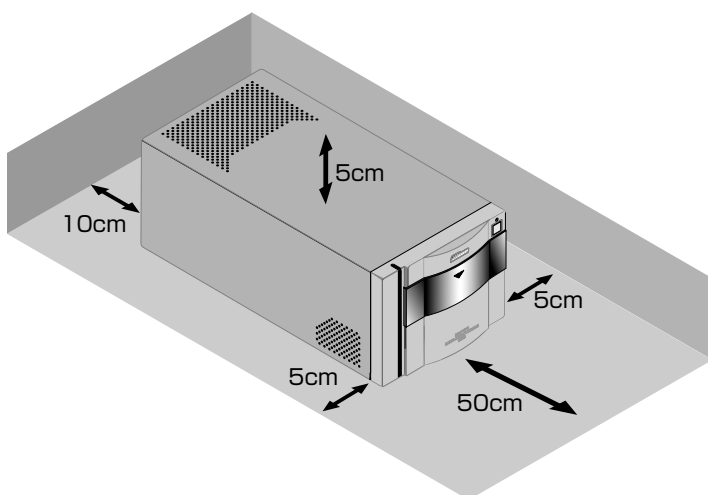
スキャナを最適な状態でご使用いただくために、次の事項に注意してください。

- スキャナの動作中（表示LED点滅）は、絶対に電源を切ったり、各種ホルダを挿入したり、取り出したりしないでください。
- スキャナを使用しないときは、各種ホルダを取り外し、ゴミやほこりの進入を防ぐために必ずホルダスロットカバーを閉じてください。

スキャナの設置について

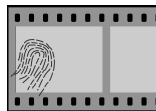
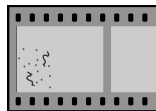
スキャナは、次の事項に注意して水平で安定した場所に設置してください。

- 直射日光や、反射光の当たる場所に設置しない
- 急激な温度変化のある場所や結露する場所に設置しない
- 電磁ノイズの発生する機器の近くに設置しない
- 温度が35℃以上または10℃以下になる場所に設置しない
- スキャナの通気を妨げる障害物がある場所に設置しない
- ほこりの多い場所に設置しない
- スキャナの設置場所に加湿器などを設置しない
- 喫煙する場所に設置しない

スキャナの左側、右側、上側にはそれぞれ5cm以上、背面は10cm以上、前面は50cm以上の空間を確保してください。

フィルムの取り扱いについて

スキャナのDigital ICE機能により、フィルム上の傷やゴミの影響を軽減させることができますが、フィルムの取り扱いについては、次の事項に注意してください。

- フィルムのほこりやゴミは、ブロア等で除去してからホルダにセットしてください。ほこりやゴミが付いたままセットすると、フィルムを傷つけるばかりか、誤動作や故障の原因となることがあります。

- 指紋が付着したフィルムは、乾いた布などでフィルム表面を傷つけないように指紋を拭き取ってください。
- フィルムベースや乳剤は、高温・高湿度にさらされると劣化しますので、決められた使用温度・湿度範囲内でお使いください。
- 決められた使用温度・湿度範囲内でも、急激な温度・湿度変化があるとフィルムに結露することがあります。フィルムをホルダにセットするときは、必ずフィルムに結露のないことを確認してください。
- 結露している場合は、結露がなくなるまで放置してからホルダにセットしてください。結露したままフィルムをセットすると、フィルムを損傷する恐れがあります。
- スキャナの使用条件範囲内で使用してください。

  温度：＋10℃～＋35℃

  湿度：20～60%

スキャナと他の機器を同時に使用するときは

本スキャナと同じバスに接続している他のIEEE1394（Firewire）機器を使用するときは、次の事項に注意してください。

- スキャナの動作中（表示LED点滅中）は、他の機器を使用したり電源のオン・オフやケーブルの抜き差しを行わないでください。
- スキャナとコンピュータ本体を直接接続してください。IEEE 1394ハブを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- スキャナと他のIEEE 1394機器を同時に動作させると、正しく動作しないことがあります。この場合、他の全ての機器をコンピュータから取り外し、再度スキャナとコンピュータ本体を接続してください。
- １台のコンピュータにスキャナを２台以上接続しないでください。

補足

- このマニュアルでは、スキャナの電源をオフにしてケーブルを接続しています。
- 実際にはIEEE 1394インターフェースは、コンピュータやスキャナの電源を入れたままで接続ケーブルを抜き差しでき、接続したときからすぐに機器が使用できます。したがって、接続のたびに電源をオフにしたり再起動する必要はありません。ただし、ケーブルを抜き差しするときは、数秒間の間隔をあけてください。

付属のインターフェースボードの装着について

コンピュータにIEEE 1394（Firewire）ボードまたはポートを装備していない場合は、同梱のIEEE 1394インターフェースボードをコンピュータに装着します。詳しくはボードの使用説明書をご覧ください。

インターフェースボードの装着が必要な場合

スキャナを使用する場合は、次のようなコンピュータでは、同梱のIEEE1394インターフェースボードを装着する必要があります。

- IEEE1394（Firewire）ボードが装備されていないWindows、または古いタイプのMacintosh G3デスクトップコンピュータ（ご使用のコンピュータに付属のマニュアルでご確認ください）。
- 推奨のIEEE1394（Firewire）ボードが装備されていないコンピュータ。

本製品に同梱のIEEE1394（Firewire）インターフェースボードは、ノート型やPCIバスのないコンピュータ、または小型PCIスロット（Low Profile PCI）には使用できません。推奨のIEEE1394（Firewire）カード（PCMCIA準拠）を使用してください。詳しくは下記アドレスのホームページをご覧ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

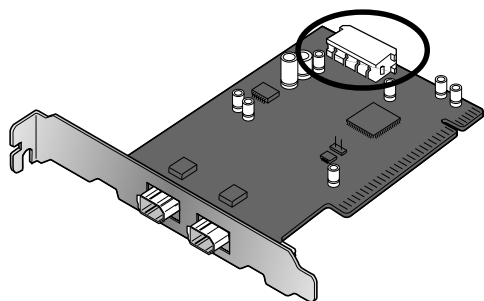
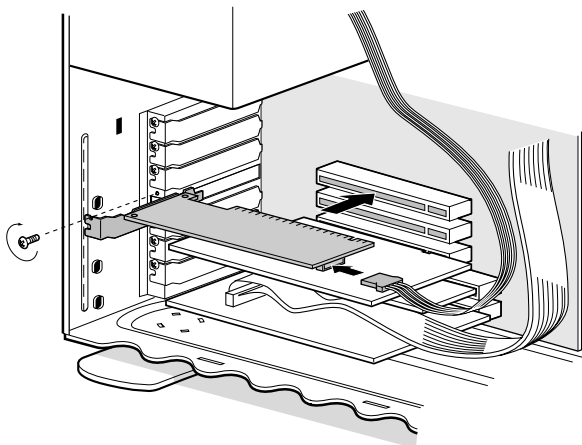
インターフェースボードを装着する

インターフェースボードの装着手順
1. コンピュータのPCIスロットに装着します（P.10）。
2. インターフェースボードドライバをインストールします（P.11～15）。

- Windows XP、Windows 2000 Professional、Windows Meの場合、ボードを装着すると、ドライバはOSにより自動的にインストールされます。

☑ Windows 98SEの場合はインターフェースボードの装着前にIEEE 1394ドライバのアップデートが必要です（P.17を先にご覧ください）。

インターフェースボードの取り付け

コンピュータの電源を切り、全てのケーブルを取り外し、同梱のIEEE1394インターフェースボードをPCIスロットに取り付けます。PCIスロットの位置や取り付け方法についてはご使用のコンピュータの使用説明書をご覧ください。

ケーブル給電が必要な機器を使用する場合は、内部電源を接続する必要があります。電源を直接取得できる機器のみを使用する場合は、内部電源を接続する必要はありません。

注意事項

ボードの取り付けは、慎重に行ってください。無理な力で装着すると、ボードやコンピュータ本体が破損する恐れがあります。

IEEE 1394インターフェースドライバのインストール（Windowsのみ）

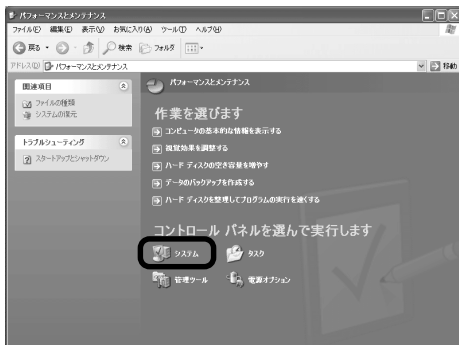
PCIスロットにボードを取り付けた後、コンピュータのカバーを閉じてケーブルを接続してください。

Windows XPの場合

ボードを取り付けて最初にコンピュータを起動すると、ボードのドライバが自動的にインストールされます。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。この中の［パフォーマンスとメンテナンス］を開き、［システム］をクリックします。

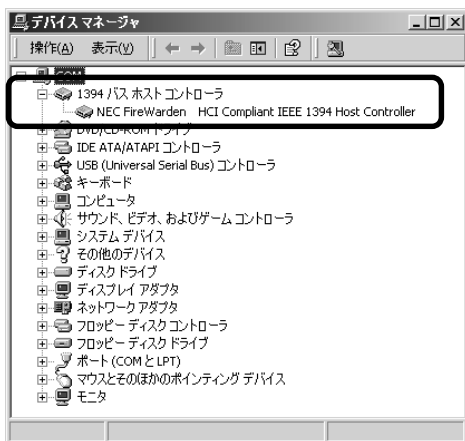
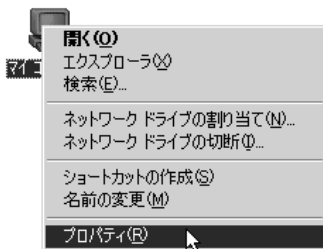
2 システムプロパティの画面から［ハードウェア］タブを選択し、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 ［NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］が追加されていることを確認します。

Windows 2000 Professional の場合

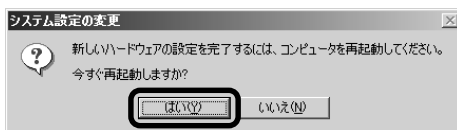
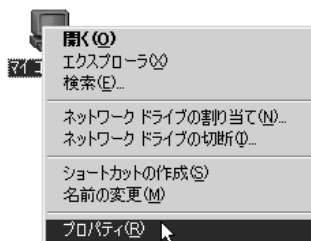
ボードを取り付けて最初にコンピュータを起動すると、ボードのドライバが自動的にインストールされます。

1 ［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。

2 システムプロパティの画面から［ハードウェア］タブを選択し、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

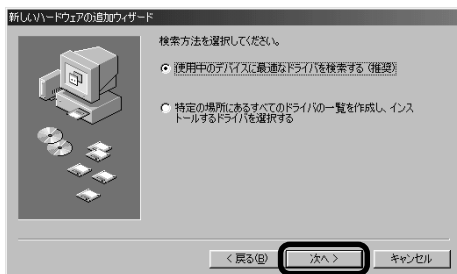
3 ［NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］が追加されていることを確認します。

Windows Me の場合

ボードを取り付けて最初にコンピュータを起動すると、ボードのドライバが自動的にインストールされます。

1 右の画面が表示されますので [はい] をクリックし、コンピュータを再起動します。

2 ［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。

3 システムのプロパティの画面から［デバイスマネージャ］タブを選択して、[NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller] が追加されていることを確認します。

Windows 98SE の場合（ドライバのインストール）

1 ボードを取り付けて最初にコンピュータを起動すると、右の画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

2 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

3 右の画面が表示されます。チェックボックスには、何もチェックする必要はありません。［次へ］をクリックします。

4 ［更新されたドライバ（推奨)］（NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller）を選択し、［次へ］をクリックします。

5 右の画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。

6 ［ディスクの挿入］画面が表示される場合は、Windows 98 Second EditionのCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入し、［OK］をクリックします。

［Windows 98 Second EditionのCD-ROM上のファイルが見つかりませんでした］が表示される場合は［ファイルのコピー元］欄に

E:¥WIN98

（CD-ROMドライブがEドライブの場合）

と入力し、［OK］をクリックします。

7 右の画面が表示されますので、［完了］をクリックします。

ドライバのインストールが完了したら、Windows 98SE IEEE1394アップデートの項をご参照の上、アップデートしてください。

Nikon Scanをインストールする

スキャナをコンピュータに接続する前に、スキャナドライバソフトウェアNikon Scan 3をコンピュータにインストールします。インストールの方法はWindowsとMacintoshで異なります。

WindowsにNikon Scanをインストールする

Nikon Scanをインストールする前に、コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動して、次の項目を確認してください。

- スキャナをコンピュータに接続していないこと。
- コンピュータの動作環境がNikon Scanの動作条件を満たしていること。（「Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアル」（ P.5）をご参照ください）。
- ウィルスチェック用のソフトウェアが起動していないこと。
- 他のアプリケーションが起動していないこと。

IEEE 1394 ドライバのアップデート（Windows 98SE の場合のみ）

本製品を Windows 98SE で使用する場合は Nikon Scan をインストールする前に IEEE1394 ドライバのアップデートを必ず行ってください。アップデートの手順は次のとおりです。

1 Nikon Scan 3 CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

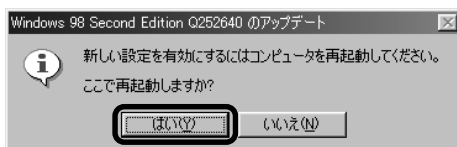
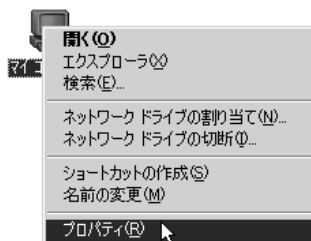
ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は［Exit］をクリックしてインストール画面を閉じてください。

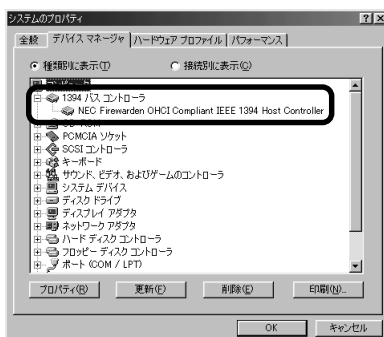
2 ［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

3 次に［Nikon Scan 3 CD］アイコンを右クリックして［エクスプローラ］を選択します。

［Microsoft］ディレクトリが開いたら、242975JPN8(.EXE)をダブルクリックします。

4 画面の指示にしたがってインストールを完了してください。

5 インストールが完了すると、右の画面が表示されますので、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

6 再起動後に、［マイコンピュータ］アイコンを右クリックして［プロパティ］を選択します。

7 システムのプロパティのウィンドウから［デバイスマネージャ］タブを選択し、［NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］が追加されていることを確認してください。

追加されていれば IEEE 1394 ドライバのアップデートは正常に終了しています。

インストールの手順

1 Nikon Scan 3 CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。

しばらくすると［Welcome］画面が表示されますので、［Nikon Scan 3］をクリックします。

2 Install Shieldウィザードが起動します。

［次へ］をクリックすると、［使用許諾書］画面が表示されます。内容をよくお読みになり、［はい］をクリックします。

CD-ROMが自動起動しない場合

CD-ROMを挿入しても［Welcome］画面が自動的に開かない場合は、次の手順で操作してください。

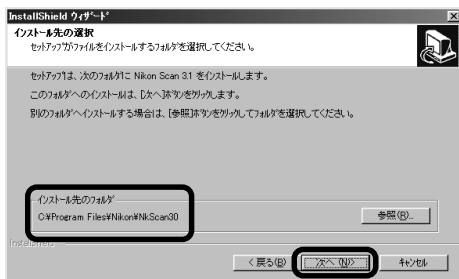
［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし［マイコンピュータ］ウィンドウ内のNikon Scan 3 CDを挿入しているCD-ROMドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されるメニューから［自動再生］を選択します。

注意

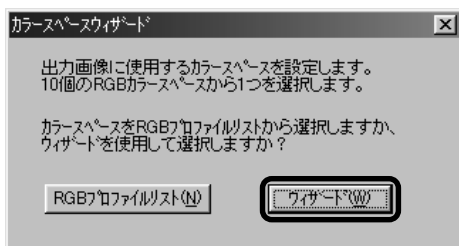
Nikon ScanをWindows XPにインストールする場合は、「コンピュータの管理者」で、Windows 2000にインストールする場合は、「Administrator」でログオンしてください。

3 **インストール先を選択します。**

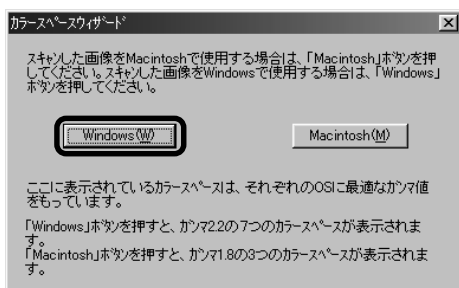
Nikon Scanをインストールするフォルダが［インストール先のフォルダ］に表示されます。［次へ］をクリックします。

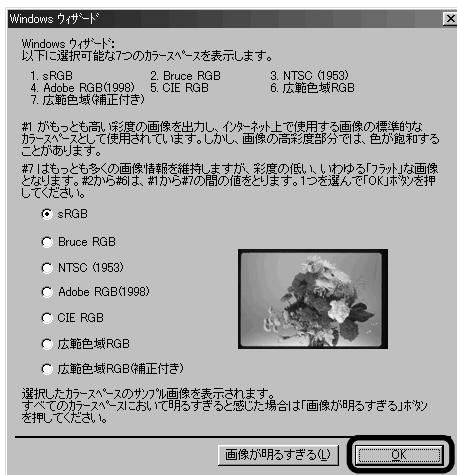
インストール先のフォルダを変更する場合は［参照］をクリックしてフォルダを指定します。

4 **インストールの完了前に［カラースペースウィザード］画面が表示されます。**

［ウィザード］をクリックすると、色空間を選択するウィザードが表示されます（推奨）。

［RGBプロファイルリスト］をクリックすると、色空間をカスタマイズできます（Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアル参照）。

通常は、ウィザードを使用して、コンピュータに適した色空間を選択することをお薦めします。RGB色空間の初期設定は、インストール後でもNikon Scanの［初期設定］画面で変更できます。商業目的など高度な画像操作を行う場合は、適切なプロファイルの選択が重要です。詳しくは「Nikon Scan 3.1 ソフトウェアマニュアル」のRGBプロファイルの項（P.115）をご覧ください。

5 **［カラースペースウィザード］のOS選択画面が表示されます。**

［Windows］をクリックします。

6 Windows ウィザードが表示されます。

カラースペースのリストから sRGB を選択し、［ＯＫ］をクリックします（推奨）。詳しくは Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアルをご参照ください。

7 Install Shield ウィザードの完了画面が表示されます。

ReadMe を必ずお読みになり、［完了］をクリックして Install Shield ウィザードを終了します。

8 以上でインストールは終了です。

Macintosh に Nikon Scan をインストールする

Nikon Scan をインストールする前に、コンピュータの電源を入れ、Macintosh を起動して、次の項目を確認してください。

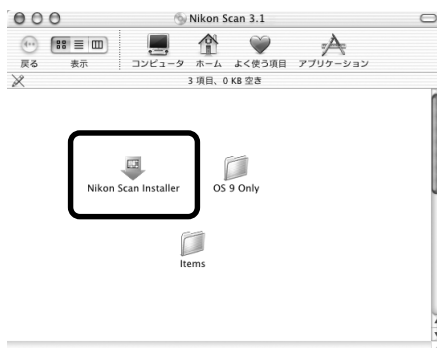
- スキャナをコンピュータに接続していないこと。
- コンピュータの動作環境が Nikon Scan の動作条件を満たしていること（「Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル」（P. 5）をご覧ください）。
- ウィルスチェック用のソフトウェアが起動していないこと。
- 他のアプリケーションが起動していないこと。

インストールの手順

1 Nikon Scan 3 CD-ROMをコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

右のようなウィンドウが表示されますので、[Nikon Scan Installer] アイコンをダブルクリックします。

- Mac OS X の場合

右のようなウィンドウが表示されますので、[Nikon Scan Installer] アイコンをダブルクリックします。

Mac OS X 使用上のご注意

- Nikon Scan を Mac OS X でご使用になる場合は、256MB 以上のメモリがコンピュータに搭載されている必要があります（OS 起動：128MB、Nikon Scan の起動：128MB 以上）。
- Mac OS X をご使用の場合、コンピュータの管理者権限以外ではインストールおよび操作ができません。

2 インストーラが起動します。［続ける］をクリックすると、ソフトウェア使用権許諾契約書（ライセンス）が表示されます。

［同意］をクリックすると［お読みください］画面が表示されます。内容を確認して、［続ける］をクリックします。

3 ［Nikon Scan Installer］ウィンドウの［インストールの場所］からインストール先を選択し、［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。

● Mac OS Xの場合

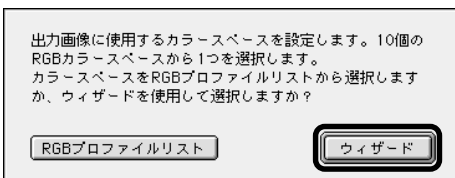
インストール先は自動的に［Macintosh HD］の［Applications］内に作成される［Nikon Software］フォルダになります。インストール先を選択する必要はありません。

4 **インストールの途中に、カラースペース設定の画面が表示されます。**

［ウィザード］をクリックすると、色空間を選択するウィザードが表示されます（推奨）。

［RGBプロファイルリスト］をクリックすると、色空間をカスタマイズできます(Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアル参照)。

出力画像に使用するカラースペースを設定します。10個のRGBカラースペースから1つを選択します。
カラースペースをRGBプロファイルリストから選択しますか、ウィザードを使用して選択しますか？

RGBプロファイルリスト　ウィザード

通常は、ウィザードを使用して、コンピュータに適した色空間を選択することをお薦めします。RGB色空間の初期設定は、インストール後でもNikon Scanの［初期設定］画面で変更できます。商業目的など高度な画像操作を行う場合は、適切なプロファイルの選択が重要です。詳しくは「Nikon Scan 3.1 ソフトウェアマニュアル」のRGBプロファイルの項(P.115）をご覧ください。

5 **［ウィザード］をクリックした場合は、右のような画面が表示されます。**

［Macintosh］をクリックします。

ウィザード1:
スキャンした画像をMacintoshで使用する場合には、「Macintosh」ボタンを押してください。スキャンした画像をWindowsで使用する場合には「Windows」ボタンを押してください。

Windows　Macintosh

ここに表示されている色空間は、OSに依存したガンマ値をもっています。「Windows」ボタンを押すと、ガンマ2.2の7つの色空間が表示されます。
「Macintosh」ボタンを押すとガンマ 1.8の３つのカラースペースが表示されます。

6 **右のような画面が表示されます。**

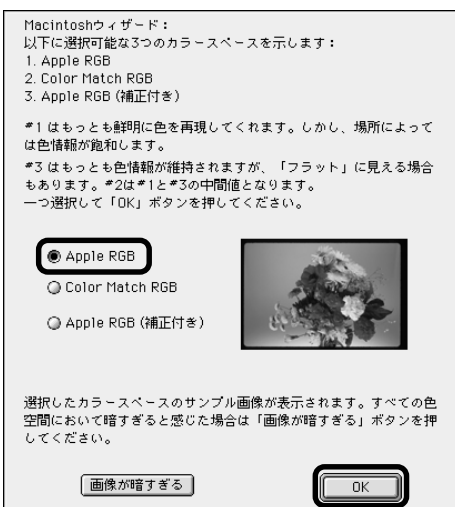
カラースペースのリストからＡｐｐｌｅ RGBを選択し、[OK] をクリックします(推奨)。詳しくはNikon Scan 3ソフトウェアマニュアルをご参照ください。

Macintoshウィザード：
以下に選択可能な3つのカラースペースを示します：
1. Apple RGB
2. Color Match RGB
3. Apple RGB (補正付き)

#1 はもっとも鮮明に色を再現してくれます。しかし、場所によっては色情報が飽和します。
#3 はもっとも色情報が維持されますが、「フラット」に見える場合もあります。#2は#1と#3の中間値となります。
一つ選択して「OK」ボタンを押してください。

◉ Apple RGB
○ Color Match RGB
○ Apple RGB (補正付き)

選択したカラースペースのサンプル画像が表示されます。すべての色空間において暗すぎると感じた場合は「画像が暗すぎる」ボタンを押してください。

画像が暗すぎる　OK

7 コンピュータに複数の使用可能なPhotoshopがインストールされている場合は、［フォルダの選択］ウィンドウ（Nikon Scan Plugin 3.1のインストール先を選択する画面）が表示されます。

Adobe Photoshop形式のプラグインのフォルダを選択して［OK］をクリックします。プラグインを設定しない場合は［キャンセル］をクリックします。

プラグインを設定すると、そのアプリケーションからNikon Scanを開くことができます。

● Mac OS Xの場合

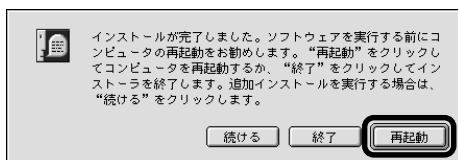
［フォルダの選択］ウィンドウは表示されません。

8 Nikon Scanのインストールが完了すると、完了を知らせる画面が表示されます。

［再起動］をクリックしてコンピュータを再起動します。

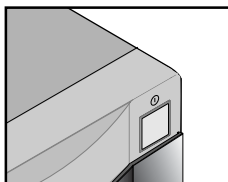
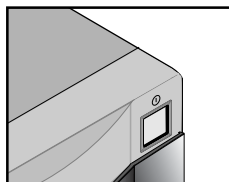
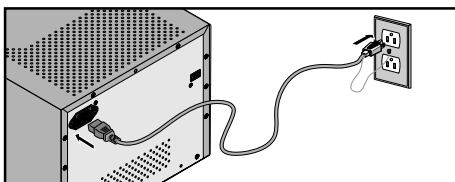
● Mac OS Xの場合

右の画面が表示されます。［終了］をクリックします。

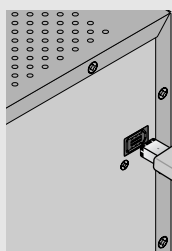
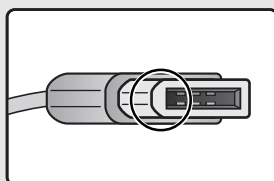
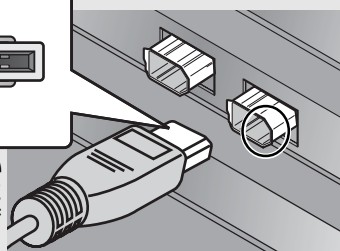
9 以上でインストールは完了です。

スキャナをコンピュータに接続する

スキャナを接続するときに、スキャナのデバイス登録をします（Windowsのみ）。デバイス登録の方法は（P.27）をご覧ください）。

電源コードの接続

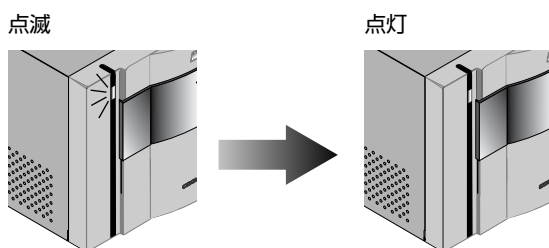
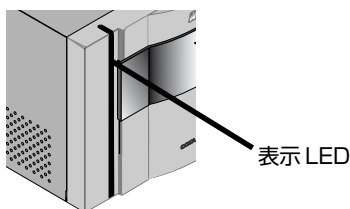
電源スイッチがオフになっていることを確認してから、付属の電源コードのコネクタをスキャナの電源コード差込み口に差し込み、電源プラグを一般家庭用コンセント（AC100V、50/60Hz）に差し込みます。アース端子は必ずコンセントのアース端子に接続します。

電源スイッチが
オフの状態

電源スイッチが
オンの状態

インターフェースケーブルの接続

スキャナの電源がオフになっていることを確認してから、付属のIEEE 1394ケーブル（6ピン－6ピン）の一方のコネクタをスキャナ背面端子に接続し、もう一方のコネクタをコンピュータ側の端子に接続します。

● コネクタは、下図のように正しい向きで差し込んでください。逆向きに差し込んだ状態で電源を入れると、スキャナ本体およびコンピュータが破損する恐れがありますのでご注意ください。

注意

コンピュータ側の端子がSONY VAIO NOTEなど、DV端子（4ピン）の場合は、別途市販の6ピン－4ピンタイプのIEEE 1394ケーブルや、6ピン－4ピン変換器が必要になります。

スキャナの電源を入れる

Nikon Scan 3 CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、スキャナの電源スイッチを押して電源を入れます。電源をオンにすると初期化動作が行われ、表示 LED が点滅します。初期化動作が終了すると、表示 LED は点灯に変わります。

重要

- スキャナの電源を入れる前に、ホルダスロットに各種ホルダが挿入されていないことを確認してください。
- スキャナの初期化動作中は、スキャナの表示 LED がゆっくり点滅します。
- スキャナの電源を入れたときに表示LED が速く点滅（1 秒間に約５回）しているときはエラー表示ですので、電源を入れ直してください。それでも速く点滅する場合は「スキャナが正常に動作しない場合」をご覧ください。
- スキャナの電源を入れて、Nikon Scanを起動した状態で、最初のホルダ挿入時と、スキャナの電源を入れてホルダを挿入した状態で、最初のNikon Scan を起動したときのみ、速い点滅（約３秒間）を５回繰り返しますが、エラーや故障ではありません。このときにホルダをイジェクトしないでください。
  イジェクト等の処理を行ってしまった場合は、スキャナの電源を入れ直して、Nikon Scan を再起動してください。

参照ページ	参照項目
P.27	デバイスの登録
P.131	スキャナが正常に動作しない場合

デバイスの登録（Windowsのみ）

スキャナを初めて接続する場合は、スキャナをハードウェアとしてコンピュータに登録するためにドライバをインストールする必要があります。

Windows XP Home Edition/Professional にスキャナを登録する

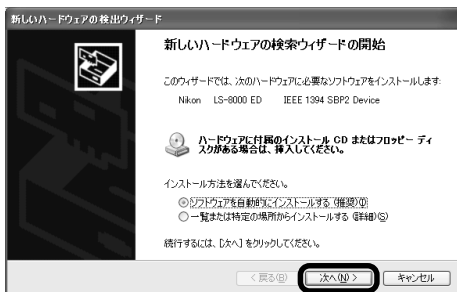
スキャナのデバイス登録（Windows XP）

1 スキャナの電源をオンにします。コンピュータが初めてスキャナを認識したときは、新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されます。

Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入してから［ソフトウェアを自動的にインストールする］を選択して［次へ］をクリックします。

2 自動検出されたドライバの一覧が表示されます。[場所] 欄が [Ls8000xp.inf] のドライバを選択し、[次へ] をクリックします。

※ 上記のファイル（Ls8000**xp**.inf）は、右の画面のようにスクロールバーで移動させてご確認ください。

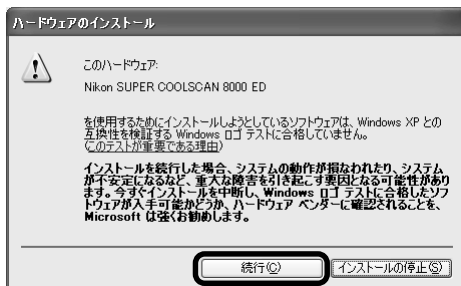
※ 他のファイル名とよく似ていますので、ご注意ください。

スクロールバー

注意

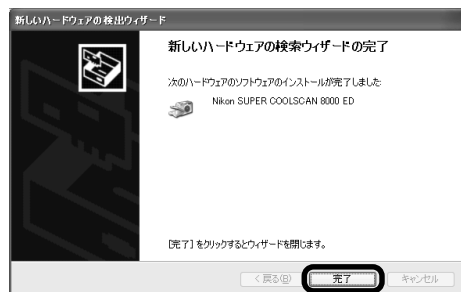
スキャナを Windows XP に登録する場合は、「コンピュータの管理者」でログオンしてください。

補足

Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入したときに、ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、[Exit] をクリックしてインストール画面を閉じてください（Nikon Scan 3 CDを、Shiftキーを押しながらCD-ROMドライブに挿入すると、インストール画面は開きません）。

3 右の画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

4 右の画面が表示されます。

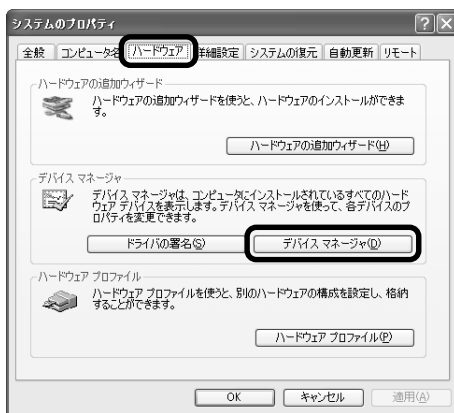
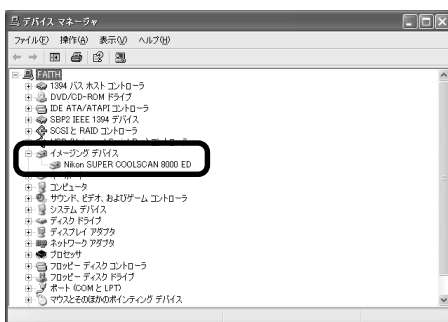
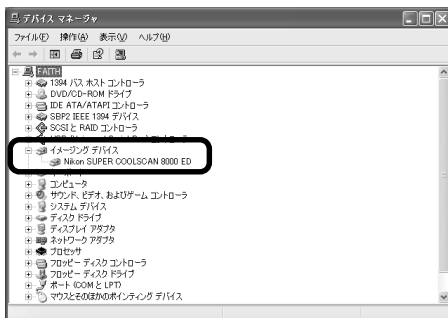
［完了］をクリックして、デバイスの登録を終了します。

登録完了後、スキャナがWindowsデバイスとして正常に動作しているかを確認してください（P.30）。

デバイスの動作確認（Windows XP）

デバイス登録が完了したら、デバイスが正常に動作していることを、次の手順で確認します。

1 スキャナとコンピュータが接続され、スキャナの電源が入っていることを確認します。

2 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択し、［パフォーマンスとメンテナンス］の中の［システム］を開きます。

3 ［システムのプロパティ］画面が表示されます。［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

4 ご使用のスキャナ名が、イメージングデバイスとしてデバイスの一覧に表示されているか確認します。［イメージングデバイス］アイコンが表示されている場合は、アイコン左側の［+］マークをクリックするとイメージングデバイスの一覧が表示されます。

5 一覧から、ご使用のスキャナ名をダブルクリックします。スキャナ名が［イメージングデバイス］の下に表示されていない場合は、「デバイスドライバの更新（Windows XP）」（📖 P.32）へ進んでください。

6 スキャナのプロパティが表示されます。［全般］タブの［デバイスの状態］欄に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認して完了です。それ以外のメッセージが表示される場合は、「デバイスドライバの更新（Windows XP）」（📖 P.32）へ進んでください。

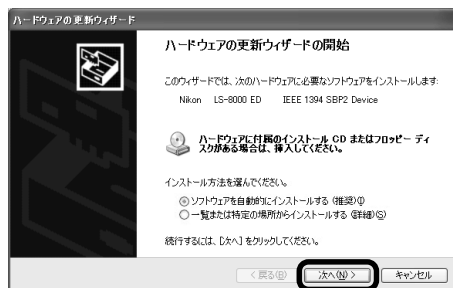
デバイスドライバの更新（Windows XP）

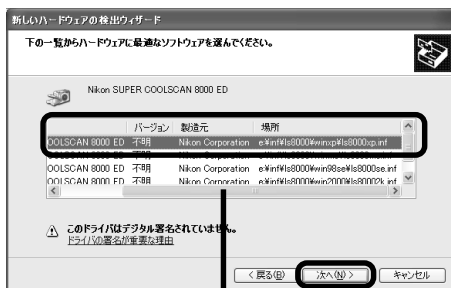
デバイスの動作確認で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されなかった場合のみ、次の手順でデバイスドライバを更新します。

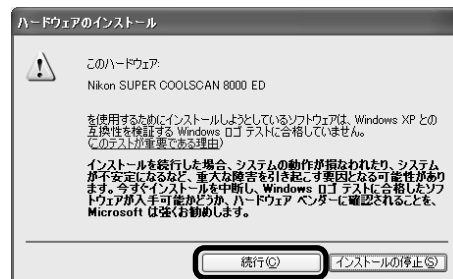
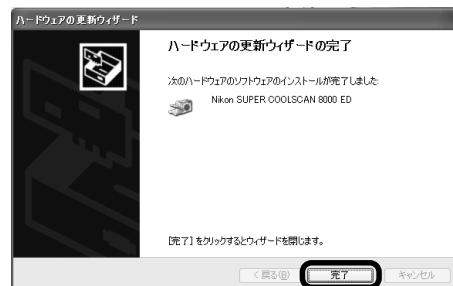
1 「デバイスの動作確認（Windows XP）」の手順 **1**～**3**（P.30）と同じ操作で［デバイスマネージャ］タブを開きます。

ご使用のスキャナ名が［その他のデバイス］の下に表示されていたり、スキャナ名左側のアイコンに「！」、「？」や「×」マークが表示されている場合は、スキャナ名をダブルクリックしてスキャナのプロパティを表示します。

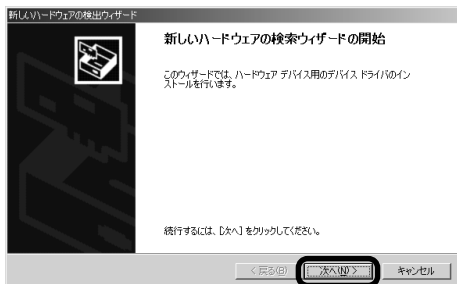
2 スキャナプロパティ表示画面の［全般］タブにある［ドライバの再インストール］をクリックします。

3 ［ハードウェアの更新ウィザード］画面が表示されます。Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入してから［ソフトウェアを自動的にインストールする］を選択して［次へ］をクリックします。

4 自動検出されたドライバの一覧が表示されます。[場所] 欄が [Ls8000xp.inf] のドライバを選択し、[次へ] をクリックします。

※ 上記のファイル（Ls8000xp.inf）は、スクロールバーで移動させてご確認ください。

スクロールバー

5 右の画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

6 右の画面が表示されます。[完了] をクリックして、デバイスの登録を終了します。

Windows 2000 Professional にスキャナを登録する

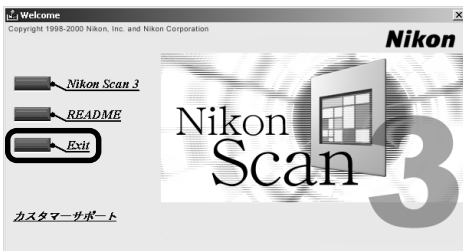
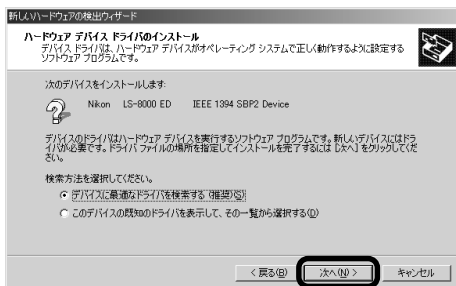
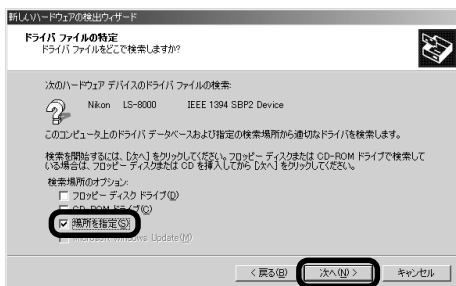
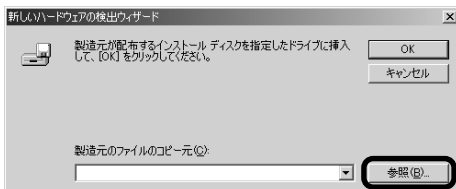
スキャナのデバイス登録（Windows 2000 Professional）

1 スキャナの電源をオンにします。コンピュータが初めてスキャナを認識したときは、新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの検索ウィザード］が表示されます。

2 Nikon Scan 3.1 CD を CD-ROM ドライブに挿入してください。

注意

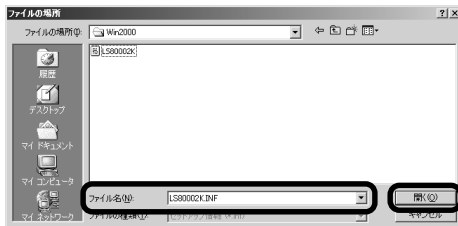
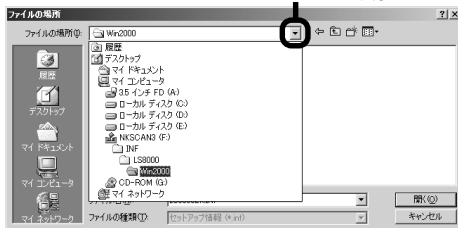
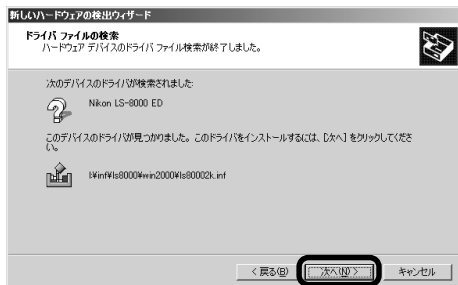
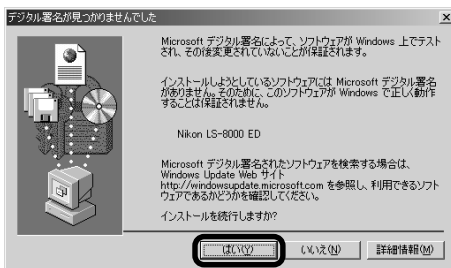
スキャナを Windows 2000 Professional に登録する場合は、「Administrator」でログオンしてください。

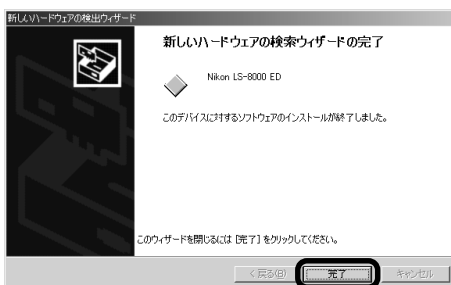
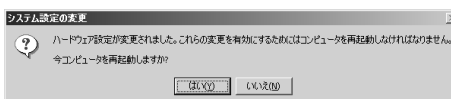
補足

Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入したときに、ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、[Exit]をクリックしてインストール画面を閉じてください（Nikon Scan 3 CDを、Shiftキーを押しながらCD-ROMドライブに挿入すると、インストール画面は開きません）。

3 右の画面が表示されます。[デバイスに最適なドライバを検索する]を選択して[次へ] をクリックします。

4 次に表示される画面で [場所を指定] を選択して [次へ] をクリックします。

5 右の画面が表示されますので、[参照] をクリックします。

6 ［ファイルの場所］画面が表示されます。

- ［ファイルの場所］欄のプルダウンメニューでNikon Scan 3 CDが挿入されているCD-ROMドライブを選択します。
- CD-ROM内の［INF］フォルダを開きます。
- ［INF］フォルダ内の［LS8000］フォルダを開きます。
- ［LS8000］フォルダ内の［Win2000］フォルダを開きます。
- ［Win2000］フォルダ内の［LS80002K］ファイルを選択します。

  ファイル名欄に［LS80002K.INF］と表示されます。
- ［LS80002K.INF］が表示されたら［開く］をクリックします。

※ フォルダを開くには ⊞ をクリックして ⊟ にします。

7 登録に必要なファイルが検出されると、右の画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

8 右の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

9 スキャナの登録処理中は右の画面が表示されます。

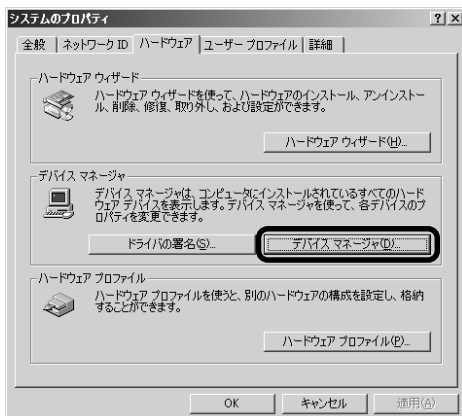
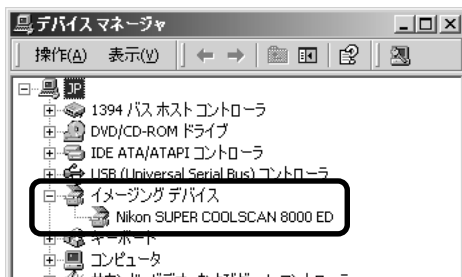
10 登録が完了すると右の画面が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

11 右の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

登録完了後、スキャナがWindowsデバイスとして正常に動作しているか確認してください（P.38）。

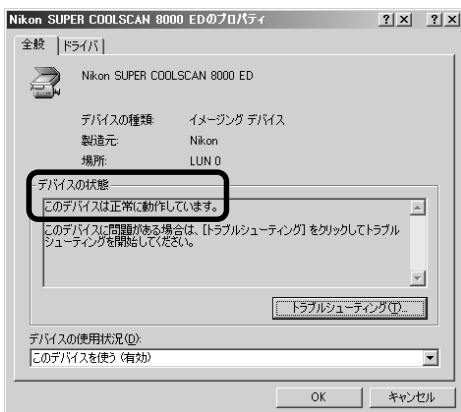
デバイスの動作確認（Windows 2000 Professional）

デバイス登録が完了したら、デバイスが正常に動作していることを、次の手順で確認します。

1 スキャナとコンピュータが接続され、スキャナの電源が入っていることを確認します。

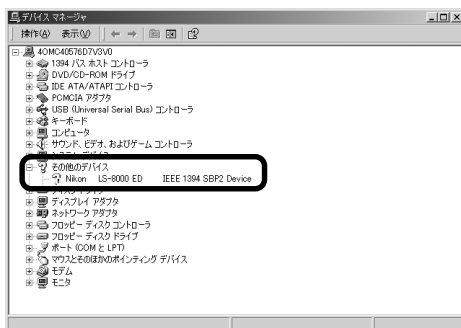
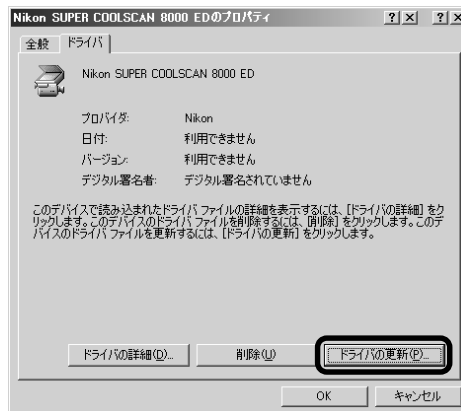
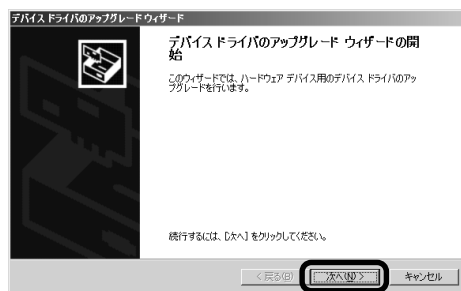
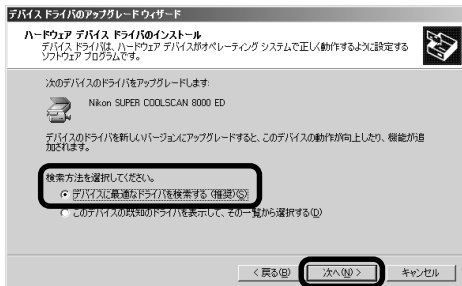
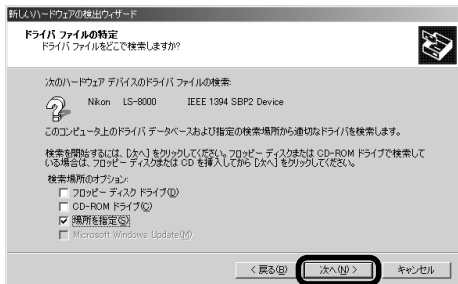
2 ［スタート］メニューの［設定］から、［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

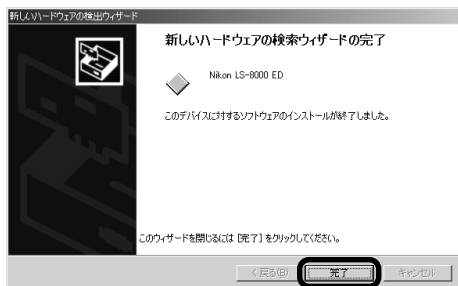
3 ［システムのプロパティ］画面が表示されます。［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

4 ご使用のスキャナ名が、イメージングデバイスとしてデバイスの一覧に表示されているか確認します。［イメージングデバイス］アイコンが表示されている場合は、アイコン左側の［+］マークをクリックするとイメージングデバイスの一覧が表示されます。

5 一覧から、ご使用のスキャナ名をダブルクリックします。スキャナ名が［イメージングデバイス］の下に表示されていない場合は、「デバイスドライバの更新（Windows 2000 の場合）」（P.40）へ進んでください。

6 スキャナのプロパティが表示されます。［全般］タブの［デバイスの状態］欄に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認して完了です。それ以外のメッセージが表示される場合は、「デバイスドライバの更新（Windows 2000の場合）」（P.40）へ進んでください。

デバイスドライバの更新（Windows 2000 Professional）

デバイスの動作確認で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されなかった場合のみ、次の手順でデバイスドライバを更新します。

1 「デバイスの動作確認（Windows 2000 Professional)」の手順 **1** ～ **5**（P.38～P.39）と同じ操作で［デバイスマネージャ］ウィンドウを開きます。

ご使用のスキャナ名が［その他のデバイス］の下に表示されていたり、スキャナ名左側のアイコンに「！」、「？」や「×」マークが表示されている場合は、スキャナ名をダブルクリックしてスキャナのプロパティを表示します。

2 スキャナプロパティ表示画面の［全般］タブにある［ドライバの更新］をクリックします。

3 ［デバイスドライバのアップグレードウィザード］画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。

4 ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、［Exit］をクリックしてインストール画面を閉じてください（Shiftキーを押しながら挿入すると、Nikon Scan 3.1インストーラを起動せずにCDを認識します）。「Windows　2000 Professionalにスキャナを登録する」の手順**4**～**9**（📖 P.35～P.37）の操作で、ドライバの場所を指定します。

6 ドライバのインストール完了を知らせる画面が表示されます。［完了］をクリックして終了します。

再起動を促す画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows Millennium Edition (Me)にスキャナを登録する

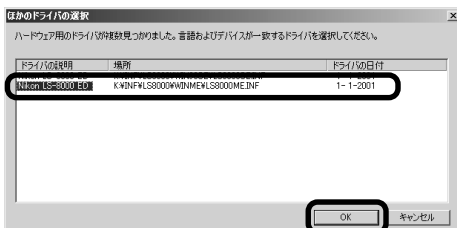
スキャナのデバイス登録（Windows Me）

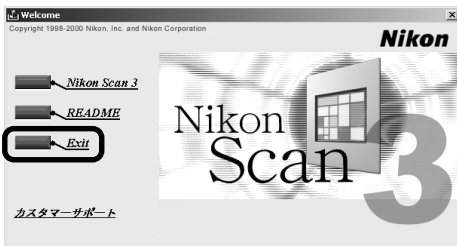
1 スキャナの電源をオンにします。コンピュータが初めてスキャナを認識したときは、新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの検索ウィザード］が表示されます。

2 Nikon Scan 3.1 CD をCD-ROM ドライブに挿入してください。

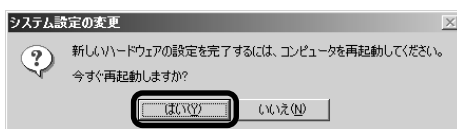
3 右の画面が表示されます。[適切なドライバを自動的に検索する] を選択して［次へ］をクリックします。

4 検出されたドライバの一覧が表示されます。[場所］欄に［Ls8000me.INF] が含まれるドライバを選択し、[OK] をクリックします。

※ 他のファイル名とよく似ていますので、ご注意ください。

補足

Nikon Scan 3 CD をCD-ROM ドライブに挿入したときに、ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、[Exit] をクリックしてインストール画面を閉じてください（Nikon Scan 3 CD を、Shiftキーを押しながらCD-ROMドライブに挿入すると、インストール画面は開きません)。

5 スキャナのデバイス登録が終了すると、右の画面が表示されますので、[完了] をクリックしてください。

6 [はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。

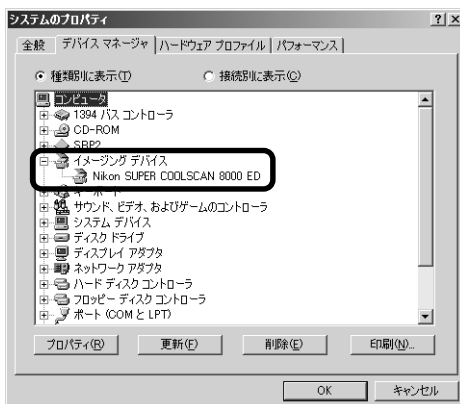
登録完了後、スキャナがWindowsデバイスとして正常に動作しているか確認してください（P.44）。

デバイスの動作確認（Windows Me）

デバイス登録が完了したら、デバイスが正常に動作していることを、次の手順で確認します。

1 スキャナとコンピュータが接続され、スキャナの電源が入っていることを確認します。

2 ［スタート］メニューの［設定］から、［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

3 ［システムのプロパティ］画面が表示されますので、［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 ご使用のスキャナ名が、イメージングデバイスとしてデバイスの一覧に表示されているか確認します。［イメージングデバイス］アイコンが表示されている場合は、アイコン左側の［+］マークをクリックするとイメージングデバイスの一覧が表示されます。

5 一覧から、ご使用のスキャナ名をダブルクリックします。スキャナ名が［イメージングデバイス］の下に表示されていない場合は、「デバイスドライバの更新（Windows Me の場合）」（P.46）へ進んでください。

6 スキャナのプロパティが表示されます。［全般］タブの［デバイスの状態］欄に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認して完了です。それ以外のメッセージが表示される場合は、「デバイスドライバの更新（Windows Me の場合）」（P.46）へ進んでください。

デバイスドライバの更新（Windows Me）

デバイスの動作確認で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されなかった場合のみ、次の手順でデバイスドライバを更新します。

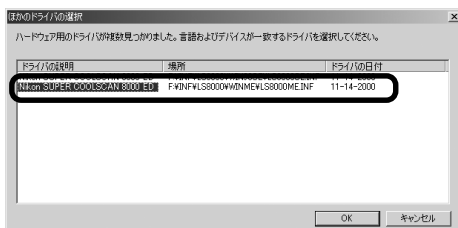
1 「デバイスの動作確認（Windows Me）」の手順 **1**～**5**（P.44～P.45）と同じ操作で［デバイスマネージャ］タブを開きます。

ご使用のスキャナ名が［その他のデバイス］の下に表示されていたり、スキャナ名左側のアイコンに「！」、「？」や「×」マークが表示されている場合は、スキャナ名をダブルクリックしてスキャナのプロパティを表示します。

2 スキャナプロパティ表示画面の［全般］タブにある［ドライバの更新］をクリックします。

3 ［デバイスドライバの更新ウィザード］画面が表示されます。Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、［Exit］をクリックしてインストール画面を閉じます（Shift キーを押しながら挿入すると、Nikon Scan 3 インストーラを起動せずに CD を認識します）。

4 ［最適なドライバを自動的に検索する］を選択して、［次へ］をクリックします。

5 検出されたドライバの一覧が表示されます。［場所］欄に［Ls8000me.INF］が含まれるドライバを選択し、［OK］をクリックします。

6 ドライバの検出を知らせる画面が表示されます。［完了］をクリックして終了します。

再起動を促す画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

Windows 98 Second Edition (SE)にスキャナを登録する

スキャナのデバイス登録（Windows 98SE）

スキャナをハードウェアとして登録する前に、IEEE 1394 ドライバのアップデートが完了していることを確認してください。詳しくは「Windows 98SE IEEE1394アップデート」の項（P.17）をご覧ください。

1 コンピュータが起動していることを確認します。次に、スキャナの電源がオフになっているか、スキャナとコンピュータが IEEE 1394 ケーブルで接続されているかを確認します。

2 スキャナの電源をオンにして、画面が表示されるまで待ちます。

● ［Windows 98 Second Edition CD- ROM ディスクを挿入してください］という右の画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックして **3-A に進んでください**。

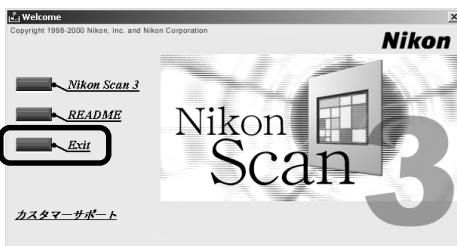
● 「新しいハードウエアが検出されました」という右の画面が表示された場合は、[次へ] ボタンをクリックして、**3-B**（**P.49**）**に進んでください**。

● 約６０ 秒経過しても画面が表示されない場合は、［デバイスドライバの更新(Windows 98SE)］（**P.53**）**に進んでください**。

3-A

CD-ROM ドライブに Windows 98 **CD を挿入せずに CD-ROM ドライブを空にしたまま**［OK］ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら［参照］ボタンをクリックします。

補足

Nikon Scan 3 CD をCD-ROM ドライブに挿入したときに、ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、[Exit] をクリックしてインストール画面を閉じてください。

[C:¥windows¥system32¥drivers] ディレクトリを表示します。[ドライブ] メニューで [C:] ドライブを選択します。

スクロールして [windows]ディレクトリを表示して、ダブルクリックします。[C:¥windows] 内のディレクトリが表示されたら、[system32] ディレクトリを表示させて、ダブルクリックします。

[drivers]ディレクトリをダブルクリックすると、[ntmap.sys] が表示され、自動的に選択されます。

[OK] ボタンをクリックして IEEE1394 ドライバのアップデートを終了します。

登録完了後、スキャナがWindowsデバイスとして正常に動作しているか確認してください（P.51）。

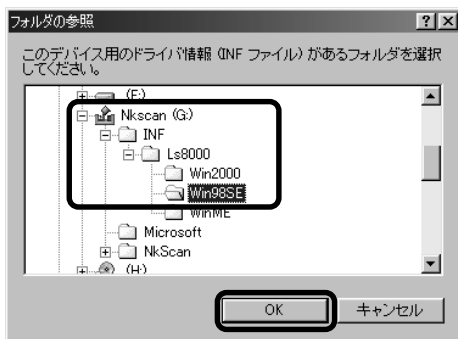
以上で登録作業は終了です。

3-B

右の画面で［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、[次へ］をクリックします。

Nikon Scan 3.1 CDがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認します。Shiftキーを押しながら挿入すると、Nikon Scan 3.1 インストーラを起動せずに CD を認識します。

4 [検索場所の指定]を選択して[参照]をクリックします。

5 ［フォルダの参照］画面で、CD-ROM（Nkscan）内の［¥Inf¥Ls8000］を開きます。次にLs8000フォルダ内の［Win98SE］フォルダを選択し、［OK］をクリックします。

6 ［検索場所の指定］の下に、次のフォルダが指定されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

［(CD-ROM ドライブ):

　¥Inf¥Ls8000¥Win98SE］

7 右の画面が表示されますので、［次へ］をクリックします。

8 登録の完了の画面が表示されます。［完了］をクリックしてウィザードを終了します。

登録完了後、スキャナがWindowsデバイスとして正常に動作しているか確認してください（P.51）。

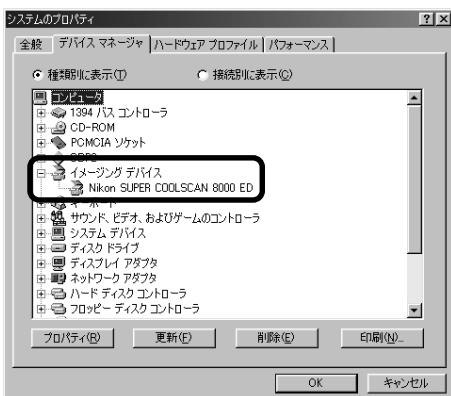
デバイスの動作確認（Windows 98SE）

デバイス登録が完了したら、デバイスが正常に動作していることを、次の手順で確認します。

1 スキャナとコンピュータが接続され、スキャナの電源が入っていることを確認します。

2 ［スタート］メニューの［設定］から、［コンピュータパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

3 ［システムのプロパティ］画面が表示されますので、［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 ご使用のスキャナ名が、イメージングデバイスとしてデバイスの一覧に表示されているか確認します。［イメージングデバイス］アイコンが表示されている場合は、アイコン左側の［+］マークをクリックするとイメージングデバイスの一覧が表示されます。

5 一覧から、ご使用のスキャナ名をダブルクリックします。スキャナ名が［イメージングデバイス］の下に表示されていない場合は、「デバイスドライバの更新（Windows 98SE）」（P.53）へ進んでください。

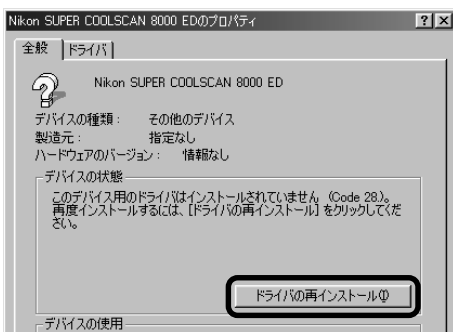
6 スキャナのプロパティが表示されます。［全般］タブの［デバイスの状態］欄に「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていることを確認して完了です。それ以外のメッセージが表示される場合は、「デバイスドライバの更新（Windows 98SE）」（P.53）へ進んでください。

デバイスドライバの更新（Windows 98SE）

デバイスの動作確認で「このデバイスは正常に動作しています」と表示されなかった場合のみ、次の手順でデバイスドライバを更新します。

1 「デバイスの動作確認（Windows 98SE）」の手順 **1**～**3**（P.51～P.52）と同じ操作で[デバイスマネージャ]タブを開きます。

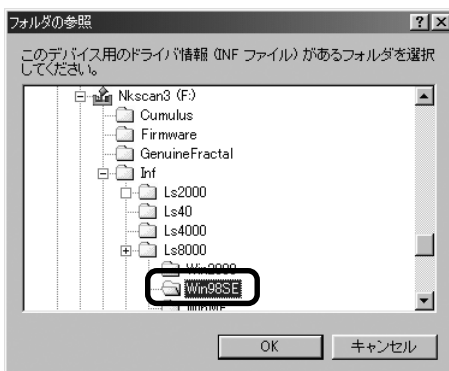
ご使用のスキャナ名が［その他のデバイス］の下に表示されていたり、スキャナ名左側のアイコンに「！」、「？」や「×」マークが表示されている場合は、スキャナ名をダブルクリックしてスキャナのプロパティを表示します。

2 スキャナプロパティ表示画面の［全般］タブにある［ドライバの再インストール］をクリックします。

3 ［デバイスドライバの更新ウィザード］画面が表示されます。［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する］を選択して、［次へ］をクリックします。

4 Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。[検索場所の指定] を選択して [参照] をクリックします。ソフトウェアのインストール画面が自動的に開いた場合は、[Exit] をクリックしてインストール画面を閉じます(Shift キーを押しながら挿入すると、Nikon Scan 3.1 インストーラを起動せずにCD を認識します)。

5 [フォルダの参照] 画面でCD-ROM内の次の場所を選択します。

[¥Inf¥Ls8000¥Win98SE]

[OK] をクリックします。

6 ドライバの検出を知らせる画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。

7 ドライバのインストール完了を知らせる画面が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

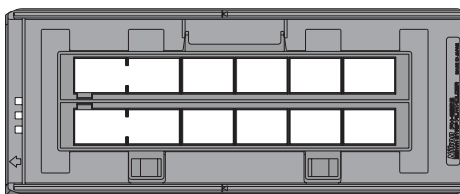
スキャンする

はじめてスキャンするために必要な手順などを順に説明します。

Step 1: フィルム原稿を用意する

使用するフィルムにより、ホルダのタイプが異なります。ここでは付属の35mmストリップフィルムホルダ FH-835S を使ったスキャンについて説明します。

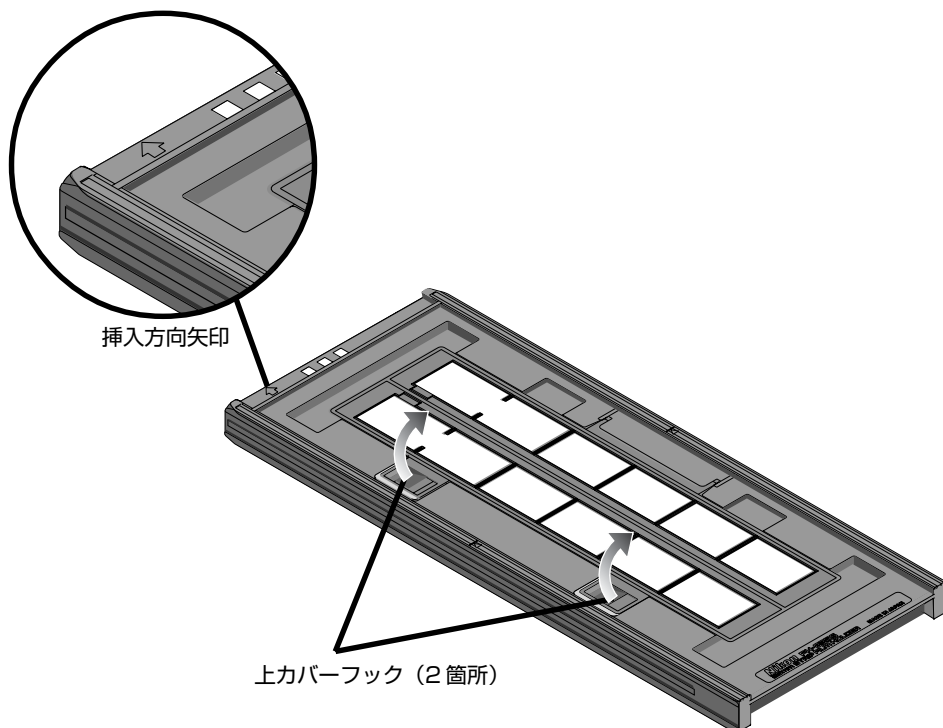
35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S は、6 コマまでの 35mm ストリップフィルムをスキャンする場合に使用します。ホルダには6コマまでのストリップフィルムを2枚までセットできます。

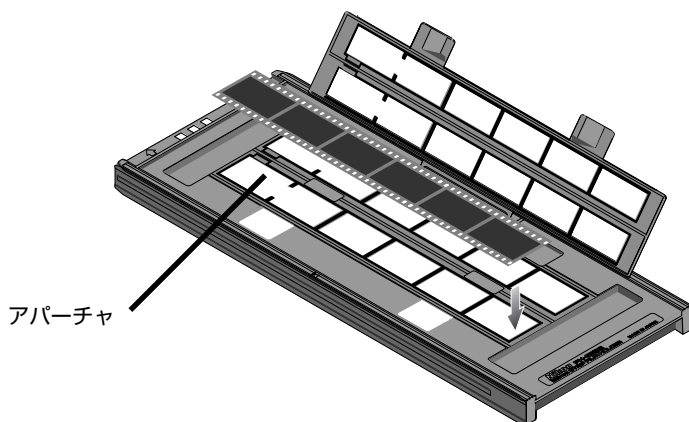
6コマまでのストリップフィルムを1枚のみセットした場合や、長さの異なったフィルムを2枚セットした場合は、マスクシートを使用します。

35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S

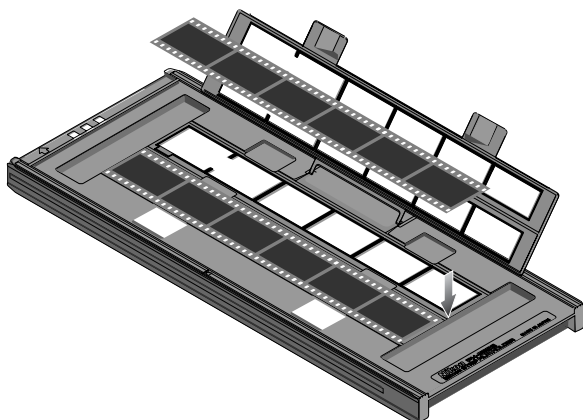
35mm ストリップフィルム

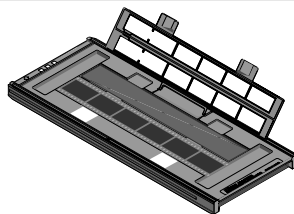
マスクシート

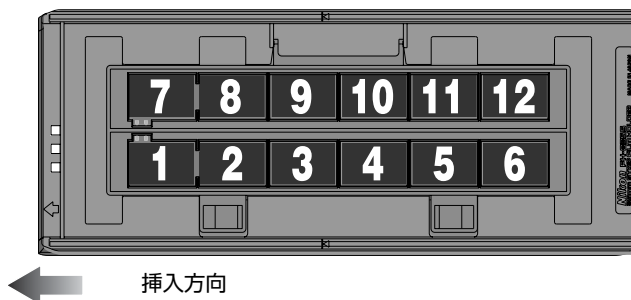
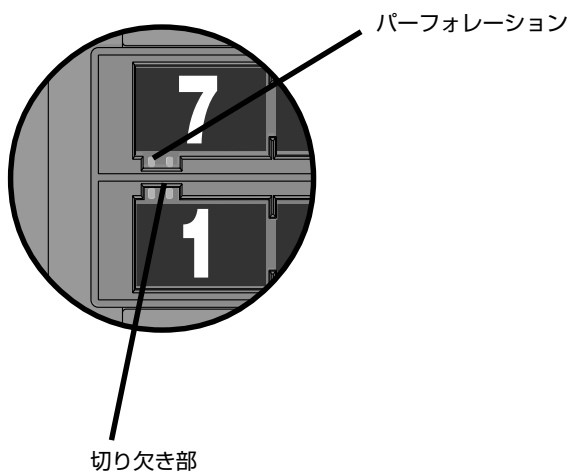
Step 2: 35mm ストリップフィルムをホルダにセットする

本体への挿入方向矢印が左側になるようにして、2 箇所の上カバーフック部を、フィルムホルダの裏側の穴から指で押し上げるように外して上カバーを開きます。

35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S にフィルムをセットします。

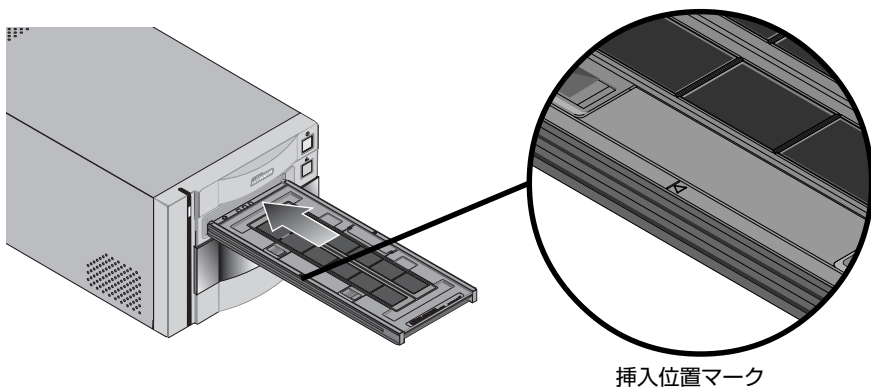
光沢面が上（乳剤面を下）になるように、各コマを下ホルダのアパーチャ部分にあわせてセットします。

2 枚目のフィルムをもう 1 列にセットします。

ホルダの溝部からフィルムがはみ出さないように確実にセットしてください(P.82)。

マスクシートについて

フィルムを 1 枚のみセットするときは、必ずセットしない 1 列にマスクシートを装着してください。また、フィルムは手前側（サムネイルコマ番号の小さい側）にセットしてください。詳しくは各種ホルダの項（P.81）をご覧ください。

上カバーを完全に閉じる前に、上カバーの切り欠き部に、先のとがったペン先などでストリップフィルムのパーフォレーションを引っかけて位置を調整します。

上カバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

Step 3: ホルダをスキャナにセットする

スキャナ本体が動作中でない（表示LED点滅中でない）ことを確認し、フィルムホルダを挿入します。

フィルムホルダの挿入方向矢印のマークが上になるように、まっすぐにゆっくり挿入します。フィルムホルダの挿入位置マークの近くまで挿入すると自動的にスキャナ本体に引き込まれますので、フィルムホルダから手を放してください。フィルムホルダが所定の位置で停止します。

挿入位置マーク

注意事項

- ホルダスロットカバーがいちばん下まで下りきっていないと、ホルダの挿入、排出はできません。
- ホルダを無理な力で押し込まないでください。
- ホルダを挿入すると、スキャナはホルダ搬送の準備をします。その際に手でホルダを引き出したり、ホルダの搬送を妨げないでください。エラーになります。自動挿入動作中や、挿入動作完了後に無理な力でホルダを引き抜かないでください。
- ホルダを取り出すときは、必ずスキャナ本体のイジェクトボタン、またはNikon Scanのスキャンウィンドウのイジェクトボタンで行ってください。
- 正常にホルダが挿入されなかった場合は、ホルダを一度引き出してから再度挿入してください。
- 挿入するホルダのホコリやゴミは、ブロア等で除去してください。

Step 4: Nikon Scanを起動してスキャンする

Nikon Scanを使用したスキャン手順の概略を説明します。Nikon Scanを操作する各手順の詳細は「Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル」をご覧ください。

TWAIN（Windows）または Adobe Photoshop 5.0 形式のプラグイン（Macintosh）をサポートしているアプリケーションからでも画像の取り込みが可能です。

Windowsの場合：

アプリケーションの［読み込み］などの画像取り込みメニューから［Nikon Scan］を選択してください（詳しくはアプリケーションの説明書を参照してください）。

Macintoshの場合：

Nikon Scan Plugin 3.1がアプリケーションのプラグインフォルダにインストールされている必要があります（詳しくはアプリケーションの説明書を参照してください）。

Nikon Scanを起動する

Windowsの場合

［スタート］をクリックして［プログラム］メニューの中の［Nikon Scan 3.1］から［Nikon Scan 3.1］を選択します。

Macintoshの場合

インストール時に選択した場所にある［Nikon Software］フォルダ内の［Nikon Scan 3.1］フォルダを開き、［Nikon Scan 3.1］アイコンをダブルクリックします。

● Mac OS Xの場合

［Macintosh HD］の［Applications］フォルダ内に［Nikon Software］フォルダがあります。その中の［Nikon Scan 3］フォルダを開き、［Nikon Scan 3］アイコンをダブルクリックします。

Nikon Scanを使用する

ここでは付属の35mmストリップフィルムホルダFH-835Sを使ったスキャンについて説明します。

スキャンウィンドウ

重要

スキャナの電源を入れて、Nikon Scanを起動した状態で、最初のホルダ挿入時と、スキャナの電源を入れてホルダを挿入した状態で、最初のNikon Scanを起動したときのみ、速い点滅（約３秒間）を５回繰り返しますが、エラーや故障ではありません。このときにホルダをイジェクトしないでください。

イジェクト等の処理を行ってしまった場合は、スキャナの電源を入れ直して、Nikon Scanを再起動してください。

1 Nikon Scanのフィルムタイプメニューから、使用するフィルム原稿の種類を選択します。

2 Nikon Scanのスキャンモードメニューから、使用するカラーモデルを選択します。

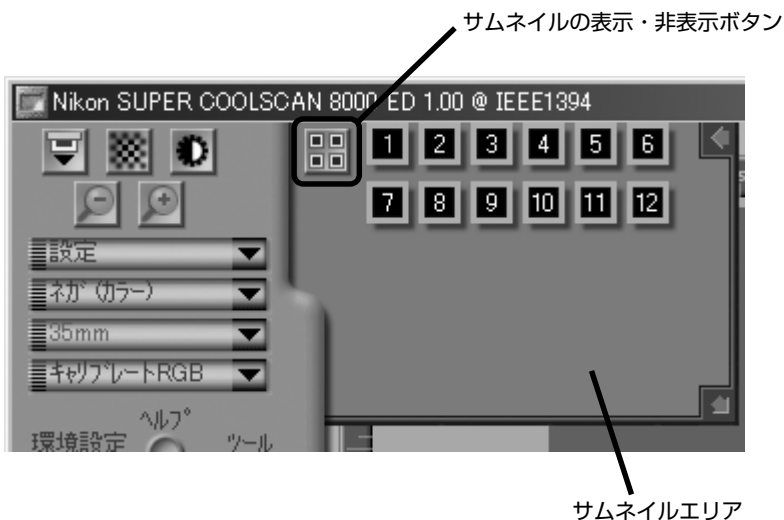
通常は［キャリブレートRGB］を選択します。モノクロフィルム使用時は［グレースケール］を、業務用印刷などの場合は［CMYK］を選択します。

参照ページ	参照項目
P.26	ソフトウェアマニュアル：スキャンをする

3 サムネイルタブをクリックしてサムネイルエリアを開き、**サムネイルの一覧からスキャンする画像を選択します。**

※「ガラス付き回転式ブローニフィルムホルダ FH-869GR（別売）」の場合は、サムネイルエリアを開くことができません。

サムネイルエリアにコマ番号の一覧が表示されます。サムネイル表示をするときは をクリックします。 をクリックするとコマ番号の一覧表示に戻ります。

※ ホルダにより、サムネイルコマ数が異なります。

サムネイルエリア枠をドラッグしてサムネイルエリアを広げるか、スクロールスライダで画面を移動すると２枚目以降のサムネイルを確認できます。

4 サムネイルをクリックするとその画像が選択されます。

スキャンする画像を選択するときは、それぞれのサムネイルや数字をクリックします。複数の画像を選択するときはCtrlキー（Windows）またはコマンド（⌘）キー（Macintosh）を押しながら順にクリックします。Shiftキーを押しながら2つの画像をクリックすると、その間にある全ての画像も選択されます。詳しくは「Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアル」をご覧ください。

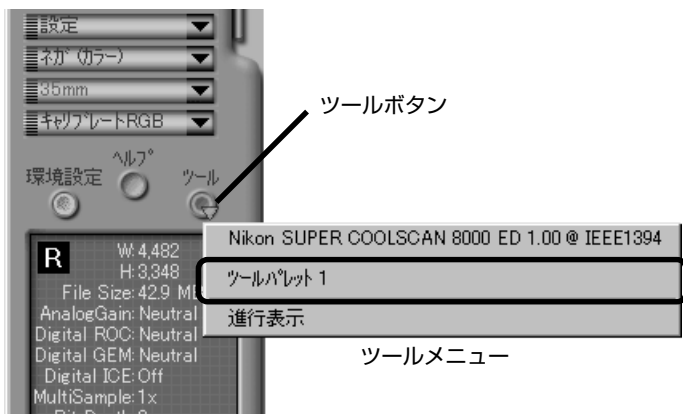
5 プレビューを行います。プレビュー画像は最終的なスキャンの前にスキャン範囲を決めたり、色合いなどを確認、調整するために用います。

[プレビュー] ボタンをクリックし、スキャンする画像のプレビュー画像を読み込みます。サムネイルをダブルクリックしても読み込めます。

プレビュー画像が読み込まれるとプレビューエリアに表示されます。

プレビューエリア

6 **ツールパレットを使用すると、画像のスキャン範囲、出力サイズや解像度などの設定や、フィルムの傷や粒子のあらさ、退色などを補正できます。**

スキャン前に、画像のコントラスト、色、シャープネスを編集することができます。ツールパレットを開くにはスキャンウィンドウのコントロールエリアにある［ツール］ボタンをクリックして、表示されたメニューから［ツールパレット 1］を選択します。

ツールパレット 1

参照ページ　参照項目

P.40　ソフトウェアマニュアル：ツールパレット

7 必要に応じて画像を回転・反転させます。ツールパレットウィンドウにある［レイアウトツール］パレットのタイトル左端の ▶ アイコンをクリックすると［レイアウトツール］パレットが開きます。

ここでは、を使用して、右に 90°回転させます。

クリックするとレイアウトツールパレットが開閉します

次の４つのボタンで操作します。

画像を右に 90°回転します

画像を左に 90°回転します

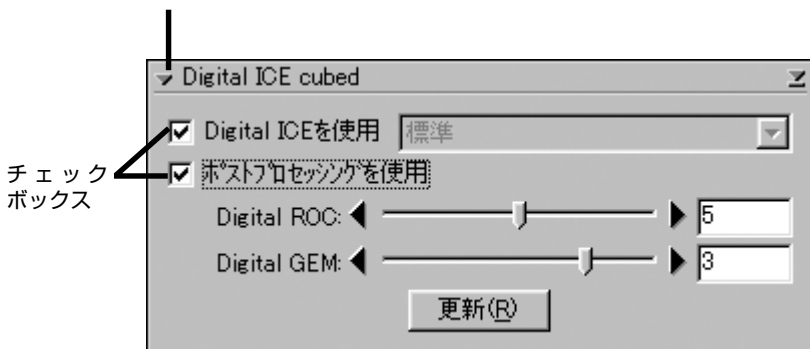
画像の左右を反転します

画像の上下を反転します

プレビュー画像の回転・反転は画像のスキャンにも反映されます。レイアウトツールパレット左側に表示される [R] の文字の方向は、画像の回転・反転の状態を示しています。

参照ページ	参照項目
P.43	ソフトウェアマニュアル：［レイアウトツール］パレット

8 **必要に応じてフィルムの傷、ゴミ、退色や粒状の影響を軽減させる機能を使用します。**

[Digital ICE cubed]（Digital ICE³）パレットタイトル左端の ▶ アイコンをクリックして［Digital ICE cubed］（Digital ICE³）パレットを開きます（詳しくはソフトウェアマニュアルの P.51 をご覧ください）。

[Digital ICE]

傷やゴミの影響を軽減する機能です。使用するには、［Digital ICE を使用］のチェックボックスをオンにします。オンにすると、右のプルダウンメニューから［標準］または［強］モードが選択できます。

［強］モードでは、こまかい傷や微量の汚れなどを修正しますが、画像のシャープさが失われることがあります。効果はプレビュー画像で確認します。［プレビュー］ボタンをクリックしてプレビュー画像を更新してください。

[Digital ROC、Digital GEM]

［ポストプロセッシングを使用］のチェックボックスをオンにすると、［Digital ROC］、［Digital GEM］の各機能が使用できます。

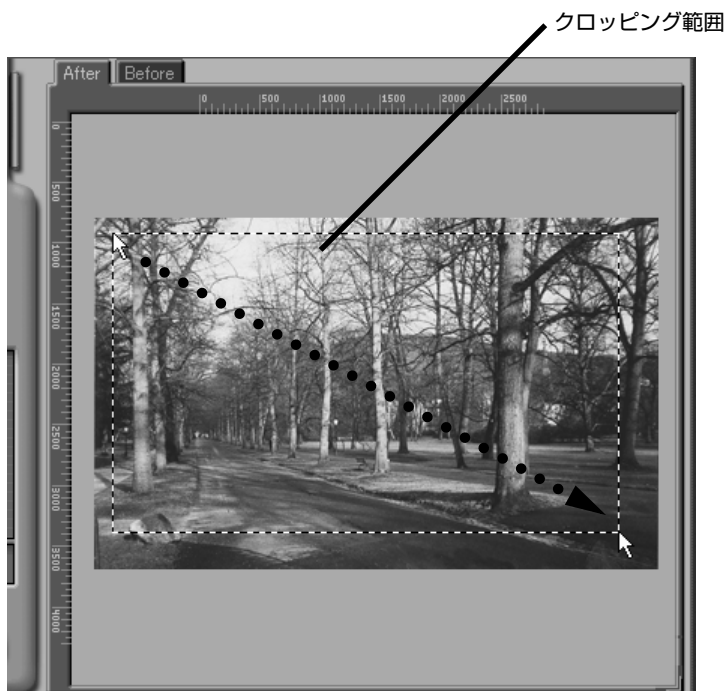
［Digital ROC］ではフィルムの色の復元を行い、［Digital GEM］ではフィルムの粒子のざらつきの影響を軽減します。使用するときは、スライダで補正量を調整します。補正量が0のとき、各機能はオフになり、数値が大きいほど補正量は大きくなります。初期値は［Digital ROC］は５、［Digital GEM］は３です。

効果はプレビュー画像で確認します。［更新］ボタンをクリックしてプレビュー画像を更新してください。

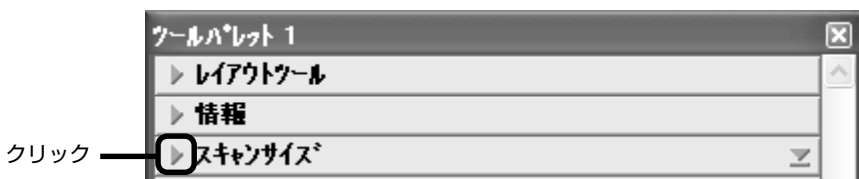
重要

Digital ICE³ 機能は複雑な処理を必要とするため、スキャン処理にかかる時間が長くなります。処理の時間はコンピュータの処理速度や画像の大きさなどによっても変わります。

参照ページ	参照項目
P.51	ソフトウェアマニュアル：画像補正

9 画像をスキャンする範囲（クロッピング範囲）を選択します。クロップツール（□）を選択し、プレビュー画像上でスキャンする範囲の対角線をマウスでドラッグすると、選択された範囲が点線で囲まれて表示されます。

クロッピング範囲の枠（点線）をドラッグすると、範囲の大きさを変えることができます。クロッピング範囲内（点線の内側）でドラッグすると、範囲の大きさを変えずに移動することができます。

10 読み込む画像の大きさ（サイズ）や印刷時の出力解像度設定などを行います。数値を入力してクロッピング範囲の大きさを指定することもできます。

ツールパレットウィンドウにある［スキャンサイズ］パレットタイトル左端の ▶ アイコンをクリックすると、［スキャンサイズ］パレットが開きます。

［スキャンサイズ］パレットで出力サイズを指定するには、次の3つの方法があります。

出力サイズ単位メニュー

スキャンサイズ

クロップを優先

W: 2,870 H: 4,332 Pixels

出力サイズを優先

出力サイズ値 W: 0.99 H: 1.49 Inches

ファイルサイズを優先

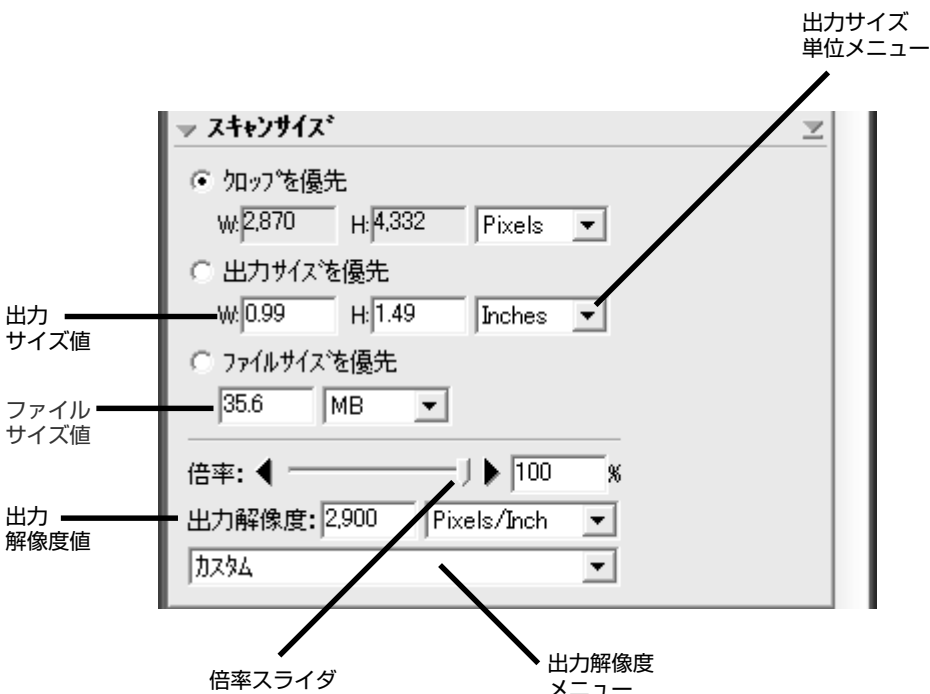
ファイルサイズ値 35.6 MB

倍率: 100 %

出力解像度値 出力解像度: 2,900 Pixels/Inch

カスタム

倍率スライダ

出力解像度メニュー

参照ページ	参照項目
P.46	ソフトウェアマニュアル：［スキャンサイズ］パレット

[クロップを優先]

画像上で選択したスキャン範囲(クロッピング)を固定して、画像の寸法、解像度、ファイルサイズを調整する場合に選択します。

スキャン範囲はプレビュー画像上でマウスをドラッグして指定します。[出力サイズを優先]項目の下にある[W](幅)または[H](高さ)の一方に数値を入力すると、スキャン範囲の縦横の比率に合わせて、もう一方の数値が調整されます。

[出力サイズを優先]

出版やホームページ作成など、画像の寸法が決定している場合に、出力寸法を固定して他の数値を調整するとき選択します。

プレビュー画像上でマウスをドラッグして、およそのスキャン範囲を指定します。出力サイズの指定に使用する単位を選択し、出力する画像の[W](幅)と[H](高さ)の数値を入力すると、[H]と[W]の比率に合わせて、スキャン範囲の縦横の比率が調整されます。

[ファイルサイズを優先]

保存する画像のファイルサイズを固定し、他の数値を調整する場合に使用します。保存場所に制限がある場合、通信する場合、あらかじめファイルサイズが指定されている場合などに便利です。プレビュー画像上でマウスをドラッグして、およそのスキャン範囲を指定します。ファイルサイズの指定に使用する単位を選択し、ファイルサイズを入力すると、その他の数値が自動で調整されます。

11 ツールパレット内の以下のパレットの機能を使用することで、画像の明るさや色あいの編集などができます。必要に応じて編集を行ってください。詳しくはNikon Scan 3ソフトウェアマニュアルCD-ROMをご覧ください。

[トーンカーブ]

画像の明るさ、色のバランスやコントラストを、より細かく調整することができます。

例えば、シャドウ部、ハイライト部、中間調部ごとに階調域のコントラストを高めることができます。また、色チャンネルごとの調整も可能です。

[カラーバランス]

画像の明るさ、コントラスト、各色（赤、緑、青）のバランスを調整します。

[LCH エディタ]

画像の明度（Luminosity）、彩度（Chroma）、色相（Hue）を調整します。明度は階調域ごとの明るさを、彩度は色の鮮やかさをそれぞれ設定します。色相は特定の色を別の色に変換します。

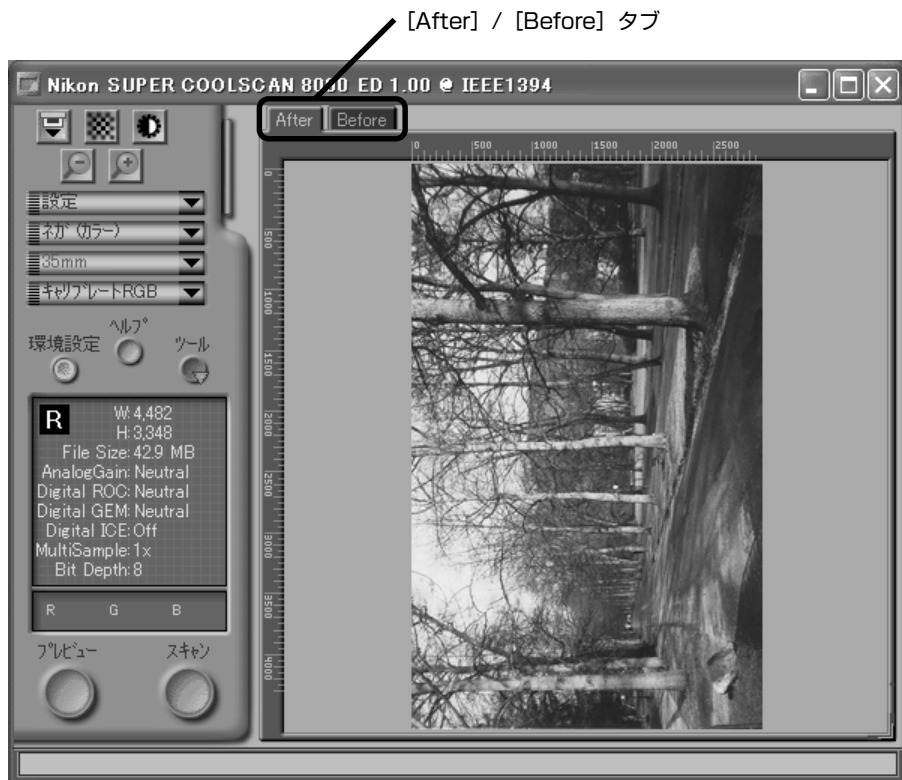
[アンシャープマスク]

画像の鮮鋭度を高めるためのフィルタで、シャープネス処理のひとつです。アンシャープマスクをかけると、輪郭部分の色や明るさの差が強調されます。

これらのパレットを開くには、各パレットのタイトル左端の ▶ アイコンをクリックします。

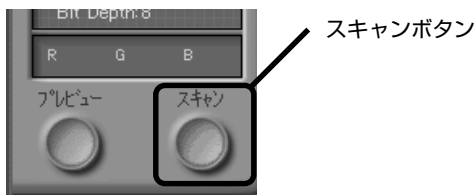
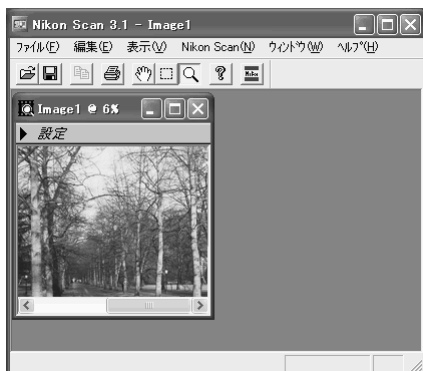
参照ページ　参照項目

P.63	ソフトウェアマニュアル：[トーンカーブ] パレット
P.76	ソフトウェアマニュアル：カラーバランス
P.78	ソフトウェアマニュアル：LCH エディタ
P.85	ソフトウェアマニュアル：[アンシャープマスク] パレット

これらの色調整はプレビュー画像やスキャン画像に反映されます。プレビューエリアの［After］タブをクリックすると、色調整が反映されたプレビュー画像が表示されます。変更前の画像を確認するときは［Before］タブをクリックし、効果を確認しながら調整できます。

［After］/［Before］タブ

補足

Nikon Scan アプリケーションで使用している場合は、Ctrl-「T」（Windows）または⌘-「T」（Macintosh）のショートカットで［After］タブと［Before］タブを交互に切り替えられます。

12 ［スキャン］ボタンをクリックします。読み込み動作が始まります。

スキャンが完了すると、読み込んだ画像が表示されます。

Windows

Macintosh

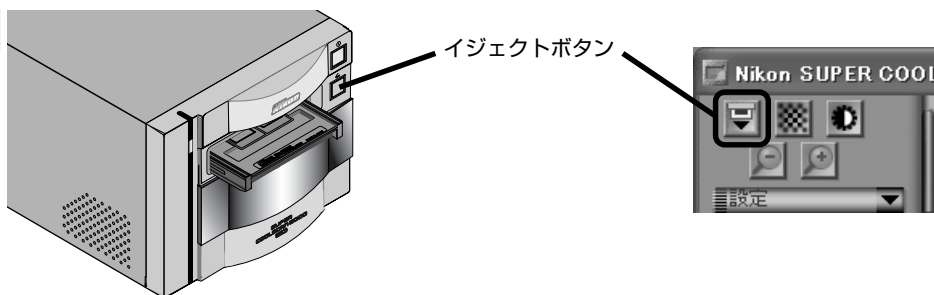
スキャンされた画像は、保存して再度開いたり、Photoshopなどのアプリケーションで編集することができます。

メモ

スキャンウィンドウの後ろに読み込んだ画像が隠れている場合があります。このような場合はスキャンウィンドウを閉じてください。

13 スキャン後、スキャンウィンドウを閉じてから、別の画像をスキャンする場合は、［ファイル］メニューから［スキャンウィンドウを開く］（Windows）、または［Nikon Scan］メニューから［ツール］（Windows/Macintosh）のサブメニューで、スキャンウィンドウを開くスキャナを選択します。

スキャンウィンドウが開いたら、再度、手順 **1** から **12** （P.63～75)を繰り返します。Nikon ScanをTWAINソースまたは読み込みプラグインとして使用する場合は、メインアプリケーションの［インポート］または［読み込み］などのコマンドでNikon Scanを指定してください。

ホルダをスキャナから取り出すときは、スキャナ本体前面にあるイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanスキャンウィンドウのイジェクトボタン（）をクリックします。

重要

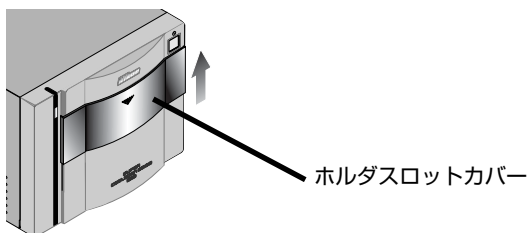
スキャナ本体の電源を入れ直したときもホルダはイジェクト（排出）されます。

注意事項

- フィルムホルダのイジェクト中は、絶対にホルダに触れないでください。イジェクト動作が終了してからホルダを取り出してください。
- ホルダスロットカバーが完全に開いていない状態でNikon Scanスキャンウィンドウのイジェクトボタン（）をクリックしても、ホルダはイジェクトされません。ホルダスロットカバーを完全に開いてから行ってください。

14 次の順序でNikon Scanを終了し、スキャナの電源をオフにします。

1　フィルムホルダをスキャナから排出します（手順**13**参照）。

2　ホルダスロットカバーを閉じます。

3　Nikon Scanの［ファイル］メニューから［終了］を選択します。

メインアプリケーションでNikon ScanをTWAINソースまたは読み込みプラグインとして使用している場合は、スキャンウィンドウを閉じてください。

4　ご使用になるOSにより、スキャナの電源をオフにする手順が異なります。下記の手順通りにスキャナの電源をオフにしてください。

[Mac OSの場合]

表示LEDが点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows XPの場合]

表示LEDが点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows 2000 Professionalの場合]

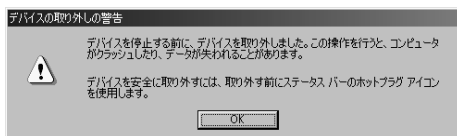
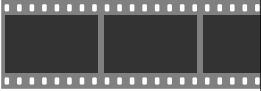
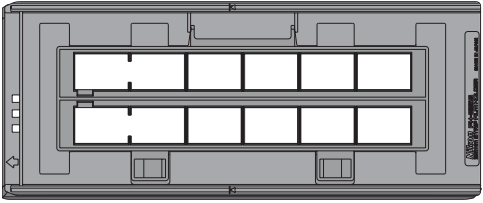
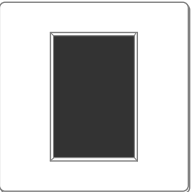
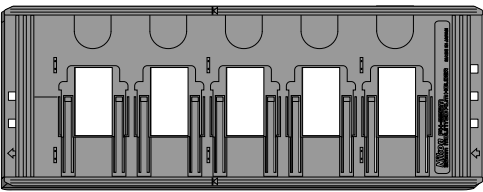
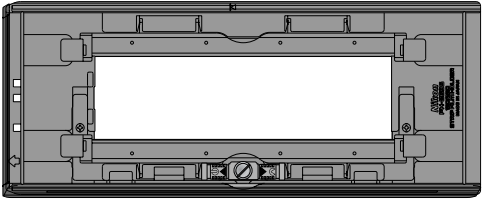
表示LEDが点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows Meの場合]

Windows Meを終了（パソコンの電源を切る）してから、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows 98 SEの場合]

タスクバーからハードウェア接続・解除ボタンを左クリックし、接続されている機器のリスト中のNikon SUPER COOLSCAN 8000 ED IEEE 1394 SBP2 Deviceを選択します。[安全なハードウェア取り外しダイアログ] が表示されますので、[OK] ボタンをクリックし、画面の指示にそってスキャナとの交信を中断させます。電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

「ハードウェアの取り外し」を実行せずに電源オフや取り外しをすると次のようなメッセージが現れますのでご注意ください。

各種ホルダについて

スキャンするフィルムをセットするための、本製品に付属の各種ホルダと、別売の各種ホルダについて説明します。

付属のホルダについて

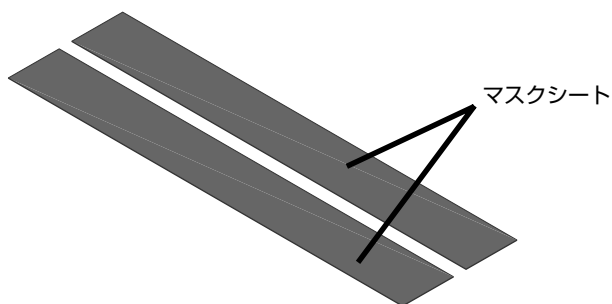
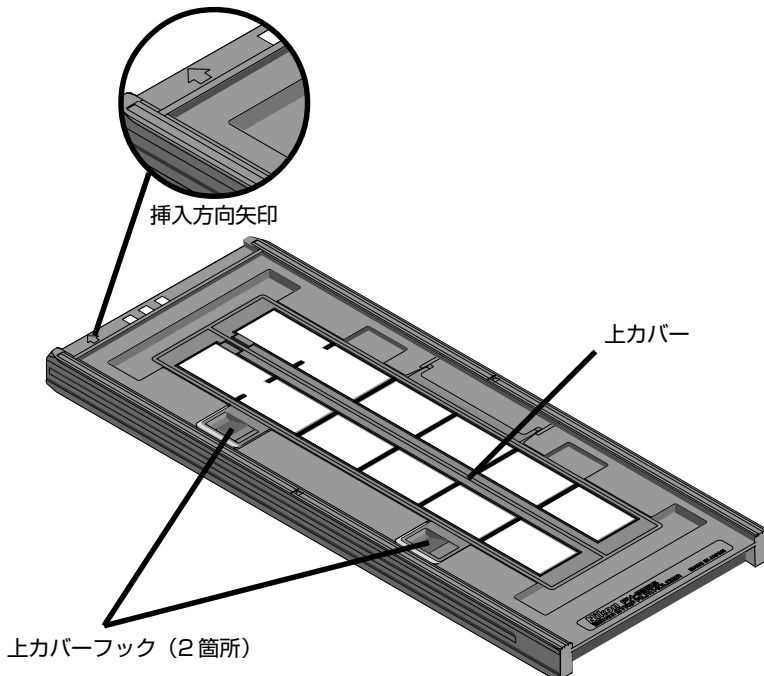
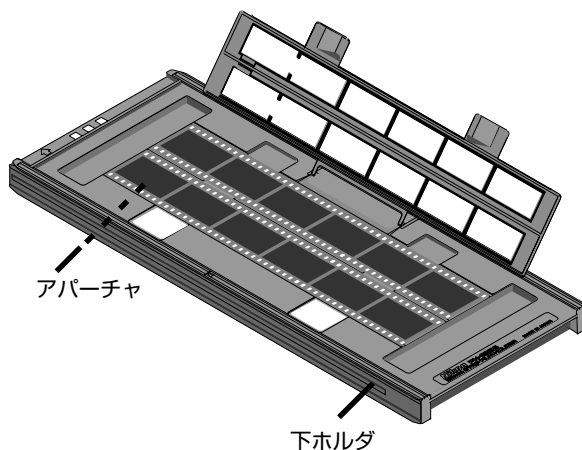
スキャナには次の３種類のホルダが付属しています。スキャンするフィルムにあったホルダを使用してください。

フィルムの種類	対応するホルダ
６コマまでの 35mm ストリップフィルム	35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S 6コマまでのストリップフィルムを同時に2枚までセットできます。
マウントされた 35mm フィルム	35mm スライドマウントホルダ FH-835M ５枚までのマウントを同時にセットできます。
120/220 ストリップフィルム	ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S 120/220 ストリップフィルムまたは 59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをセットできます。

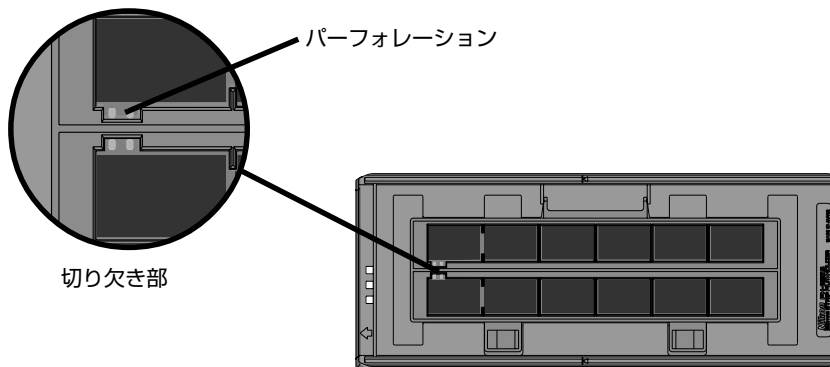
35mm ストリップフィルムホルダ FH-835S を使用する

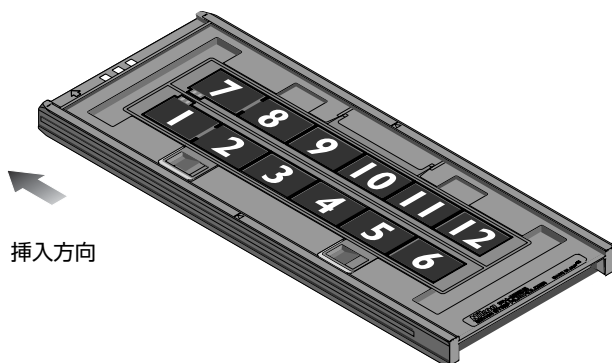
6 コマまでの 35mm ストリップフィルムをスキャンする場合に使用します。ホルダには 6 コマまでのストリップフィルムを 2 枚までセットできます。

6 コマまでのストリップフィルムを 1 枚のみセットした場合や、長さの異なったフィルムを 2 枚セットした場合は、マスクシートを使用します。

（使い方は、P.84 をご覧ください。）

本体への挿入方向矢印が左側になるようにして、2 箇所の上カバーフック部を、フィルムホルダの裏側の穴から指で押し上げるように外して上カバーを開きます。

フィルム光沢面が上（乳剤面を下）になるように溝部にフィルムをのせ、各コマを下ホルダのアパーチャ部分にあわせてセットします。

注意事項

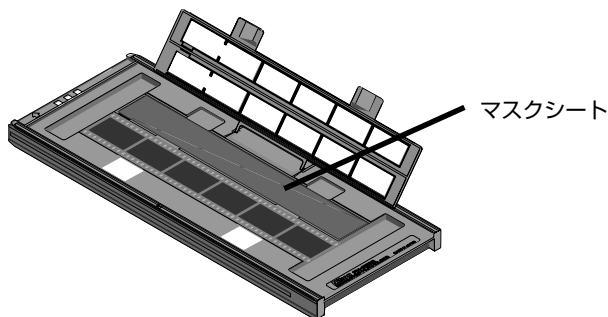
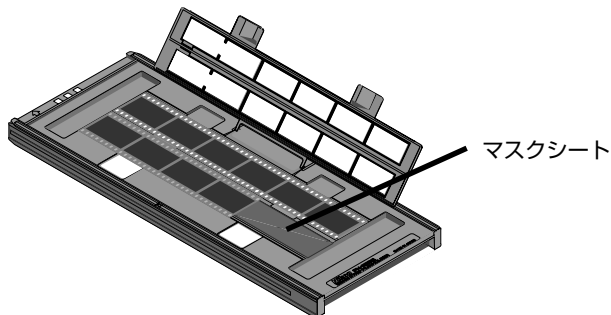
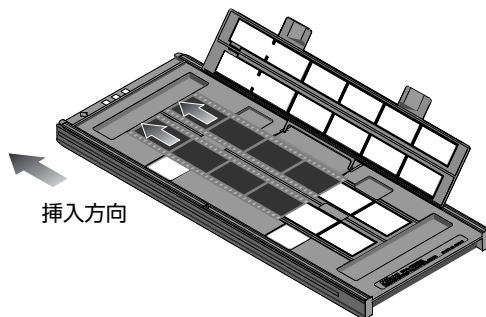
- ネガフィルムとポジフィルムを混在させてスキャンすることはできません。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないよう注意してブロア等で吹きとばしてください。
- ゴミなどが付着したままでスキャンすると、画質の劣化やフィルムに傷をつける原因となる場合があります。

上カバーを完全に閉じる前に、上カバーの切り欠き部に、先のとがったペン先などでストリップフィルムのパーフォレーションを引っかけて位置を調整します。

上カバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。

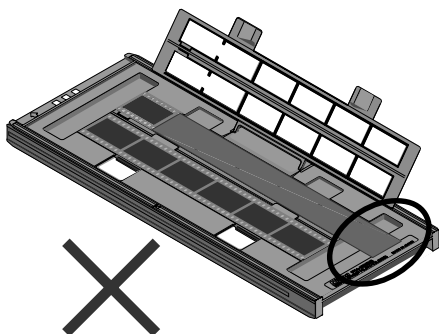
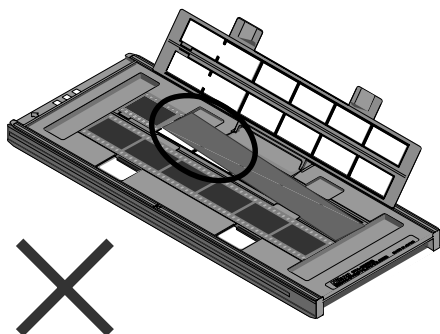
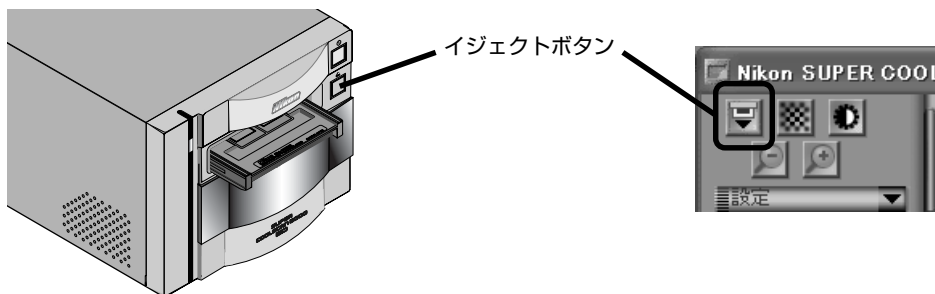
Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

注意事項

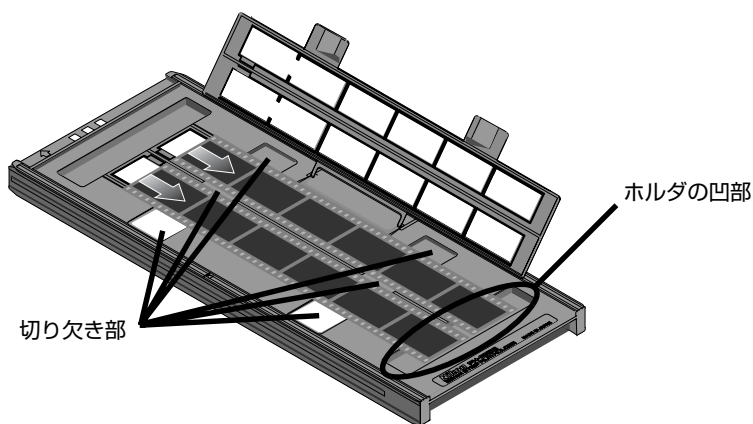
- 位置調整中にペン先などでフィルムを傷つけないように注意してください。
- 上カバーを完全に閉じた状態で位置調整を行わないでください。フィルムに傷をつける原因となる場合があります。

マスクシートの使用方法

フィルムを１枚のみセットするときは、必ずセットしない１列にマスクシートを装着してください。また、フィルムは手前側（サムネイルコマ番号の小さい側）にセットしてください。

長さが異なる２枚のフィルムをセットする場合など、アパーチャが空いている場合は、マスクシートを切って、空いているアパーチャをマスクしてください。マスクシートをご使用にならずに、空いているアパーチャがある場合は、適正な色再現が得られないことがあります。

６コマに満たない同じ長さのフィルムをセットするときは、本体への挿入方向側につめてフィルムをセットしてください。

空いているアパーチャが本体挿入側にあると、適正な色再現が得られないことがあります。

注意事項

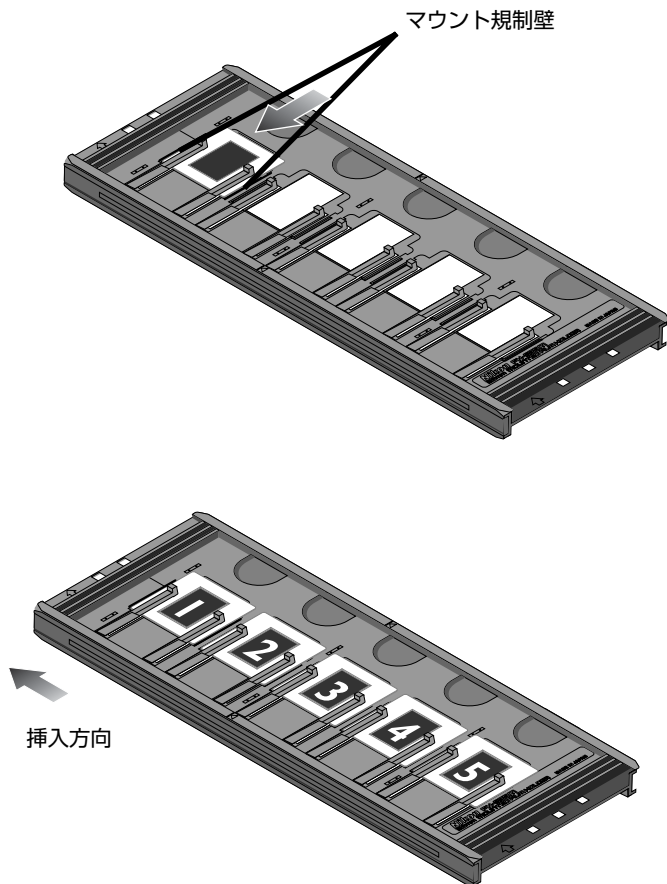
- フィルムが 6 コマ未満の場合など、必要に応じてマスクシートを切って装着してください。
- フィルムやマスクシートをホルダにセットするときは、ホルダの溝部からはみ出さないように確実に装着してください。
- フィルムやマスクシートが溝部からはみ出し、溝部のリブに乗り上げた状態でホルダをスキャナに挿入すると、フィルムホルダが本体内部で引っかかり、排出できなくなる恐れがあります。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

フィルムをセットする手順同様に上カバーを開けて、下ホルダの切り欠き部をつまんで取り出すか、フィルムホルダを少し傾けてストリップフィルムを下ホルダの凹部までずらしてフィルムをつまんで取り出します。

35mm スライドマウントホルダ FH-835M を使用する

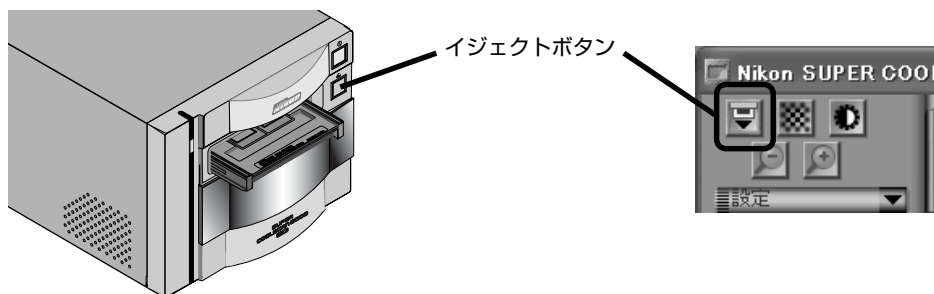
マウントされた 35mm フィルムをスキャンするときに使用します。

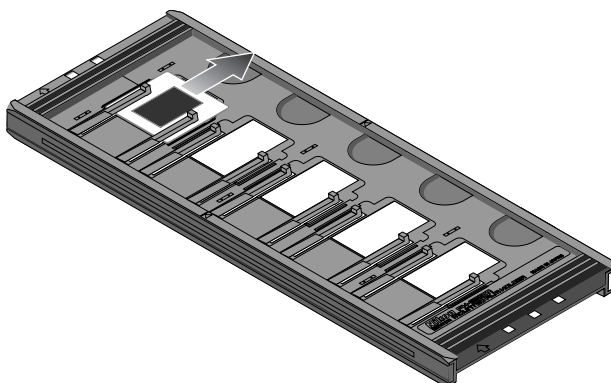
マウントは一度に 5 枚までセットできます。

フィルム光沢面を上（乳剤面を下）にしてスライドマウントをセットします。スライドマウントの向きをフィルムホルダのアパーチャとあわせて、マウント規制壁の間に差し込みます。軽く突き当たるまで差し込んでください。

Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

注意事項

- 使用できるスライドマウントは厚さ 1.0mm ～ 3.2mm です。それ以外のスライドマウントは使用できません。
- 無理な力でスライドマウントを挿入しないでください。マウント押さえ部が破損する恐れがあります。スライドマウントが挿入しづらいときは、マウントを少し斜めに傾けると、挿入しやすくなります。
- スライドマウントは、必ずマウント規制壁の間にセットしてください。スライドマウントがマウント規制壁に乗り上げた状態で読み取りを行うと、ピントがぼけることがあります。またマウント押さえ部が破損する恐れもあります。
- スライドマウントをフィルムホルダに入れたまま長期間放置しないでください。マウント押さえ部が変形する恐れがあります。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹き飛ばしてください。ゴミなどが付着したままで読み取ると、画質の劣化やフィルム面の損傷の原因となる場合があります。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

スライドマウントをスライドさせ、マウント押さえ部から外して取り出します。

注意事項

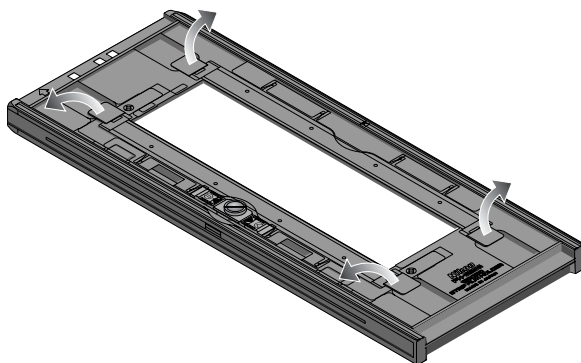
スライドマウントはマウント押さえ部から外れた状態で取り出します。無理な力でスライドマウントを持ち上げないでください。マウント押さえ部が破損する恐れがあります。

ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S を使用する

120/220 ブローニストリップフィルムまたは 59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをスキャンする場合に使用します。

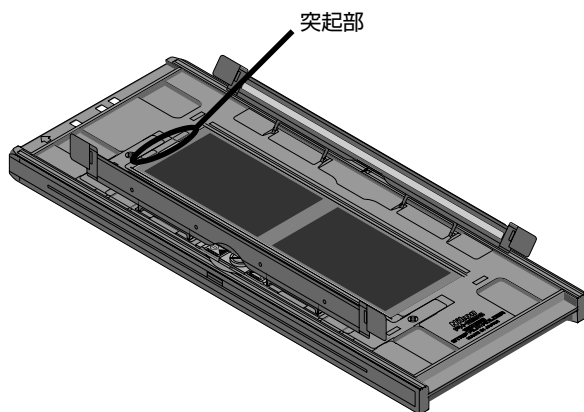
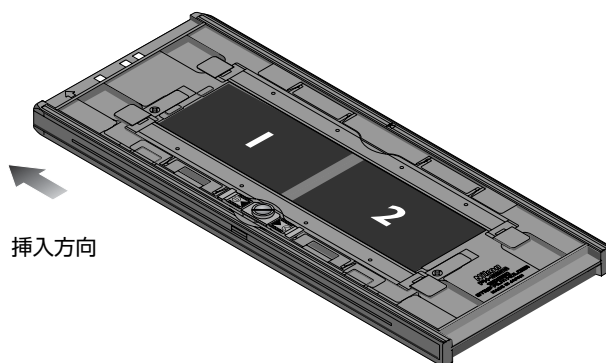
セットできるコマ数は次の通りです。

6 × 4.5 サイズ：　4 コマまで
6 × 6 サイズ：　3 コマまで
6 × 7 ～ 9 サイズ：2 コマまで

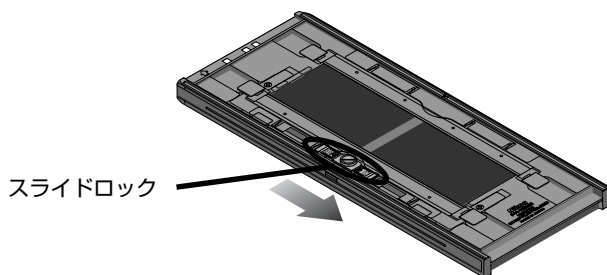
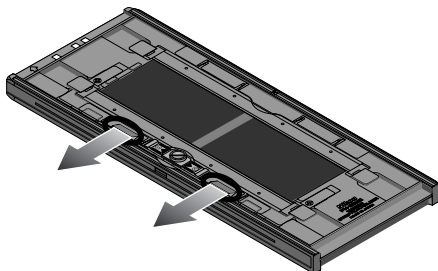
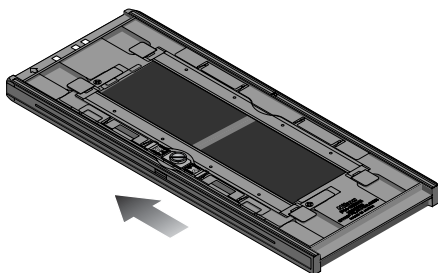
凹部に指を入れてフックを外し、2 つの上フタを開きます。

注意事項

- ネガフィルムとポジフィルムを混在させてスキャンすることはできません。
- フィルムの端は必ずフィルムホルダの突起部に当ててセットしてください。適正な色再現が得られないことがあります。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹きとばしてください。ゴミなどが付着したままの状態でスキャンすると、画質の劣化や、フィルムに傷をつける原因となる場合があります。

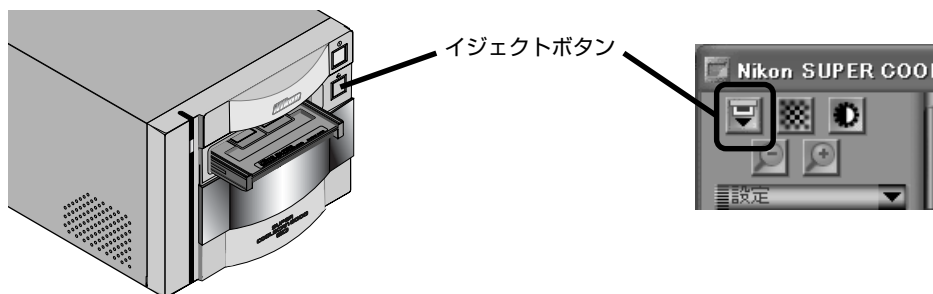
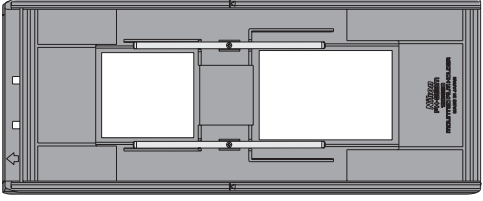
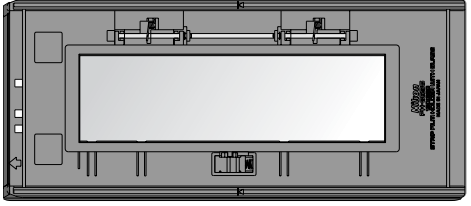
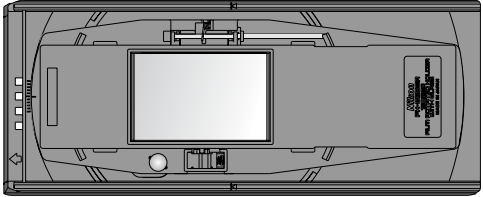
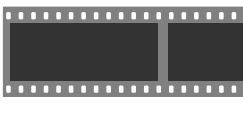
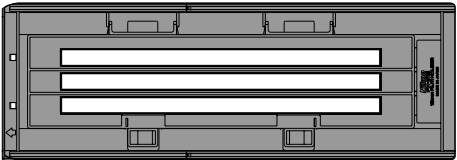
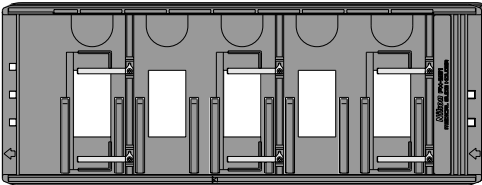
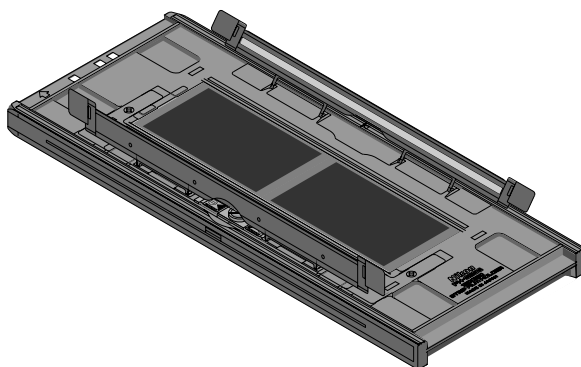
フィルム光沢面を上（乳剤面を下）にしてフィルムをのせ、フィルムの端を突起部に突き当てます。

上ブタを「カチッ」と音がするまで閉めます。

Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

カールしたフィルム

フィルムにカールがある場合、次のようにしてフィルムのカールを除去できます。

1. スライドロックを矢印の方向へスライドさせて、ロックを解除します。

2. 可動ベースの指掛け部に指を当て軽くスライドさせ、フィルムのカールを取ります。この時、強い力でスライドさせないでください。フィルムがずれることがあります（上ブタを少し押してからスライドさせるとずれにくくなります）。

3. その状態のまま、スライドロックを矢印の方向へスライドさせて、ロックします。

注意事項

- カールが 10mm を超えるフィルムは使用できません。10mm を超えるカールの場合は、オプション（別売）のガラス付きブローニフィルムホルダ FH-869G またはガラス付き回転式ブローニフィルムホルダ FH-869GR を使用してください。
- フィルムをフィルムホルダに入れたまま、長期間放置しないでください。フィルムに押さえ跡が残ることがあります。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

上ブタを開け、フィルムの後端を起こしてフィルムを取り出します。

オプション（別売）のホルダについて

本スキャナで使用できるオプション（別売）のホルダは、次の５種類です。スキャンするフィルムにあったホルダを使用してください。

<table>
<tr><th>フィルムの種類</th><th>対応するホルダ</th></tr>
<tr><td>
マウントされた
ブローニフィルム</td><td>
ブローニマウントホルダ FH-869M
6 × 4.5、6 × 6、6 × 7 または 6 × 9 サイズのスライドマウントを 1 枚ずつセットできます。</td></tr>
<tr><td>
120/220 ストリップフィルム</td><td>
ガラス付きブローニフィルムホルダ FH-869G
120/220 ストリップフィルムまたは 59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをセットできます。</td></tr>
<tr><td>
120/220 ストリップフィルム

パノラマフィルム</td><td>
ガラス付き回転式ブローニフィルムホルダ FH-869GR
120/220ストリップフィルム、59mm×82mmサイズの電子顕微鏡フィルムまたは24×58、24×65のパノラマフィルムをセットできます。
角度調整機構により撮影時の傾きを±5゜まで補正してスキャンできます。</td></tr>
</table>

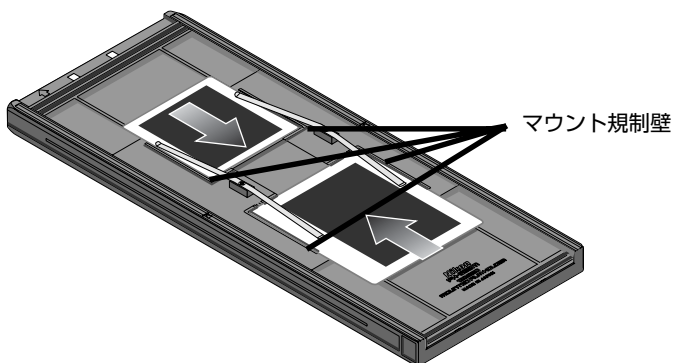
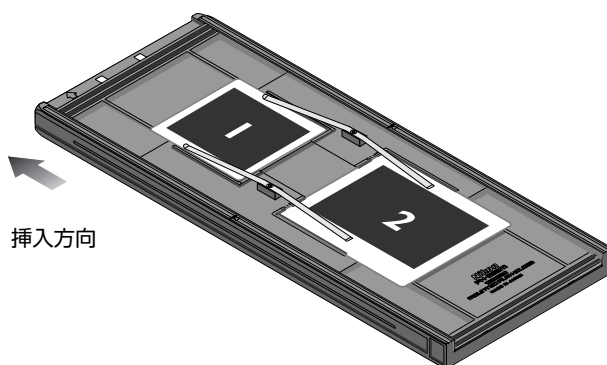
フィルムの種類	対応するホルダ
20コマまでの 16mmストリップフィルム （胃カメラ用）	16mmフィルムホルダ FH-816 20コマまでのストリップフィルムを同時に3枚までセットできます。
26 × 76mmの病理組織標本 のプレパラート	メディカルホルダ FH-8G1 26×76mmサイズの病理組織標本のプレパラートを同時に3枚までセットできます。

ブローニマウントホルダ FH-869M を使用する

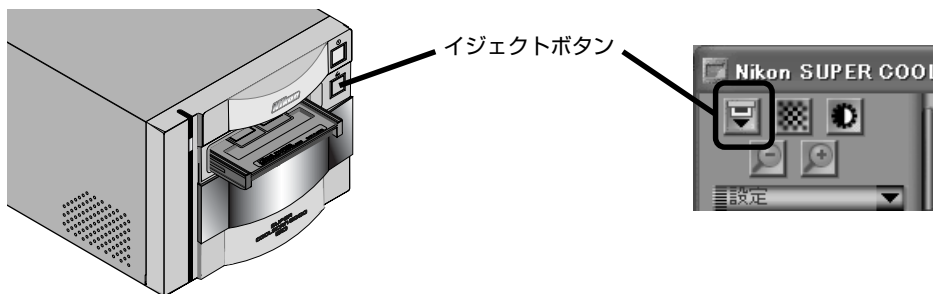
マウントされたブローニフィルムをスキャンするときに使用します。

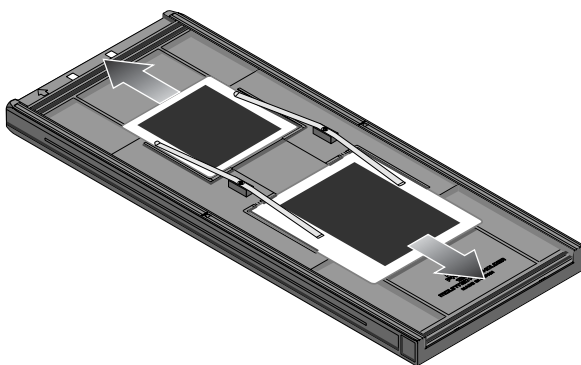
6×4.5または6×6サイズのスライドマウントを1枚、6×7または6×9サイズのスライドマウントを1枚セットすることができます。

6×4.5または6×6サイズのスライドマウントは本体挿入側にセットし、6×7または6×9サイズのスライドマウントは後方にセットしてください。

フィルム光沢面を上（乳剤面を下）にしてスライドマウントをセットします。スライドマウントをフィルムホルダに開いているアパーチャと同じ向きにし、マウント規制壁の間に差し込みます。軽く突き当たるまで差し込んでください。

Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

注意事項

- ネガフィルムとポジフィルムを混在させてスキャンすることはできません。
- 使用できるスライドマウントは厚さ 1.0mm ～ 3.2mm です。それ以外のスライドマウントは使用できません。
- 無理な力でスライドマウントを挿入しないでください。マウント押さえバネを破損する恐れがあります。スライドマウントを入れにくいときは、マウントを少し斜めに傾けると挿入しやすくなります。
- スライドマウントは、必ずマウント規制壁の間にセットしてください。マウント規制壁にスライドマウントが乗り上げた状態で読み取りを行うと、ピントがぼけることがあります。またマウント押さえ部が破損する恐れもあります。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹き飛ばしてください。ゴミなどが付着したままで読み取ると、画質の劣化やフィルム面の損傷の原因となる場合があります。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

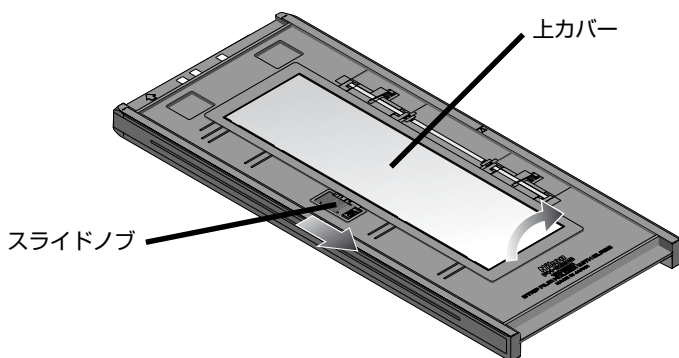
スライドマウントをスライドさせ、マウント押さえバネから外して取り出します。

注意事項

- スライドマウントをフィルムホルダに入れたまま、長期間放置しないでください。マウント押さえ部が変形する恐れがあります。
- スライドマウントの取り出し時、無理にマウントを持ち上げないでください。マウント押さえバネが破損する恐れがあります。必ずマウント押さえ部からスライドマウントが外れた状態で、スライドマウントを取り出してください。

ガラス付きブローニフィルムホルダ FH-869G を使用する

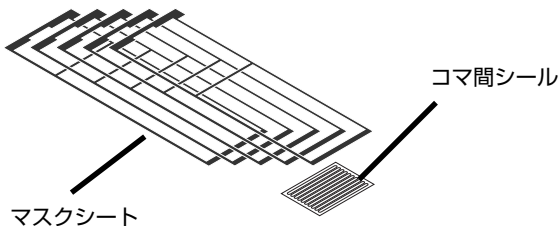
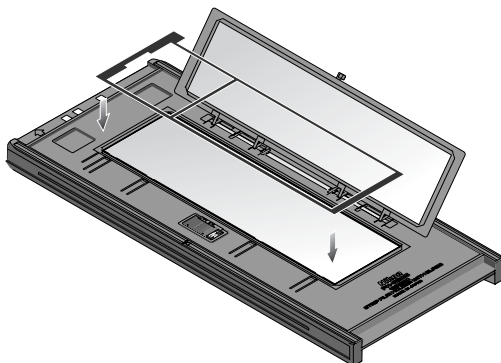
120/220 ストリップフィルムまたは 59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをスキャンするときに使用します。

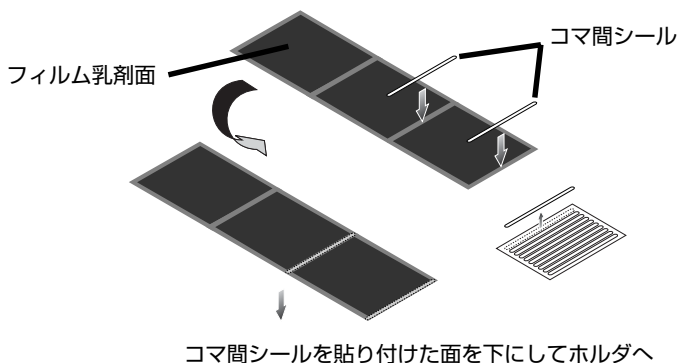
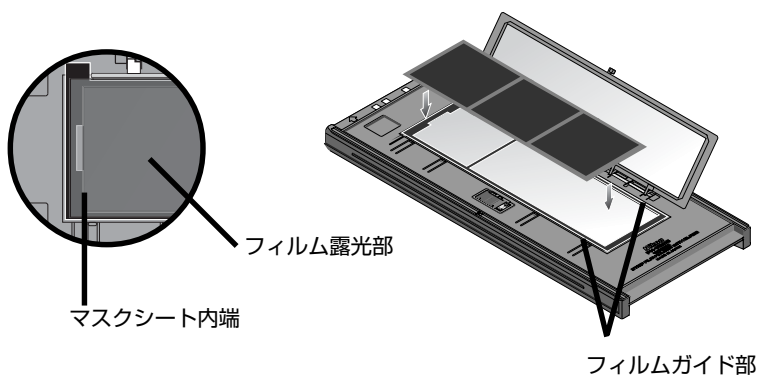
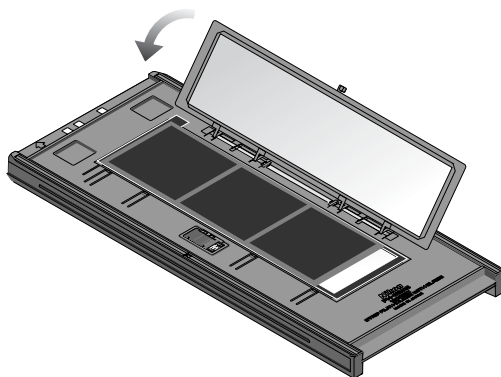
セットできるコマ数は、6 × 4.5 サイズが 1 〜 4 コマ、6 × 6 サイズが 1 〜 3 コマ、6 × 7 〜 9 サイズが 1 〜 2 コマです。

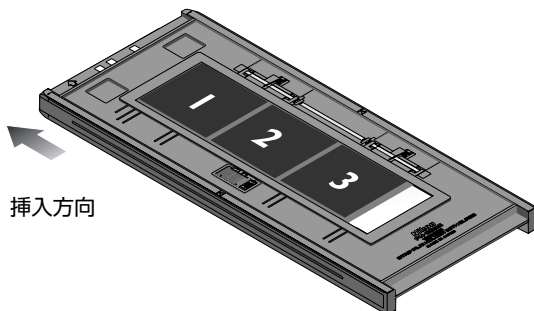
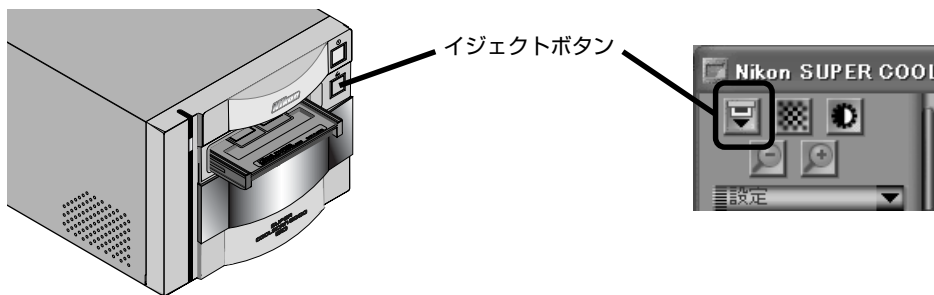
スライドノブを矢印の方向に引き、上カバーを開けます。

注意事項

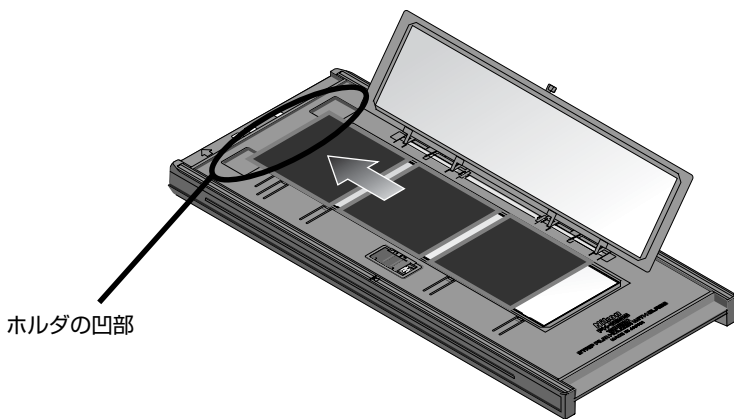
- ネガフィルムとポジフィルムを混在させてスキャンすることはできません。
- フィルムの端は、必ずフィルムホルダのライン目印に合わせてセットしてください。適正な色再現が得られないことがあります。
- 1 コマずつカットされた 120/220 ストリップフィルムは、何枚か並べてご使用になれますが、ネガフィルムとポジフィルムを混在させて使用することはできません。
- 上カバー側のフィルムベースに当たるガラス面には、光の干渉による干渉縞を防止するアンチニュートン処理が施されています。指紋などが着かないように注意してください。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹き飛ばしてください。ゴミなどが付着したままで読み取ると、画質の劣化やフィルム面の損傷の原因となる場合があります。

コマ間シールの使用方法

折れ曲がったフィルムや局部的に変形したフィルムを使用するとニュートンリングが発生することがあります。この場合はマスクシートをフィルムの下にセットし、2コマ目以降のフィルムのコマ間の乳剤面側（マスクシート側）にコマ間シールを貼り付けてご使用ください。コマ間シールは繰り返しご使用になれます。

1 コマの大きさに合ったマスクシートをホルダにセットします。

2 読みとるフィルム2コマ目以降のコマ間の乳剤面側にコマ間シールを貼り付けます。

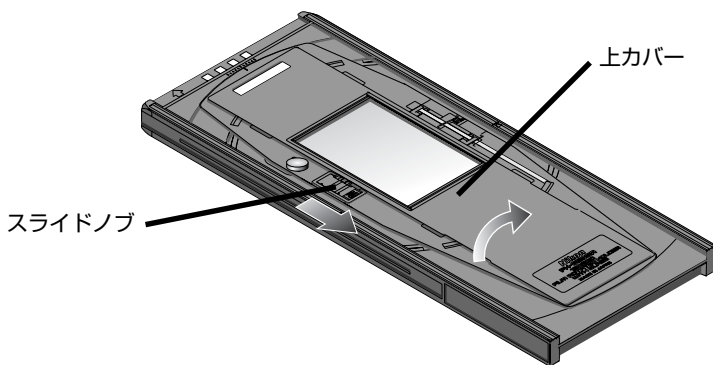
コマ間シールを貼り付けた面を下にしてホルダへ

3 フィルム光沢面を上（コマ間シールを張り付けた乳剤面を下）にして、フィルムガイド部の間にフィルムをのせ、画像の端（露光部端）を図のようにマスクシートの内端に合わせます。

4 上カバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。

5 矢印の方向にホルダをスキャナに挿入します。

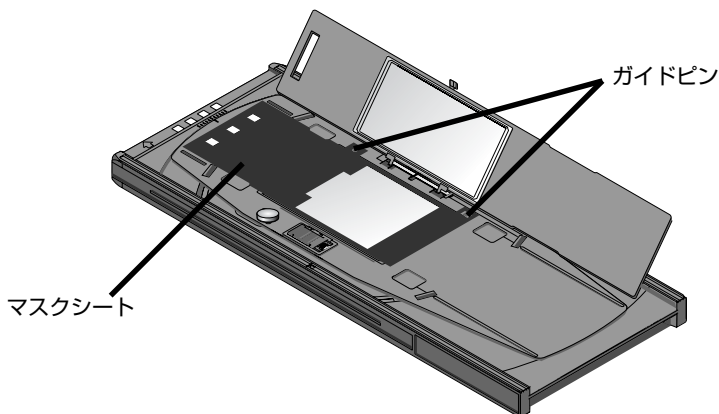
Nikon Scan スキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

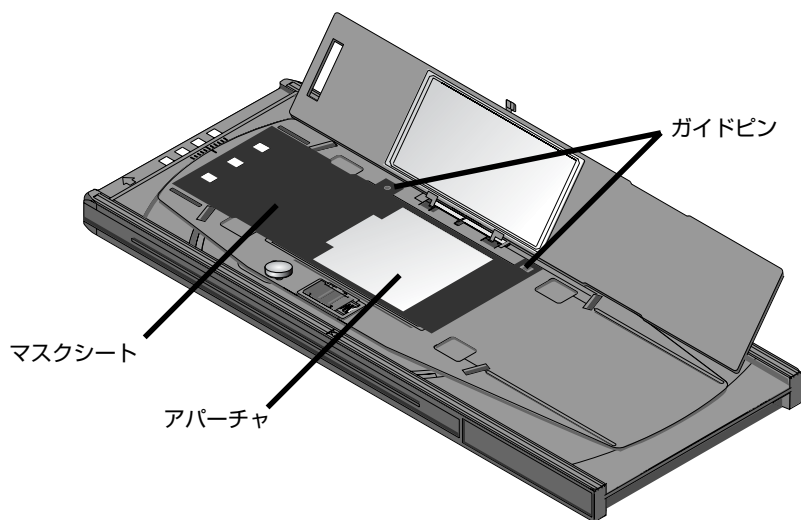
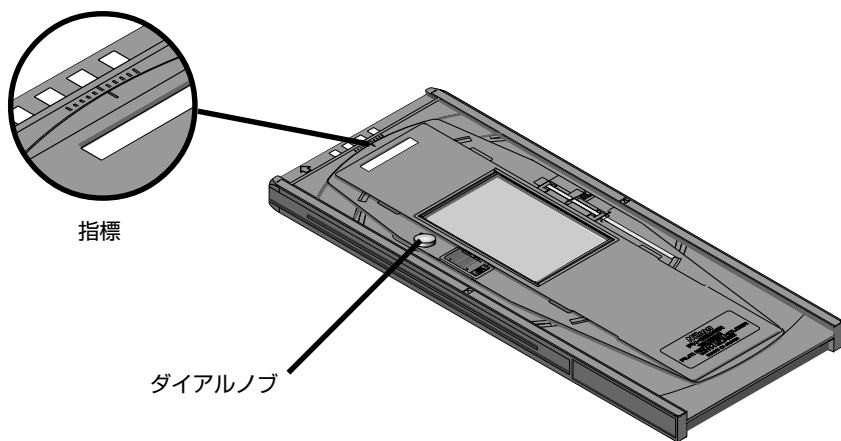
上カバーを開け、フィルムホルダを少し傾けストリップフィルムを下ホルダの凹み部までずらし、フィルムをつまんで取り出してください。

ガラス付き回転式ブローニフィルムホルダ FH-869GR を使用する

120/220 ストリップフィルム、59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルム、または画面サイズが 24 × 58 または 24 × 65 のパノラマフィルムをスキャンするときに使用します。

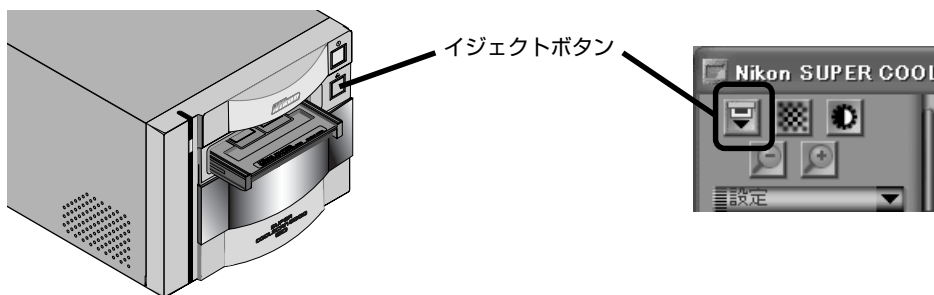
角度調整機構により、撮影時の傾きを±５゜まで補正してスキャンすることができます。複数コマのストリップフィルムの場合でも１コマサイズに切らずにご使用になれます。

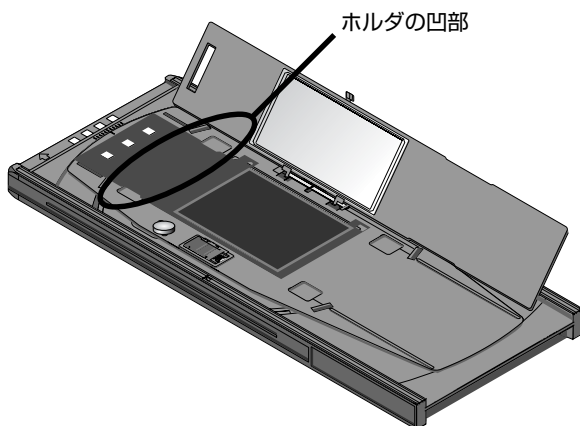
スライドノブを矢印の方向に引き、上カバーを開けます。

フィルムサイズに合ったマスクシートをセットします。このとき、フィルムホルダのガイドレール、ガイドピンにマスクシートを合わせてセットしてください。フィルム光沢面を上（乳剤面を下）にしてガイドレール間にフィルムをのせ、マスクシートのアパーチャにコマを合わせます。

上ブタを「カチッ」と音がするまで閉めます。

ガラス付き回転式ブローニフィルムホルダにフィルムをセットする場合は、必ずフィルムにあったマスクシートを装着し、フィルムをマスクシートのアパーチャにあわせてください。

59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムは 6 × 9 サイズのマスクシートをご使用ください。

フィルム画像の傾きを調整します。ダイアルノブを反時計方向に回してネジを緩めて角度を合わせます。指標の目盛りは1°刻みです。角度調整が終わったら、ダイアルノブを時計方向に回して固定します。

注意事項

- 必ず各フィルムサイズに合ったマスクシートを使用してください。適正な色再現が得られないことがあります。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹き飛ばしてください。ゴミなどが付着したままで読み取ると、画質の劣化やフィルム面の損傷の原因となる場合があります。

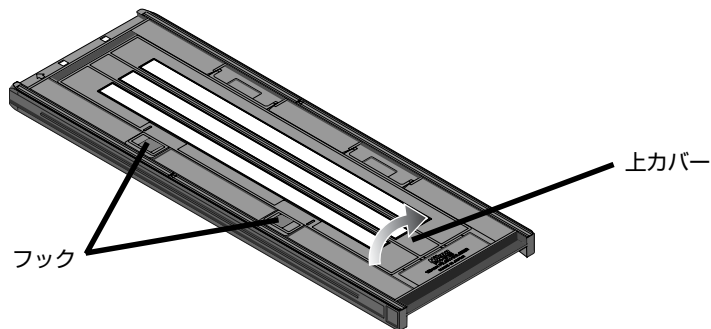
スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

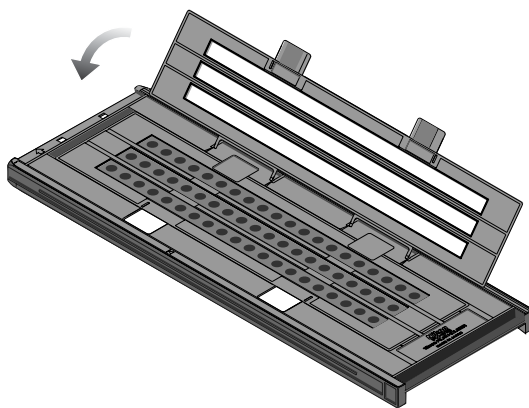
フィルムをセットする手順と同様に上カバーを開き、ストリップフィルムを下ホルダの凹部でつまんで取り出します。

注意事項

上カバー側のフィルムベースに当たるガラス面には、光の干渉による干渉縞を防止するアンチニュートン処理が施されています。指紋などが付着しないよう注意してください。

16mm フィルムホルダ FH-816 を使用する

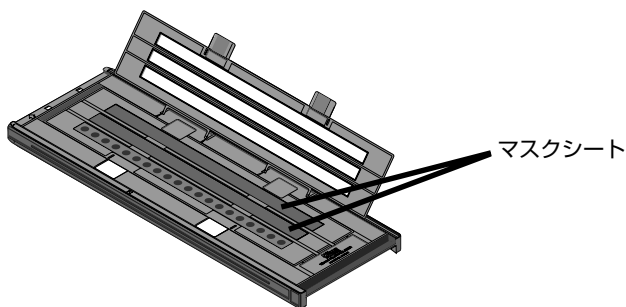
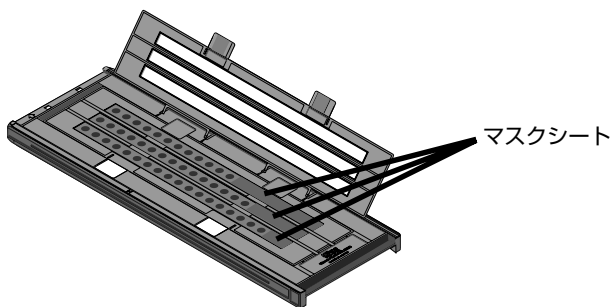
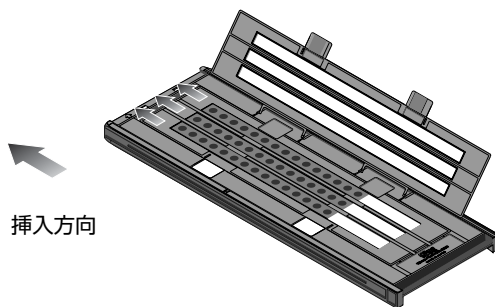
1～20コマの16mmストリップフィルムをスキャンするときに使用します。最大20コマのストリップフィルムを３枚までセットできます。

フィルムホルダの裏側の穴から、２箇所の上カバーフック部を指で押し上げるようにして外し、上カバーを開きます。

フィルム光沢面を上（乳剤面を下）にしてフィルムをのせ、両端のコマが下ホルダのアパーチャに収まるように合わせます。

上ブタを「カチッ」と音がするまで閉めます。

注意事項

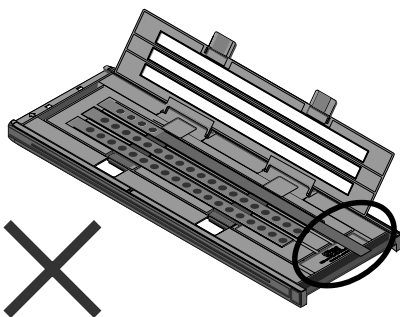
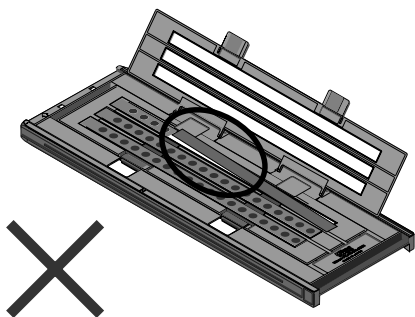
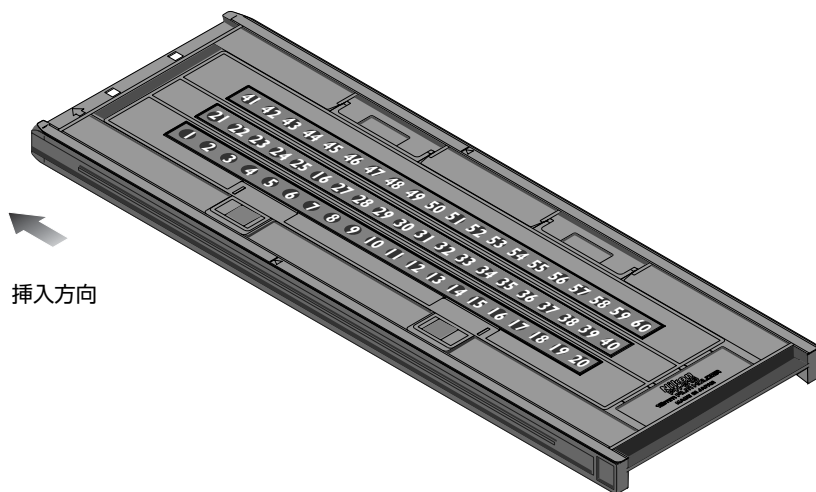
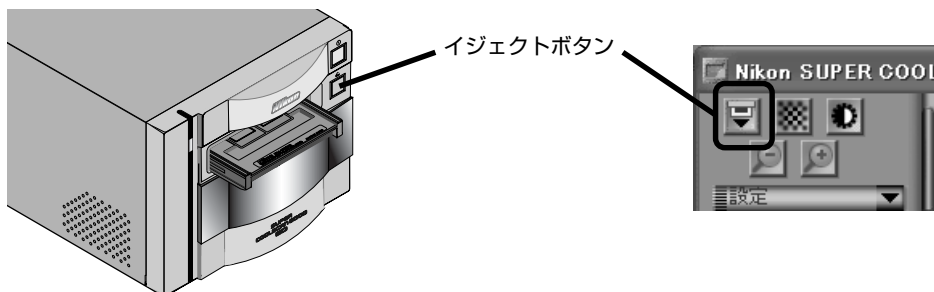
- ネガフィルムとポジフィルムを混在させてスキャンすることはできません。
- FH-816 では、Digital ROC と Digital GEM 機能はご使用になれません。
- フィルムやフィルムホルダのゴミなどは、フィルム面を傷つけないように注意してブロア等で吹きとばしてください。ゴミなどが付着したままの状態でスキャンすると、画質の劣化やフィルムに傷をつける原因となる場合があります。

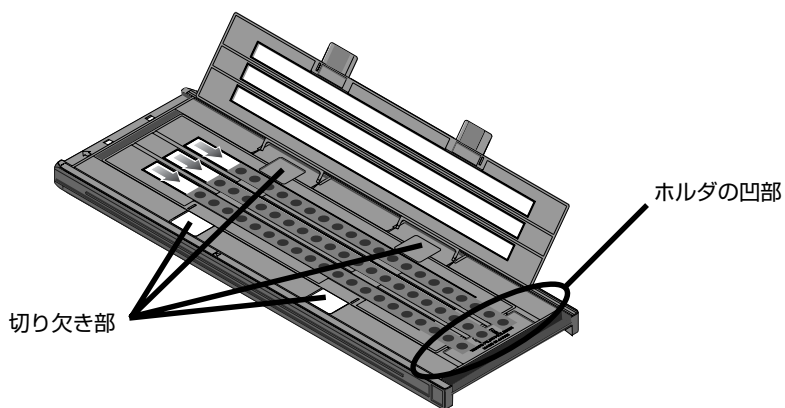
マスクシートの使い方

フィルムを1枚または2枚のみセットする場合は、必ずセットしない列にマスクシートを装着してください。

長さの異なる3枚のフィルムをセットする場合など、アパーチャが空いている場合は、マスクシートを切って、空いているアパーチャをマスクしてください。マスクシートをご使用にならずに、空いているアパーチャがある場合は、適正な色再現が得られないことがあります。

20コマに満たない同じ長さのフィルムをセットする場合は、本体への挿入方向側につめてフィルムをセットしてください。

空いているアパーチャが本体挿入側にあると、適正な色再現が得られないことがあります。

注意事項

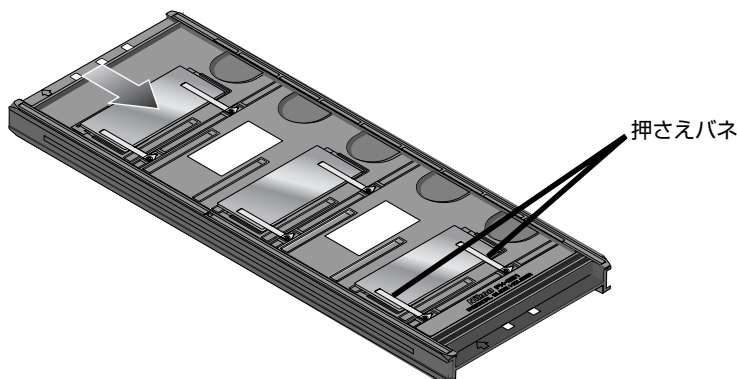
フィルムやマスクシート（P.108）をホルダにセットするときは、ホルダの溝部からはみ出さないように確実に装着してください。

フィルムやマスクシートが溝部からはみ出し、溝部のリブに乗り上げた状態でホルダをスキャナに挿入すると、フィルムホルダが本体内部で引っかかり、排出できなくなる恐れがあります。

Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてフィルムホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

フィルムの取り出し

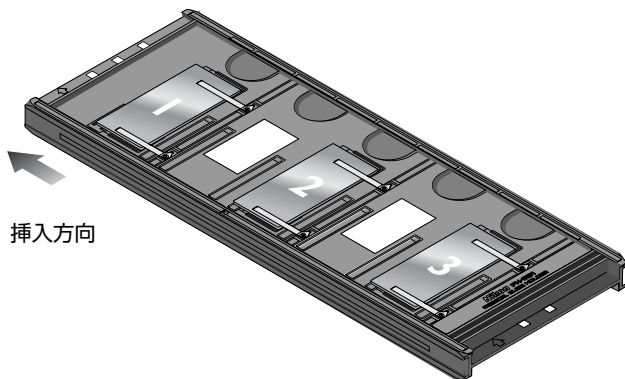
フィルムをセットする手順と同様に上カバーを開け、下ホルダの切り欠き部をつまんで取り出すか、フィルムホルダを少し傾けてストリップフィルムを下ホルダの凹部までずらしてフィルムをつまんで取り出します。

メディカルホルダ FH-8G1 を使用する

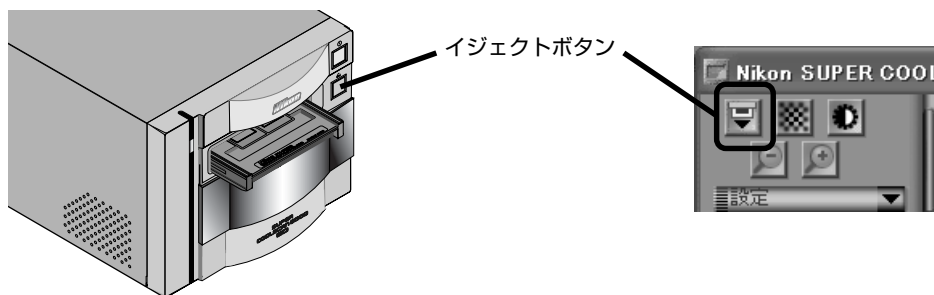
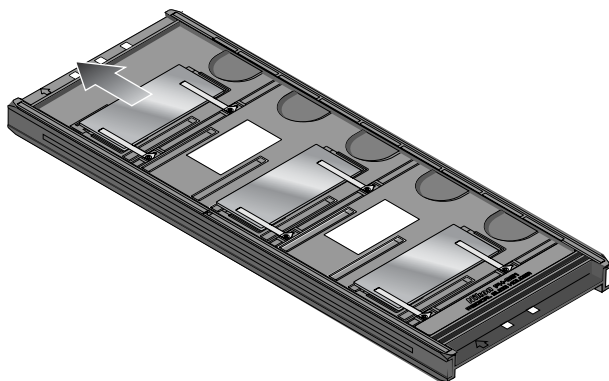
26 × 76mm サイズの病理組織標本のプレパラートをスキャンするときに使用します。

プレパラートは一度に3枚までセットできます。使用できるプレパラートはスライドガラスとカバーガラスが接着封止された厚さ 2mm 以下のプレパラートで、
スライドガラス部：幅 26 ×長さ 76mm ×厚さ 0.8 〜 1.5mm
カバーガラス部：幅 25mm 以下×長さ 60mm 以下×厚さ 0.18mm 以下
のものです。それ以外のプレパラートは使用できません。

カバーガラス面を上にしてプレパラート規制壁の間にプレパラートをのせ、押さえバネに差し込みます。軽く突き当たるまで差し込んでください。

注意事項

- プレパラートの装着時、無理にプレパラートを挿入しないでください。押さえバネを破損する恐れがあります。挿入しづらいときは、プレパラートを少し斜めに傾けると挿入しやすくなります。
- プレパラートは、必ずプレパラート規制壁の間にセットしてください。プレパラート規制壁にプレパラートが乗り上げた状態で読み取りを行うと、ピントがぼけることがあります。また、プレパラート押さえ部が破損する恐れもあります。
- プレパラートをメディカルホルダに入れたまま、長期間放置しないでください。押さえバネが変形する恐れがあります。
- プレパラートやメディカルホルダのゴミなどは、プレパラート面を傷つけないように注意してブロア等で吹き飛ばしてください。ゴミなどが付着したままで読みとると、画質の劣化やプレパラート面を損傷する原因となる場合があります。
- Digital ICE[3]機能で読み取りを行うと、画像が乱れることがありますので使用しないでください。FH-8G1 では、Digital ROC と Digital GEM 機能はご使用になれません。
- メディカルホルダ FH-8G1 の裏面（プレパラート搭載面の裏面）は 35mm スライドマウントホルダ FH-835M と同じで、35mm スライドマウントホルダとしても使用できますが、プレパラートと 35mm スライドマウントを混在させてスキャンすることはできません。

Nikon Scanスキャンウィンドウ上のサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

スキャンが完了したら、スキャナ本体のイジェクトボタンを押すか、Nikon Scanのスキャンウィンドウ上のイジェクトボタンをクリックしてホルダを排出し、スキャナのホルダスロットカバーを閉じてください。

プレパラートの取り出し

プレパラートをスライドさせ、押さえバネから外して取り出します。

注意事項

プレパラートを取り出すとき、無理にプレパラートを持ち上げないでください。押さえバネが破損する恐れがあります。必ず押さえバネからプレパラートが外れた状態で、プレパラートを取り出してください。

Nikon Scanについて

スキャナを操作するためのスキャナドライバソフトウェアNikon Scanについて簡単に説明します。詳しくはNikon Scanソフトウェアマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。

ソフトウェアマニュアルの準備

ドライバソフトウェア Nikon Scan 3 のソフトウェアマニュアルは、Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアルCD-ROM に収録されています。ソフトウェアマニュアルをコンピュータで開くためには Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。

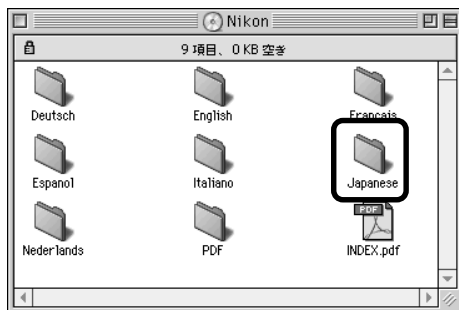
Adobe Acrobat Reader 4.0 のインストール手順は、以下の通りです。

1 Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアルCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 Windowsでは、[Nikon] と表示されたCD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックします。

Macintosh では、CD-ROM を挿入すると［Nikon］ウィンドウが開きます。

3 Adobe Acrobat Reader 4.0 の言語を選択します。日本語版をインストールする場合は［Japanese］フォルダを開きます。

Windows

Macintosh

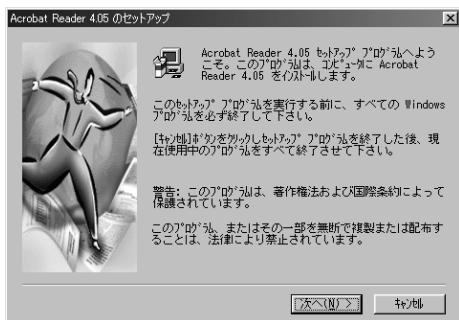
4 ［Acrd4jpn］アイコン（Windows）または［Reader インストーラ］アイコン（Macintosh）をダブルクリックしてインストーラを起動します。

Windows

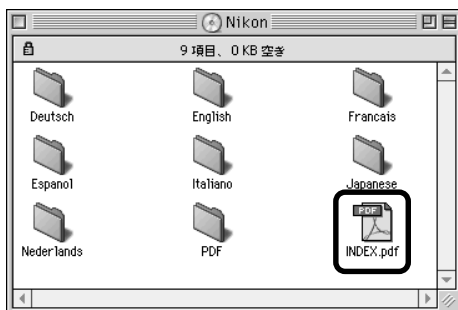
Macintosh

重要

スキャナの機能を最大限に使用するため、ソフトウェアマニュアルをよくお読みください。

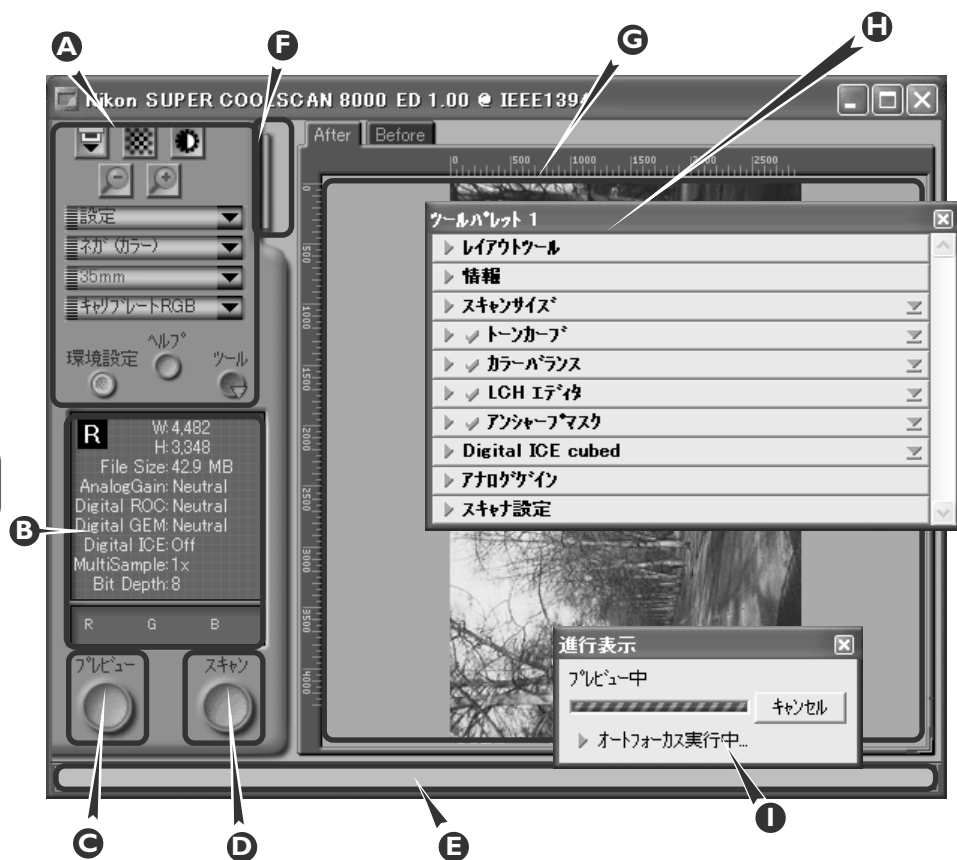
5 その後は、画面の指示にそってインストールを進めてください。

Windows　　　　Macintosh

6 Adobe Acrobat Reader のインストールが完了したら、Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル CD-ROM 内の［INDEX］ファイルを開きます。

Adobe Acrobat Reader が起動し、ソフトウェアマニュアルの言語選択画面が表示されますので、［日本語］をクリックします。

Windows　　　　Macintosh

注意

Nikon Scan 3 をインストールするときは、Adobe Acrobat Reader やウィルスチェック用のソフトウェアを含め、全てのアプリケーションを終了してください。他のアプリケーションが起動していると、正しくインストールされない場合があります。

スキャンウィンドウ各部の名称と機能

Ⓐ コントロールエリア

プレビューやスキャンでよく使われる機能を集めてあります。

Ⓑ 情報表示エリア

画像スキャンの情報を表示します。

Ⓒ プレビューボタン

プレビューの読み込みを実行します。プレビュー画像でスキャンする画像の確認ができます。

Ⓓ スキャンボタン

選択された画像のスキャンを実行し、メインアプリケーションに送ります。

Ⓔ ヘルプテキスト

ポインタが示す場所の説明を表示します。

Ⓕ サムネイルタブ

サムネイル一覧から画像を選択するときにクリックします。

Ⓖ プレビューエリア

プレビュー画像が表示されます。

Ⓗ ツールパレット

主に次の操作ができます。

- 画像の向きやスキャン範囲の選択
- スキャンでメインアプリケーションに読み込まれる画像の物理的な大きさやファイルサイズの指定
- スキャン時に画像に適用される色、コントラスト、シャープネスの補正
- フィルム上の傷、ゴミの軽減、退色などの補正
- スキャナの露出や、使用するスキャナに特有な機能のコントロール

Ⓘ 進行表示

進行中の処理を表示するほか、実行前や完了後の処理のリストを開きます。

コントロールエリア

イジェクトボタン

スキャナから各種ホルダを取り出します。

オートフォーカスボタン

フォーカスツールで指定された点にピントを合わせて補正します。Ctrl キー（Windows）や、option キー（Macintosh）を押しながらクリックするとピントを合わせる点を選べます。

自動露出ボタン

スキャナが画像の情報を集め、フィルムをスキャンするのに適正な露出になるように補正します。

ズームボタン

ボタンをクリックするとプレビュー画像で選択した範囲を拡大します。ボタンをクリックすると拡大前のプレビュー画像に戻ります。拡大表示後に［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画像を表示の大きさに合わせて再作成します。

設定メニュー

スキャナの設定をリセットしたり、設定を書き出して保存したり、保存した設定を読み込むことができます。

フィルムタイプメニュー

セットするフィルムのフィルムタイプを選択します。ポジフィルム（リバーサルフィルム／モノクロポジを含む）の場合は［ポジ］を、ネガフィルムの場合は［ネガ］を選択します。

その他、モノクロネガフィルムには［モノクロ］を、コダクロームポジフィルムには［コダクローム］を選択します。使用するフィルムがアグファスカーラの場合は［ポジ］を選択します。

メディアタイプメニュー

ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S または、FH-869G（別売）を使用する場合にのみ、フィルムの種類（6×4.5、6×6、6×7、6×8など）を選択します。

スキャンモードメニュー

画像を編集するアプリケーションや画像の使用目的に応じてカラーモデルを選択します。

ウインドウボタン

環境設定： ［環境設定］ダイアログボックスを開きます。

ヘルプ： Nikon Scan ヘルプファイルを開きます。

ツール： ツールパレットを開いたり、進行表示を表示するためのメニュー表示ができます。

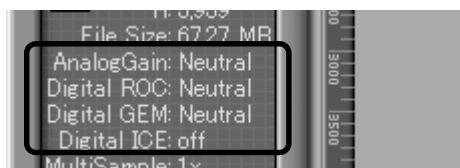
インフォメーションパネル

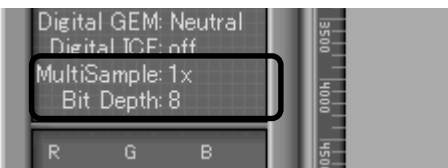
画像方向

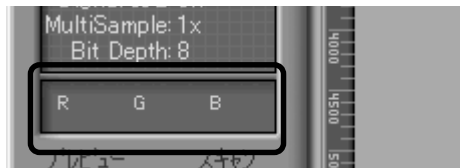
画像の回転や上下左右の反転などの操作をした場合に、回転や反転した方向を示します。

画像 / ファイルサイズ

選択された画像範囲（クロッピング範囲）の幅(W)や高さ(H)をピクセル単位で表示したり、読み込まれる画像のファイルサイズ(File Size)を表示します。

画像補正処理

スキャン時に実行される画像補正処理を表示します。画像補正を行うとスキャンに要する時間が長くなることがあります。

スキャナ設定

画像で使用できる色数の目安となるビット数（Bit Depth）のほか、マルチサンプルスキャニング（Multi Sample）の設定の有無を表示します。

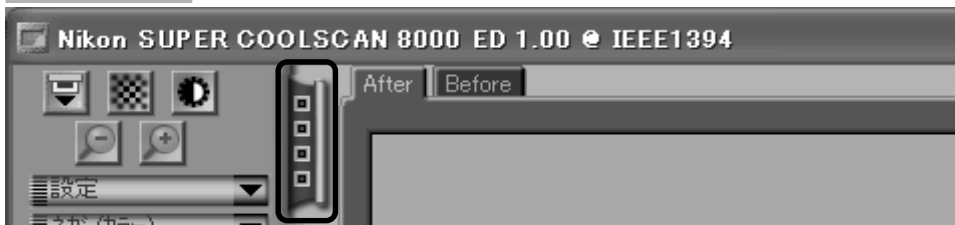
カラー値

マウスポインタがプレビュー画像上で示す点のカラー値を表示します。それぞれの色について2つのカラー値が同時に表示され、上が［Before］タブのプレビューに表示されるもとの画像のもので、下が［After］タブのプレビューに表示される変更後のものです。色編集を行わない場合は、カラー値は１つしか表示されません。

プレビューボタン

画像のプレビューを読み込みます（サムネイルエリアで複数の画像を選択している場合は選択した全ての画像のプレビューを読み込みます）。フィルムタイプやアナログゲインの設定をプレビュー画像に反映するには再度プレビューを実行します。

スキャンボタン

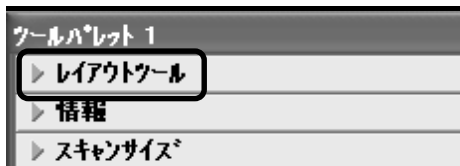
スキャンを実行し、メインアプリケーションで読み込んだ画像を開きます（サムネイルエリアで複数の画像が選択されている場合は、すべての画像についてスキャンを実行し、各画像は独立したウィンドウで開かれます）。

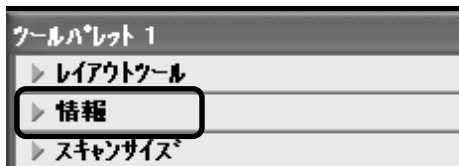
サムネイルタブ

タブをクリックすると、スキャンする画像を選択するためのサムネイルエリアを開きます。スキャンする画像を選択するにはそれぞれのコマ番号をクリックします。複数の画像を選択する場合はＣｔｒｌキー（Windows）またはコマンド（⌘）キー（Macintosh）を押しながら順にクリックします。また、Shift キーを押しながら２つの画像をクリックするとその間の全ての画像も選択されます。サムネイルを作成するにはサムネイル作成ボタン（ ）をクリックします。

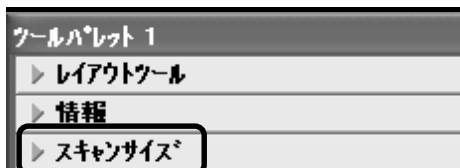
処理後 / 原画タブ（After/Before）

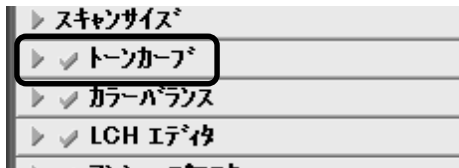
これらのタブを切り替えて、色編集の効果を確認できます。[Before] タブをクリックすると色編集を適用する前のプレビュー画像が表示されます。[After] タブをクリックするとスキャンされる画像と同じ色編集を適用したプレビュー画面が表示されます。

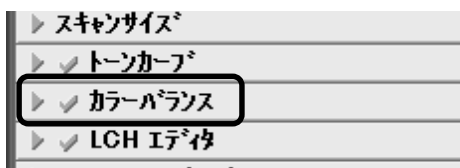
ツールパレット

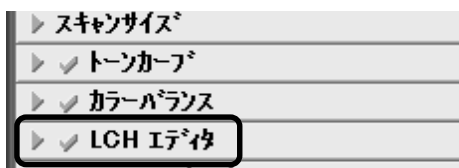
レイアウトツール

画像をスキャンする範囲（クロッピング範囲）を指定したり、画像の回転、上下左右の反転などに使用します。また、スキャナが画像にピントを合わせる範囲を指定したり、Nikon Scanで開いた画像をスクロールさせるツールもあります。

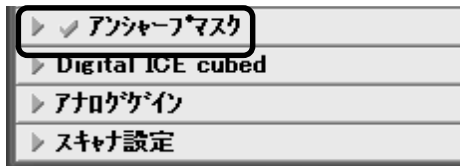
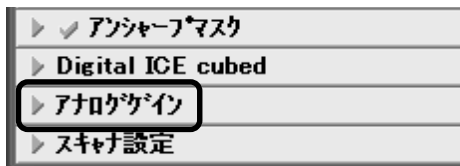
情報

画像の選択範囲の高さと幅や選択範囲左上の座標を表示します。このほかマウスポインタがプレビュー画像上で示す点の色編集を、適用前と適用後のカラー値を表示します。

スキャンサイズ

画像のサイズや解像度を設定できます。プリンタやモニタなどへの出力に合わせての調整に使用します。

トーンカーブ

色のバランスやコントラストを細かく調整できます。また特定の階調域（ハイライト、中間調、シャドー）に対するコントラスト調整や色補正もできます。

カラーバランス

画像全体に適用される明るさ、コントラスト、各色（赤、緑、青）のバランスを調整します。

LCH エディタ

特定の階調域（ハイライト、中間調、シャドー）に対して画像の明度をカーブを使用して設定します。明るさのほかにコントラストの調整が可能です。また柔軟な画像の色補正に対応する色彩度、色変換の調整もできます。

アンシャープマスク

輪郭を際立たせることによって画像の鮮鋭度（シャープネス）を高めます。画像全体、または選択された範囲内で、設定された色チャンネルに対して適用されます。

Digital ICE cubed（Digital ICE³）

3 種類の画像修正機能を設定します。

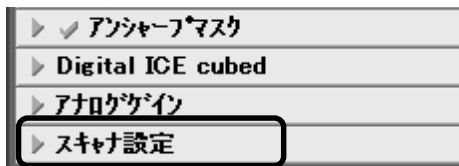
Digital ICE:　フィルム上の傷やゴミの影響を軽減します。

Digital ROC:　退色した画像を本来の色に近づけます。

Digital GEM:　画像の粒状性ノイズを軽減します。

アナログゲイン

スキャン時の露光量を調整します。

スキャナ設定

使用するスキャナのさまざまな設定をします。設定内容はスキャナによって異なります。

スキャン進行表示

画像のプレビューやスキャンが進行中であることを表示します。実行前の処理リストが［状態］タブに表示され、アイコンをクリックすることによりキャンセルすることができます。また、完了したスキャン処理のリストが［ログ］タブに表示されます。

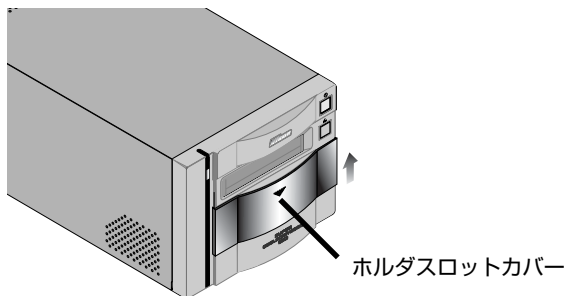
画像のプレビューやスキャンの進行中は上のように表示されます。

付録

本製品のメンテナンスや、スキャナが正常に動作しない場合の回避（トラブルシューティング）や、本製品の仕様などを記載しています。

本体のメンテナンス

スキャナの保管

スキャナを使用しないときは、必ずフィルムホルダを取り外して、電源スイッチを切り、ホルダスロットカバーを閉じた状態で保管してください。

スキャナを長期間使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の条件で保管してください。

温度：－20℃～＋60℃

湿度：20～90％ （結露のないこと）

定期点検サービスについて

- スキャナは精密機器ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。
- 特に業務用でご使用になる場合は、早めに点検整備を受けてください。
- 点検整備を受ける際、より安心してご愛用いただけるよう、フィルムホルダなどもあわせて依頼されることをおすすめします。

注意事項

スキャナを使用しないときは、本製品へのゴミ等の進入を防ぐため、ホルダを外してホルダスロットカバーを閉めてください。

スキャナの清掃

スキャナを清掃するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スキャナはアルコールなどの揮発性薬品を使わずに、柔らかい布などで、から拭きをしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた水で、柔らかい布などを湿らせて拭き取り、から拭きしてください。

スキャナの輸送

スキャナを輸送するときは、必ず以下の手順で行ってください。

1 スキャナの電源をオンにします。ホルダを挿入している場合は、ホルダを排出します。

2 ホルダスロットカバーを閉じます。

3 表示 LED が点滅から点灯に変わるまで待ちます。

4 電源を切ります。

5 電源ケーブルとインターフェースケーブルを外します。

6 ご購入時の梱包材で梱包します。

注意事項

- 本製品は、日本国内でご使用になることを前提に製造・販売されております。国外ではご使用になれません。本製品を国外でご使用した結果またはその影響につきましては、一切の責任を負いかねます。
- ご購入時の梱包材がない場合は、衝撃に十分耐えられるように梱包してください。

各種ホルダのメンテナンス

各種ホルダの保管

各種ホルダを使用しない場合は、スキャナから取り外した状態で保管してください。

各種ホルダを長期間使用しない場合は以下の条件で保管してください。

温度：－20℃～＋60℃

湿度：20～90％　（結露のないこと）

各種ホルダの清掃

各種ホルダはアルコールなどの揮発性薬品を使わずに、柔らかい布などで、から拭きをしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた水で、柔らかい布などを湿らせて拭き取り、から拭きしてください。

ブロア等でホルダ内部のゴミを吹き飛ばしてください。

各種ホルダの輸送

ご購入時の梱包材で梱包してください。

注意事項

- ご購入時の梱包材がない場合は、衝撃に十分耐えられるように梱包してください。
- 清掃・メンテナンスは、テーブル等の上で作業してください。ホルダや製品本体を床などに落とすと破損する恐れがありますのでご注意ください。

スキャナが正常に動作しない場合

トラブルが発生したり、故障かなと考える前に、以下のトラブルシューティングおよびNikon Scan 3.1ソフトウェアマニュアルに記載のトラブルシューティングを参考にしてください。

問題	考えられる原因	参照
スキャナの電源が入らない（LEDが点灯しない）	● **電源コードを接続していますか、ゆるんでいませんか。** 電源スイッチがオフになっていることを確認してから、電源プラグを確実に接続してください。 ● **スキャナ本体の電源は入っていますか。** 電源スイッチをオンにしてください。 ● **コンセントは電源を供給していますか。** ほかの電化製品でコンセントが使用できるか確認してください。	25 26 –
各種ホルダの挿入・排出ができない	● **ホルダスロットカバーがいちばん下まで下りていますか** ホルダスロットカバーをいちばん下まで下げてください。	60
LEDが速く点滅する（スキャナ本体とコンピュータが接続されていない。またはコンピュータの電源が入っていない場合）	● **スキャナの異常です。** スキャナ本体の電源スイッチを切り、コンピュータとスキャナ本体が接続されていないことを確認してください。５秒以上経過してから、スキャナの電源スイッチを再度オンにしてください。 引き続きLEDが速く点滅する場合は、お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。	–

問題	考えられる原因	参照
LED が速く点滅する（スキャナ本体とコンピュータが接続されている場合）	● **スキャナの異常、またはスキャナとコンピュータの通信エラーです。** スキャナ本体とコンピュータの電源を切り、コンピュータとスキャナ本体の接続を外してください。5秒以上経過してから、スキャナの電源スイッチを再度オンにしてください。 ● 引き続き LED が速く点滅する場合は、スキャナの異常です。お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談ください。 ● 電源スイッチをオンにした直後にゆっくり点滅し、点灯に切り替わる場合は、スキャナ本体の電源スイッチを一度オフにしてからコンピュータとスキャナを接続してください。スキャナ本体の電源を入れ、コンピュータを起動します。再度LEDが速く点滅する場合は、スキャナとコンピュータの通信エラーです。次の対処方法があります。 ● 同じインターフェースを使用する他の周辺機器を取り外す。 ● Nikon Scan を再インストールする。 ● IEEE 1394 インターフェースのデバイスドライバを更新する（Windows 98SE のみ）。 ● スキャナのデバイスドライバを更新する（Windows のみ）。	8 148 17 27
読み込まれる画質が悪い	● **フィルムは正しくホルダにセットされていますか。** フィルムをセットし直してください。 ● **スキャン中にホルダが移動していませんか。または、スキャナを振動や衝撃のある場所で使用していませんか。** スキャナに振動や衝撃を与えると、故障の原因となります。振動や衝撃のある場所では使用しないでください。 ● **Nikon Scan は正しく設定されていますか。** Nikon Scan を再設定してください。出荷時の設定に戻すこともできます（詳しくは,Nikon Scanソフトウェアマニュアルをご覧ください）。 ● **オプションのガラス付きのフィルムホルダ（別売）のガラス面が汚れていませんか。** ガラスの汚れをブロア等で吹き飛ばしたり、柔らかい布などで拭き取ってからご使用ください。	79 6 88 99

問題	考えられる原因	
コンピュータがスキャナを認識しない	● **スキャナ本体の電源は入っていますか。** 電源スイッチをオンにしてください。	26
	● **フィルムホルダを挿入したままになっていませんか。** フィルムホルダを抜いてから電源を入れ直してください。	26
	● **ケーブルは正しく接続されていますか。** 電源スイッチがオフになっていることを確認してケーブルを確実に接続してください。	25
	● **他の周辺機器やプログラムが同じインターフェースを使用していませんか。** 同じインターフェースに接続している他の周辺機器を取り外してください。ハブやアダプタ、延長ケーブルを経由してインターフェースに接続している場合はこれらを取り外し、スキャナを直接コンピュータに接続してください。 問題が解決しない場合は、同じインターフェースを使用する全てのソフトウェアをアンインストールし、Nikon Scan を再インストールしてください。	148
	● **必要なシステム条件を満たしていますか。** Nikon Scanソフトウェアマニュアルの「動作環境」に記載されているシステムを準備してください。	5
	● **ご使用のインターフェースボードにNikon Scan が対応していますか。** Nikon Scanがお使いのIEEE 1394（Firewire）インターフェースに対応しているか確認してください。インターフェースは、現在付属のIEEE1394ボードのみが動作確認済です。IEEE1394インターフェース内蔵パソコンに、スキャナ付属のIEEE1394ボードを搭載した場合の動作については保証外です。その他のIEEE1394カード（PCMCIAスロット用）およびPC内蔵のIEEE1394インターフェースを使用した場合の動作に関しては当社ホームページ（http:www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htmでご確認ください。 Nikon Scanがお使いのボードやコンピュータに対応していない場合は、次のように対処してください。 デスクトップコンピュータの場合： 付属のIEEE 1394ボードをインストールする ノート型コンピュータの場合： 当社推奨のIEEE 1394カード（PCMCIA）を購入する	9
	● **インターフェースボードは正しく装着されていますか。** IEEE 1394またはFirewireインターフェースボードの使用説明書をご覧ください。	–
	● **デバイスドライバは正常に動作していますか（Windowsのみ）。** デバイスドライバが正しくインストールされているか確認してください。	27
	● **Nikon Scan は正しくインストールされていますか** Nikon Scanをアンインストールしてから、再度インストールしてください。	148

主な仕様

スキャナ本体

SUPER COOLSCAN 8000 ED （型名：LS-8000 ED）

対象原稿：
- 35mm フィルム（カラー / モノクロ、ポジ / ネガ）、スライドマウント（厚さ 1.0 〜3.2mm）、ストリップフィルム（6コマまで2枚）、24×58mm、24×65mm の画面サイズのパノラマフィルムは 3 コマまで
- ブローニフィルム（6 × 4.5/6/7/8/9、カラー / モノクロ、ポジ / ネガ）、スライドマウント（厚さ 1.0 〜 3.2mm）、ストリップフィルム（6 × 4.5 は 4 コマ、6 × 6 は 3 コマ 6 × 7/8/9 は 2 コマまで）
- 16mm フィルム（カラー / モノクロ、ポジ / ネガ）
- 電子顕微鏡フィルム（カラー / モノクロ、ポジ / ネガ）59 × 82mm サイズ
- プレパラート（26 × 76mm サイズ）

読み取り範囲 , 画素数：
25.4 × 37.5mm, 4000 × 5904 画素（35mm フィルム：FH-835S 使用時）
37.5 × 25.6mm, 5905 × 4032 画素（35mm マウントフィルム：FH-835M 使用時）
56.9 × 42.5mm, 8964 × 6696 画素（ブローニーフィルム 6 × 4.5*）
56.9 × 56.9mm, 8964 × 8964 画素（ブローニフィルム 6 × 6*）
56.9 × 70.0mm, 8964 × 11016 画素（ブローニフィルム 6 × 7*）
56.9 × 77.5mm, 8964 × 12204 画素（ブローニフィルム 6 × 8*）
56.9 × 83.7mm, 8964 × 13176 画素（ブローニフィルム 6 × 9*）
56.9 × 83.7mm, 8964 × 13176 画素（電子顕微鏡フィルム *）
15.0 × 21.48mm, 2362 × 3384 画素（16mm フィルム：FH-816 使用時）
46.02 × 24.0mm, 7248 × 3780 画素（プレパラート：FH-8G1 使用時）
*FH-869S または FH-869G（別売）使用時

読み取り方式：　光学系固定、原稿移動方式平面走査シングルパススキャン

照明光源：　R, G, B 3 色 LED
ロッドと拡散反射面による集散光式スリット照明（伝送ライト方式）

センサ：　10000 画素 3 ライン白黒リニア CCD

色分解方式：　R, G, B 3 色 LED の切り換えによる

最大解像度：　4000dpi（全域）

A/D 変換：　14bit/R, G, B 各色

出力データ：　フルカラー（16 または 8bit/R, G, B 各色）

フォーカス：　オート、マニュアル

スキャン時間：　Scan ボタンをクリックしてから画像が表示されるまでの時間

35mm スライドマウントホルダ FH-835M 使用時			
ICE	ROC	GEM	1 コマスキャン
–	–	–	55 秒
○	–	–	1 分 20 秒
–	○	–	1 分 15 秒
–	–	○	2 分 50 秒
–	○	○	2 分 25 秒
○	○	–	1 分 35 秒
○	–	○	3 分 00 秒
○	○	○	2 分 40 秒

ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S 使用時（6 × 9）			
ICE	ROC	GEM	1コマスキャン
–	–	–	2分50秒
○	–	–	6分50秒
–	○	–	5分30秒
–	–	○	14分20秒
–	○	○	12分15秒
○	○	–	9分10秒
○	–	○	17分55秒
○	○	○	15分35秒

測定環境

パソコン本体：　FMV715GTX6 Pentium4 1.5GHz
RAM：　1GB
使用 OS：　Windows 2000
使用ボード：　同梱の IEEE 1394 I/F ボード
入力解像度：　4000dpi
スキャンビット：8 bit
CMS：　オン
使用原稿：　ポジ

インターフェース：　IEEE1394
消費電力：　動作時（最大）27W以下／待機時 14W以下
使用電源：　AC100V、50/60Hz
使用温度 / 湿度：　+10 ～ +35℃ / 20 ～ 60%
大きさ：　245 × 485 × 200mm（W × D × H）　約 9kg（本体のみ）

付属のホルダ

35mm ストリップフィルムホルダ　FH-835S

使用原稿：　1 ～ 6 コマまでの 35mm ストリップフィルム 2 枚まで
大きさ：　130 × 320 × 17mm（W × D × H）　約 200g

35mm スライドマウントホルダ　FH-835M

使用原稿：　35mmスライドマウント（厚さ1.0～3.2mm／幅49.0～50.8mm）5 コマまで
大きさ：　130 × 345 × 17mm（W × D × H）　約 180g

ブローニストリップフィルムホルダ　FH-869S

使用原稿：　6 × 4.5：　1 ～ 4 コマ
6 × 6：　1 ～ 3 コマ
6 × 7, 8, 9：1 ～ 2 コマ
5.9 × 8.2cm の電子顕微鏡フィルム
大きさ：　130 × 320 × 17mm（W × D × H）　約 290g

オプション（別売）のホルダ

ガラス付きブローニフィルムホルダ　FH-869G

使用原稿：　6 × 4.5：　1 〜 4 コマ
　6 × 6：　1 〜 3 コマ
　6 × 7, 8, 9：　1 〜 2 コマ
　5.9 × 8.2cm の電子顕微鏡フィルム
大きさ：　130 × 300 × 17mm（W × D × H）　約 300g

ガラス付き回転式ブローニフィルムホルダ　FH-869GR

使用原稿：　6 × 4.5：　1 〜 4 コマ
　6 × 6：　1 〜 3 コマ
　6 × 7, 8, 9：　1 〜 2 コマ
　5.9 × 8.2cm の電子顕微鏡フィルム
　35mm パノラマフィルム（画面サイズ：24 × 58、24 × 65mm）
調整角度：　± 5°
大きさ：　130 × 320 × 17mm（W × D × H）　約 330g

ブローニマウントホルダ　FH-869M

使用原稿：　6 × 4.5, 6 サイズ 1 コマと 6 × 7, 8, 9 サイズ 1 コマの合計 2 コマまでのブローニスライドマウント
大きさ：　130 × 320 × 17mm（W × D × H）　約 170g

16mm フィルムホルダ　FH-816

使用原稿：　16mm ストリップフィルム 3 枚まで
大きさ：　130 × 375 × 17mm（W × D × H）　約 250g

メディカルホルダ　FH-8G1

使用原稿：　下記サイズのスライドガラスとカバーガラスが接着封止された厚さ 2mm 以下のプレパラート 3 枚まで
大きさ：　スライドガラス部：　26 × 76 × 0.8 〜 1.5mm（W × D × H）
　カバーガラス部：　25 × 60 × 0.18mm 以下（W × D × H）
　130 × 345 × 17mm（W × H × D）　約 190g

索引

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒140 - 0015
東京都品川区西大井 1 - 4 - 25（コア・スターレ西大井第一ビル 2F）
ニコンカスタマーサポートセンター

TEL 0570 - 02 - 8000

受付時間：祝日を除く月〜金（9：30 〜 18：00）

＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 - 02 - 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、**03 - 5977 - 7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03 - 5977 - 7499** におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140 - 8601
東京都品川区西大井 1 - 6 - 3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL　03 - 3773 - 2221　受付時間：祝日を除く月〜金（9：00 〜 17：45）
＊都合により休む場合があります。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL 0570 - 02 - 8000　　FAX 03 - 5977 - 7499

【お問い合わせ承り書】

太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：	年　月　日
お買い上げ年月日：	年　月　日
製品名：	シリアル番号：
フリガナ お名前：	
連絡先ご住所：□自宅　□会社 〒 TEL： FAX：	
ご使用のパソコンの機種名： メモリ容量： OS のバージョン： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：	 ハードディスクの空き容量： ご使用のインターフェースカード名：
問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）	

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

Nikon

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

<ニコンカスタマーサポートセンター>

140-0015 東京都品川区西大井1-4-25（コア･スターレ西大井第一ビル2階）

0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間 9:30～18:00（土･日曜日･祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社 ニコン

S2J00200501 (10)
Printed in Japan
6MJR1601-05